
令和3年度 事業報告書

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会

目 次

令和3年度事業実施概要	1
事業報告	
Ⅰ 会務の運営並びに連絡調整等	3
Ⅱ 地域福祉活動の推進	9
Ⅲ ボランティア活動の促進	19
Ⅳ 福祉相談活動の推進	32
Ⅴ 社会福祉施設・団体等の活動促進及びすこやか基金による活動助成等	34
Ⅵ 福祉サービスの利用支援及び苦情解決の推進	38
Ⅶ 福祉人材の養成・確保	46
Ⅷ 介護実習・普及センターの運営	65
Ⅸ 生活福祉資金貸付事業の推進	78
X すこやか長寿社会づくり運動の推進	83
XI 県社会福祉センターの管理・運営	86
XII 地域医療介護総合確保基金事業の推進	88

令和3年度事業実施概要

社会福祉を取り巻く環境は、市町村を基盤とした地域福祉の推進が図られる一方で、急速な少子高齢化などに伴う地域社会の変容や社会的孤立、制度の狭間の問題などの顕在化、人口減少問題が深刻化する中で困難さを増す介護人材の確保など対応すべき多くの課題があります。

特に、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会・経済活動が長期にわたり制限されるなか、休業や失業など減収したことに伴い生活に困窮する世帯が増加したことに加え、人と人とのつながりの変化により孤立・孤独問題が深刻化するなど、複雑かつ多様な生活・福祉課題も生じています。

地域福祉の中核的推進組織である県社協は、複合化・複雑化してきた福祉ニーズに的確に応えるために、令和3年度の基本目標を次のとおり定め、新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら、地域福祉の推進に全力を傾注してまいりました。

この中で、具体的な事業としては、新型コロナウイルス感染症による生活困窮の課題に対応する生活福祉資金特例貸付の実施や社会福祉従事者等に対する各種研修のオンライン化による受講機会の拡充など、必要な支援を届けるための取り組みや福祉人材の養成等に努めてまいりました。

また、共同募金配分金を財源としたこどもイキイキ地域つながりプロジェクト事業における不登校児やひきこもり支援に関する取り組みや地域住民の参加による生活支援の仕組みづくり等を目的とした住民参加型福祉サービス支援事業の実施など市町村社協等における地域福祉活動の充実・強化を図りました。

さらに、福祉・介護人材確保事業や介護分野への元気高齢者等参入促進セミナー事業、介護の入門的研修事業の実施など介護未経験者や高齢者等の多様な人材の参入促進に取り組んだことその他、介護ロボット相談窓口設置事業を実施し、介護ロボットの普及・促進を図ることで介護現場の負担軽減に取り組みました。

以上に加え、ボランティア活動の促進、福祉サービスの利用支援や苦情解決の推進、すこやか長寿社会づくり運動の推進等についても、関係機関・団体と連携を図りながら引き続き取り組んだところです。

基本目標

1 地域福祉活動の推進

- (1) 生活困窮者支援への適切な対応
- (2) 複雑化・複合化した支援ニーズに対応する地域支援基盤づくりの推進
- (3) 生活福祉資金貸付事業の的確な運用と債権管理

2 福祉人材の養成・確保の強化

- (1) オンラインの活用等による福祉人材育成事業の拡充
- (2) 介護人材の確保・業務効率化の取り組みの支援

3 新たな時代の社会福祉諸制度への適切な対応と関係機関・団体との連携

事業報告

I 会務の運営並びに連絡調整等		所管部署	総務部
1 役員会等の開催		具体的成果等	
令和3年度事業計画		事業実施概要等	
(1) 理事会の開催 4回 (5月, 6月, 11月, 3月)	<p>① 第210回理事会 (令和3年度第1回) (日 時) 令和3年5月31日(月) 午前10時30分～ (場 所) 鹿児島県社会福祉センター 別館 会議室 (上程議案) 第1号議案 令和2年度事業報告について 第2号議案 令和2年度一般会計及び生活福祉資金会計決算に 第3号議案 理事及び監事候補者の選定について 第4号議案 評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会 の開催について 第5号議案 令和3年度定時評議員会の招集について 第6号議案 会計監査人の報酬について 第7号議案 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正につ いて 報告第1号 令和2年度福祉サービズ運営適正化委員会業務報 告について そ の 他 令和2年度財政的援助団体等監査の結果について</p> <p>② 第211回理事会 (令和3年度第2回) (日 時) 令和3年6月15日(火) 午後1時～ (場 所) 鹿児島県社会福祉センター 7階 大会議室 (上程議案) 第1号議案 会長, 副会長及び常務理事の選定について 第2号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について</p> <p>③ 第212回理事会 (令和3年度第3回) (日 時) 令和3年11月22日(月) 午後1時30分～ (場 所) 鹿児島県社会福祉センター別館 会議室 (上程議案) 第1号議案 評議員候補者の選定及び評議員選任・解任委員会 の開催について 第2号議案 第190回評議員会の招集について 報告第1号 令和3年度上半期事業進捗状況・実績及び監事監査 の報告について 報告第2号 専決処分の報告について</p>	<p>本会の経営に重要な事業計画, 予算, 役員等改選及び諸規程等改正の審議のため, 適宜理事会・評議員会を開催し, 効率的かつ適正・確実な法人経営が図られた。</p>	

	<p>専第1号 令和3年度生活福祉資金会計第1次資金収支補正予算の件</p> <p>専第2号 令和3年度生活福祉資金会計第2次資金収支補正予算の件</p> <p>専第3号 令和3年度事業計画の変更（追加）及び一般会計第1次資金収支補正予算の件</p> <p>報告第3号 会長及び常務理事の職務執行状況報告について</p> <p>④ 第213回理事会（令和3年度第4回） （日時）令和4年3月16日(水) 午後1時30分～ （場所）鹿児島県社会福祉センター 別館 会議室 （上程議案）</p> <p>第1号議案 令和3年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算（案）について</p> <p>第2号議案 令和4年度事業計画（案）について</p> <p>第3号議案 令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支予算（案）について</p> <p>第4号議案 役員及び評議員等の報酬等に関する規程の一部改正について</p> <p>第5号議案 第191回評議員会の招集について</p> <p>報告第1号 専決処分報告について</p> <p>専第1号 職員給与規程の一部改正の件</p> <p>専第2号 職員就業規程の一部改正の件</p> <p>専第3号 事務局規程の一部改正の件</p> <p>報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況の報告について</p>
<p>(2) 評議員会の開催 3回（6月，11月，3月）</p>	<p>① 第189回評議員会（定時評議員会） （日時）令和3年6月15日(火) 午前10時30分～ （場所）鹿児島県社会福祉センター 別館 会議室 （上程議案）</p> <p>第1号議案 令和2年度事業報告について</p> <p>第2号議案 令和2年度一般会計及び生活福祉資金会計決算について</p> <p>第3号議案 理事及び監事の選任について</p> <p>報告第1号 評議員選任・解任委員会運営細則の一部改正の件</p>

1 役員会等の開催	事業実施概要等	所管部署	総務部
令和3年度事業計画		具体的成果等	
	<p>報告第2号 評議員の選任の件 その他 令和2年度財政的援助団体等監査の結果について</p> <p>② 第190回評議員会（令和3年度第2回） 〈日時〉 令和3年11月30日(火) 午前10時30分～ 〈場所〉 鹿児島県社会福祉センター 別館 会議室 〈上程議案〉 報告第1号 令和3年度上半期事業進捗状況・実績監事監査の報告について 報告第2号 専決処分の報告について 専第1号 令和3年度生活福祉資金会計第1次資金収支補正予算の件 専第2号 令和3年度生活福祉資金会計第2次資金収支補正予算の件 専第3号 令和3年度事業計画の変更（追加）及び一般会計第1次資金収支補正予算の件</p> <p>③ 第191回評議員会（令和3年度第3回） 〈日時〉 令和4年3月24日(木) 午前10時00分～ 〈場所〉 鹿児島県社会福祉センター 別館 会議室 〈上程議案〉 第1号議案 令和3年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支補正予算（案）について 第2号議案 令和4年度事業計画（案）について 第3号議案 令和4年度一般会計及び生活福祉資金会計資金収支予算（案）について 第4号議案 役員及び評議員当の報酬等に関する規程の一部改正について</p>		
(3) 監事会の開催 2回（5月、11月）	<p>① 令和3年度第1回監事会 〈日時〉 令和3年5月19日(水) 午前10時30分～ 〈場所〉 鹿児島県社会福祉センター 7階 大会議室 〈協議事項〉 ・会計監査人の報酬に関する同意について ・監事選任議案に関する同意について 〈監査事項〉 ・令和2年度事業実施報告、令和2年度一般会計及び生活福祉資金会計決算について</p>	<p>当初の予定どおり令和2年度の監査並びに令和3年度上半期の監査を行い、適正に処理されていることが認められた。また、上半期の事業実施状況・実績報告を行い、下半期の事業を効果的かつ効率的に実施できた。</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> ・財務諸表及び証拠書類等の監査 ・監査結果の講評 <p>② 令和3年度第2回監事会 〈日 時〉 令和3年11月11日(木) 午前10時30分～ 〈場 所〉 鹿児島県社会福祉センター 7階 第3会議室 〈監査事項〉 ・令和3年度上半期事業進捗状況・実績について ・財務諸表及び証拠書類等の監査 ・監査結果の講評</p>	
<p>(4) 評議員選任・解任委員会の 開催</p>	<p>① 令和3年度第1回評議員選任・解任委員会 〈日 時〉 令和3年5月31日(月) 午後13時～ 〈場 所〉 鹿児島県社会福祉センター 7階 第3会議室 〈審議事項〉 社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会評議員の選任 について (4名辞任に伴う後任の選任)</p> <p>② 令和3年度第2回評議員選任・解任委員会 〈日 時〉 令和3年11月22日(月) 午後3時30分～ 〈場 所〉 鹿児島県社会福祉センター 7階 第2会議室 〈審議事項〉 社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会評議員の選任 について (1名辞任に伴う後任の選任)</p>	

2 関係機関・団体との連絡調整	事業実施概要等		所管部署	総務部ほか関係部所
令和3年度事業計画	事業実施概要等		具体的成果等	
(1) 市町村社会福祉協議会、種別協議会との連絡調整	<p>① 市町村社会福祉協議会会長及び事務局長会議の開催 (日 時) 令和3年4月22日(木)午後1時～ (場 所) マリンパレスかごしま (内 容) ・令和3年度県社協事業概要説明 ・県社協各部所連絡事項</p> <p>② その他 社会福祉法人運営等について、市町村社会福祉協議会及び種別協議会等の関係団体に対し、随時情報提供を行った。 また、種別協議会が実施する研修会等に出席し、社会福祉の新たな動向等についての説明や現状・課題等の説明及び各種別協議会活動支援のための研修費等の助成や後援等を行った。</p>		市町村社協等への必要な情報の提供や研修会等の活動支援により、的確な法人運営に資することができた。	
(2) 社会福祉、保健衛生、社会教育など関係機関・団体との連絡調整	<p>① 県社会福祉審議会委員など国・県、社会福祉法人及び保健医療福祉関係諸団体等の役員や委員等に就任し、県社会福祉協議会として積極的に参画した。</p> <p>② 「小さな親切」運動県本部との協定に基づき、同本部の大会や研修会の開催、運営等の業務支援を行った。</p> <p>③ そのほか、市町村社協とも密接な関係を有する県共同募金会及び日本赤十字社鹿児島県支部とも連絡調整・連携を図った。</p>			
(3) 全国社会福祉協議会、九州社会福祉協議会連合会等関係会への参加等	<p>① 全国社会福祉協議会の評議員、各種委員会委員及び九州社会福祉協議会連合会理事等に就任し、オンライン出席及び書面表決等の対応を行った。</p> <p>② 新型コロナウイルスの影響により、書面やオンラインでの開催となった全国社会福祉協議会及び九州社会福祉協議会主催の会議・研修会等において情報交換を行った。</p> <p>③ そのほか、大規模災害の発生に備え、九州ブロック災害時相互応援協定に基づく各種連絡窓口等の調整等を行った。</p>		全社協及び九州ブロックの会議や研修会に書面やオンライン等で参画し、中央情勢等の情報や九州各県の取組等の情報交換により、種々の課題解決等につなげることができた。	

(4) 韓国 全羅北道社会福祉協議会との交流	姉妹盟約に基づき全羅北道社会福祉協議会との交流事業については、国内外の情勢等により令和元年度から実施を保留している。									
3 自主財源の確保 図書等の販売や斡旋	社会福祉に関する書籍等や帳簿類の販売・斡旋を行い、自主財源の確保に努めた。 <書籍等販売・斡旋> (1) 民生委員・社会福祉手帳 (2) ポラテンアイアシヤツ等 (3) 市町村社協帳簿用紙 (4) 介護体験ノート (5) 地域見守りネットワーク冊子 (6) 全社協等外部発行図書 (7) その他自動車保険・がん保険等の団体加入	所管部署 総務部ほか関係部所 書籍等販売・斡旋を通じて、社会福祉関係者等への福祉関連書籍等を円滑に提供できた。								
4 広報活動等の推進 (1) 広報紙「ふくしのひろば」の発行 ア 発行回数：年6回(奇数月発行) イ 発行部数：13,700部/1回あたり	県民の福祉への関心と理解を深めるため、広報紙「ふくしのひろば」を発行し、福祉関係情報を提供した。 <発行回数等> 年6回(奇数月の1日) <発行部数> 各回13,700部(12ページ/1部あたり) <配布先> 市町村、市町村社協、民生委員、社会福祉施設、小・中・高校、警察署、病院、金融機関ほか県内外関係機関・団体等	所管部署 総務部 当初の予定どおり定期的に発行し、福祉関係者のみならず幅広い県民への広報に資することができた。								
(2) 本会ホームページの運営 (URL http://www.kaken-shakyo.jp/)	本会ホームページを通して、実施事業等の案内、保健福祉に関する情報等の提供に努めた。 <table border="1" data-bbox="1061 725 1157 1608"> <tr> <td></td> <td>R3年度実績</td> <td>R2年度実績</td> <td>対前年度比(件及び割合)</td> </tr> <tr> <td>アクセス件数</td> <td>76,767</td> <td>78,346</td> <td>△1,579 97.9%</td> </tr> </table>		R3年度実績	R2年度実績	対前年度比(件及び割合)	アクセス件数	76,767	78,346	△1,579 97.9%	福祉関係者を含む一般県民等幅広い閲覧者に対して、社協活動への理解促進につながった。
	R3年度実績	R2年度実績	対前年度比(件及び割合)							
アクセス件数	76,767	78,346	△1,579 97.9%							

II 地域福祉活動の推進		所管部署	地域福祉部
1	地域福祉推進支援事業	地域福祉部	
令和3年度事業計画			
(1) 地域福祉推進支援事業 ア 巡回指導及び研修会への職員派遣	在宅福祉サービス・地域福祉活動展開についての実施手法の指導や近隣保健福祉ネットワーク、社協運営等について、訪問及び研修会等での指導援助を行った。 市町村社協巡回指導数：15回 研修会等への指導：4回（市町村社協等）	具体的な成果等 市町村社協ほか関係機関等に積極的に出向き、福祉活動の支援に資することができた。	
イ 市町村社協等への情報提供	① 地域福祉の分野で先駆的な活動として取り組まれていた県内外の有益な情報を収集し、県下の地域福祉関係者に情報発信するとともに市町村で開催された在宅福祉アドバイザー等の研修会に反映させた。 ② 県内の地域福祉の一層の推進に資するため、県内外の先進的な地域福祉の取組事例や関連情報を収集・整理し、市町村社協等に情報提供を行った。164回（文書、ファックス、メール）	最新情報等を迅速に提供すること、市町村社協運営に関する情報共有につながった。	
ウ コミュニティワーカー研修会の実施（2コース）	地域福祉に関わる人材の資質・技能等の向上を図るための研修会を実施した。	地域福祉に携わるコミュニティワーカーの資質向上のため、支え合いマップづくりを基にした研修会を実施し、地域課題発掘技術や地域福祉推進体制づくりの技術向上が図られた。	
コース	基礎編	実践編	
開催日	令和4年1月18日（火）	令和4年1月19日（水）	
形式	オンライン（ZOOM）	オンライン（ZOOM）	
参加者	41人	34人	
内容	〈講義・演習〉 支え合いマップづくり総復習 〈講師〉 住民流福祉総合研究所 木原 孝久 氏	〈講義・演習〉 自助を真ん中に据えた地域福祉づくりとは 〈講師〉 住民流福祉総合研究所 木原 孝久 氏	

<p>(2) 福祉コミュニケーションづくり事業 ア あんしん・安全ネットワー ク セミナーの開催 (1回)</p>	<p>公的サービスや見守り、サロン活動だけでは対応できない地域住民の多様な生活課題に対応し、「誰もがあんしんで安全な生活を送れる地域社会」を作るという視点から、“地域づくり”について、県内の先駆的な事例を参考に、地域課題や生活課題への対応や地域の変化、住民の巻き込み方を学ぶことを目的に開催した。</p>	<p>コロナ禍における小地域ネットワーク活動での地域課題の把握や対応策等を共有することができた。また、オンラインで実施したことで、県内各地から多くの関係者の参加を得ることができた。</p>																		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="435 1391 483 1547">開催日・形式</td> <td data-bbox="435 723 483 1391">令和3年11月11日(木)・オンライン (ZOOM)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="483 1391 531 1547">参加者</td> <td data-bbox="483 723 531 1391">411人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="531 1391 813 1547">内容</td> <td data-bbox="531 723 813 1391"> <p>(1) 開会挨拶 (2) 健康体操：鹿児島県レクリエーション協会 指導員 島中和子 氏 (3) パネルディスカッション コーディネーター：鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部 パネリスト：薩摩川内市 峰山地区コミュニティ協議会 田邑俊和 氏 いちき串木野市 食の支援事業 湊泊昭子 氏 志布志市 供養松サロン 牧山啓子 氏</p> </td> </tr> </table>			開催日・形式	令和3年11月11日(木)・オンライン (ZOOM)	参加者	411人	内容	<p>(1) 開会挨拶 (2) 健康体操：鹿児島県レクリエーション協会 指導員 島中和子 氏 (3) パネルディスカッション コーディネーター：鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部 パネリスト：薩摩川内市 峰山地区コミュニティ協議会 田邑俊和 氏 いちき串木野市 食の支援事業 湊泊昭子 氏 志布志市 供養松サロン 牧山啓子 氏</p>												
開催日・形式	令和3年11月11日(木)・オンライン (ZOOM)																			
参加者	411人																			
内容	<p>(1) 開会挨拶 (2) 健康体操：鹿児島県レクリエーション協会 指導員 島中和子 氏 (3) パネルディスカッション コーディネーター：鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部 パネリスト：薩摩川内市 峰山地区コミュニティ協議会 田邑俊和 氏 いちき串木野市 食の支援事業 湊泊昭子 氏 志布志市 供養松サロン 牧山啓子 氏</p>																			
<p>イ サロン活動研究集会の開催 (1回)</p>	<p>サロン活動を支援する関係者の資質向上、情報交換の場を提供することを通し、更なるサロン活動の一層の普及・定着を図ることを目的に、「ふれあい・いきいきサロン研究会inかごま」を開催することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により中止した。</p>																			
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1053 1512 1093 2083">2 県社会福祉協議会会長表彰事業の実施</td> <td data-bbox="1053 723 1093 1512"></td> <td data-bbox="1053 288 1093 723">地域福祉部</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1093 1608 1430 2083"> <p>県社会福祉協議会会長表彰事業の実施 (地域福祉推進大会で表彰)</p> </td> <td data-bbox="1093 723 1430 1608"> <p>永年、社会福祉の向上に貢献された個人と団体を表彰し、本県における社会福祉の一層の向上を図った。 なお、表彰は「地域福祉推進大会」において行った。</p> <p>〈表彰〉</p> <table border="0"> <tr> <td>① 民生委員児童委員</td> <td>197人</td> </tr> <tr> <td>② ホームヘルパー</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>③ 相談員</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>④ 社会福祉施設の長及び職員</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>⑤ 社会福祉事業関係団体の役員</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>⑥ 社会福祉事業関係団体</td> <td>2団体</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="1093 288 1430 723"> <p>全体の表彰数は前年度比179%であり、民生委員・児童委員が対前年度比985%(177人増)、ホームヘルパーが対前年比45%(11人減)、社会福祉施設の長及び職員が対前年度比73%(25人減)となった。 表彰は、永年にわたり社会福祉の充実発展に尽力された多くの福祉関係者の励みとなっていた。</p> </td> </tr> </table>			2 県社会福祉協議会会長表彰事業の実施		地域福祉部	<p>県社会福祉協議会会長表彰事業の実施 (地域福祉推進大会で表彰)</p>	<p>永年、社会福祉の向上に貢献された個人と団体を表彰し、本県における社会福祉の一層の向上を図った。 なお、表彰は「地域福祉推進大会」において行った。</p> <p>〈表彰〉</p> <table border="0"> <tr> <td>① 民生委員児童委員</td> <td>197人</td> </tr> <tr> <td>② ホームヘルパー</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>③ 相談員</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>④ 社会福祉施設の長及び職員</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>⑤ 社会福祉事業関係団体の役員</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>⑥ 社会福祉事業関係団体</td> <td>2団体</td> </tr> </table>	① 民生委員児童委員	197人	② ホームヘルパー	9人	③ 相談員	6人	④ 社会福祉施設の長及び職員	69人	⑤ 社会福祉事業関係団体の役員	20人	⑥ 社会福祉事業関係団体	2団体	<p>全体の表彰数は前年度比179%であり、民生委員・児童委員が対前年度比985%(177人増)、ホームヘルパーが対前年比45%(11人減)、社会福祉施設の長及び職員が対前年度比73%(25人減)となった。 表彰は、永年にわたり社会福祉の充実発展に尽力された多くの福祉関係者の励みとなっていた。</p>
2 県社会福祉協議会会長表彰事業の実施		地域福祉部																		
<p>県社会福祉協議会会長表彰事業の実施 (地域福祉推進大会で表彰)</p>	<p>永年、社会福祉の向上に貢献された個人と団体を表彰し、本県における社会福祉の一層の向上を図った。 なお、表彰は「地域福祉推進大会」において行った。</p> <p>〈表彰〉</p> <table border="0"> <tr> <td>① 民生委員児童委員</td> <td>197人</td> </tr> <tr> <td>② ホームヘルパー</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>③ 相談員</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>④ 社会福祉施設の長及び職員</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>⑤ 社会福祉事業関係団体の役員</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>⑥ 社会福祉事業関係団体</td> <td>2団体</td> </tr> </table>	① 民生委員児童委員	197人	② ホームヘルパー	9人	③ 相談員	6人	④ 社会福祉施設の長及び職員	69人	⑤ 社会福祉事業関係団体の役員	20人	⑥ 社会福祉事業関係団体	2団体	<p>全体の表彰数は前年度比179%であり、民生委員・児童委員が対前年度比985%(177人増)、ホームヘルパーが対前年比45%(11人減)、社会福祉施設の長及び職員が対前年度比73%(25人減)となった。 表彰は、永年にわたり社会福祉の充実発展に尽力された多くの福祉関係者の励みとなっていた。</p>						
① 民生委員児童委員	197人																			
② ホームヘルパー	9人																			
③ 相談員	6人																			
④ 社会福祉施設の長及び職員	69人																			
⑤ 社会福祉事業関係団体の役員	20人																			
⑥ 社会福祉事業関係団体	2団体																			

県社会福祉協議会会長表彰事業の実施		所管部署	地域福祉部
令和3年度事業計画		具体的成果等	
2	事業実施概要等	<p>⑦ ボランティア個人…………… 11人 ⑧ ボランティアグループ・団体…………… 3団体 ⑨ 社会福祉の向上に功績のあった者…………… 0人</p> <p style="text-align: center;">合計 (312人, 5団体)</p> <p>〈審査会〉 令和3年8月17日(火)開催</p>	
3	制度改正等対応市町村社協支援事業	所管部署	地域福祉部, 生活支援部
(1)	制度改正等説明会の開催 ア 制度改正等説明会 (2回)	<p>市町村社協等に対し、制度改正の情報提供や対応について支援を行うため開催した。</p> <p>①第1回 〈期 日〉 令和3年10月4日(月) 〈形 式〉 オンライン(ZOOM) 〈参加者数〉 149人 〈内 容〉 説 明: 重層的支援体制整備事業の実施について 報 告: 移行準備事業の取組について</p> <p>②第2回 〈期 日〉 令和4年3月15日(火) 〈形 式〉 オンライン(ZOOM) 〈参加者数〉 53人 〈内 容〉 講義1: 重層的支援体制整備事業の取組について 説 明: 生活福祉資金貸付事業の現状と今後の対応について 説 明: 不祥事故防止について 説 明: 成年後見制度の利用促進について 報 告: 上伊那成年後見センターの実践について 説 明: 社協と社会福祉法人の連携・協働による「地域における公益的な取組」について 講義2: かごしまおもいやりネットワーク事業について</p>	
イ	生活支援体制整備事業連絡会 (2回)	<p>①第1回 〈期 日〉 令和3年6月9日(水) 〈形 式〉 オンライン(ZOOM)</p>	

<p>ウ 生活困窮者自立支援事業市町村社協担当職員研修会 (2回)</p>	<p>〈参加者数〉 36人 〈内 容〉 説明：県内の生活支援体制整備事業の状況について 情報交換：コロナ禍での活動状況とこれからの展開について ②第2回 〈期 日〉 令和4年3月4日（金） 〈形 式〉 オンライン（ZOOM） 〈参加者数〉 49人 〈内 容〉 報告：移動販売車導入への取組について 情報交換：関係者のネットワークづくりについて</p> <p>生活困窮者自立支援事業を受託している社協を中心に、それぞれの取組状況を把握・共有し、効果的な相談支援業務を展開するために担当職員研修会を開催した。</p> <p>○第1回生活困窮者自立支援事業市町村社協担当職員研修会 〈期 日〉 令和3年8月5日(休) 〈開催方法〉 Web会議システム（Zoom） 〈参加者数〉 29人 〈内 容〉 講義：「依存症と回復支援」 （講師：県精神保健福祉センター） ゲループワーク：「事例から読み解くケース検討」</p> <p>○第2回生活困窮者自立支援事業市町村社協担当職員研修会 〈期 日〉 令和4年3月22日(火) 〈開催方法〉 Web会議システム（Zoom） 〈参加者数〉 24人 〈内 容〉 基調説明：「緊急小口資金等の特例貸付における動向とその他制度の動向」 ゲループワーク：「個別支援及び地域支援について意見交換」</p>	
<p>(2) 市町村社協経営セミナーの開催 (1回)</p>	<p>県外の先駆的な社協活動の実践報告を参考に、県内市町村社協の今後の社協活動の展開やヒントを得るため開催した。</p> <p>〈期 日〉 令和3年4月22日（木） 〈形 式〉 オンライン併用 〈参加者数〉 73人 〈内 容〉 講演 江田島市社協における経営基盤強化に向けた取組について 講師 広島県江田島市社協 会長 堂野崎 平 氏</p>	

所管部署	地域福祉部
<p>4 地域福祉推進大会開催事業</p> <p>令和3年度事業計画</p>	<p>具体的成果等</p>
<p>地域福祉推進大会 開催期日 令和3年10月26日(火) 会場 川商ホール (鹿児島市民文化ホール) 内容 ①永年地域福祉の発展に寄与された方々の表彰 ②地域福祉の推進に関する講演 ③見守り活動等の実践報告 参加者数 1,200人程度</p>	<p>事業実施概要等</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模縮小及び時間短縮を行って、「地域共生社会～我が事・丸ごとの地域づくり～」をテーマに、地域福祉推進大会を開催した。 期日 令和3年10月26日(火) 会場 川商ホール (鹿児島市民文化ホール) 第1ホール 参加者数 615人 内容 ① 式典(表彰) ② 記念講演 演題:「いい最期とは～地域包括ケアシステムと地域共生社会」 (講師) 公益財団法人 慈愛会 黒野 明日嗣 氏 いづろろ今村病院 院長</p>
<p>5 生活支援コーデイネーター体制構築事業</p>	<p>地域福祉部</p>
<p>(1) 市町村における生活支援体制整備(県生活支援体制推進コーデイネーターの設置) 市町村が設置する生活支援コーデイネーターへの指導・助言、相談対応、高齢者支援にかかる担い手の育成・研修についての支援 市町村が設置する生活支援コーデイネーターへの指導・助言、相談対応、高齢者支援にかかる担い手の育成・研修についての支援 市町村が設置する生活支援コーデイネーターへの指導・助言、相談対応、高齢者支援にかかる担い手の育成・研修についての支援 市町村が設置する生活支援コーデイネーターへの指導・助言、相談対応、高齢者支援にかかる担い手の育成・研修についての支援</p>	<p>生活支援体制を整備することとして市町村に配置された生活支援コーデイネーターの育成及び資質向上を図ることににより、地域住民が主体的に関わりながら地域課題を解決する地域包括ケアシステムの構築に資することができた。</p> <p>県生活支援体制推進コーデイネーターを設置し、市町村が設置する生活支援コーデイネーターへの指導・助言・相談対応や高齢者の支援にかかる担い手の育成・研修についての支援など、市町村が実施する生活支援体制整備について支援を行った。 ① 市町村が設置する生活支援コーデイネーターへの指導・助言・相談(相談件数) (実件数) 72件 (相談内容) (延べ件数) 192件 ・協議体の運営方法について 5件 ・生活支援コーデイネーターの選任について 5件 ・地域ニーズの見える化、問題提起 27件 ・地域組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけについて 41件 ・関係者のネットワーク化について 34件 ・目指す地域の姿・方針の共有・意識の統一について 33件 ・生活支援の担い手の養成やサービス開発について 20件 ・ニーズとサービスのマッチングについて 17件 ・その他 10件 ② 高齢者の支援にかかる担い手の育成・研修についての支援(研修支援回数) 7回 (市町村等数) 3市2町(2回はオンライン開催) ③ その他、市町村が設置する生活支援コーデイネーターの支援等</p>

<p>(2) 生活支援コーディネーター養成研修の企画 ア 研修企画会議の開催（年2回） イ 県独自カリキュラムの作成 ウ 生活支援コーディネーターのネットワーク構築を目的とした情報交換会の立ち上げ支援</p>	<p>〈訪問支援回数〉 17回（研修支援含む） 〈市町村等数〉 6市3町</p> <p>① 第1回研修企画会議 〈期 日〉 令和3年7月6日（火） 〈形 式〉 オンライン（ZOOM） 〈参加者数〉 13名 〈内 容〉 基礎編の内容検討，実践編の方向性について他</p> <p>② 第2回研修企画会議 〈期 日〉 令和3年10月12日（火） 〈形 式〉 オンライン（ZOOM） 〈参加者数〉 11名 〈内 容〉 実践編の内容検討他</p>	
<p>(3) 生活支援コーディネーター養成研修の開催 ア 基礎編の開催（年1回） イ 実践編の開催（年1回）</p>	<p>① 基礎編 〈期 日〉 令和3年8月25日（水） 〈形 式〉 オンライン（ZOOM） 〈参加者数〉 48名 〈内 容〉 行政説明「地域包括ケアシステム構築の推進に向けて」 グループワーク 他</p> <p>② 実践編 〈期 日〉 令和3年12月13日（月）～14日（火） 〈形 式〉 オンライン（ZOOM） 〈参加者数〉 59名 〈内 容〉 特別講義 「地域にある支え合いの見つけ方と生活支援コーディネーターの関わり方」 実践報告・グループワーク 他</p>	
<p>(4) 生活支援コーディネーター養成研修並びに活動の評価 ア 研修等評価会議の開催（年1回）</p>	<p>生活支援コーディネーター養成研修や県生活支援体制推進コーディネーターの活動を分析評価し、今後の支援を効果的に展開することを目的とした「生活支援コーディネーター養成研修等評価会議」を開催した。 〈期 日〉 令和4年2月2日（水） 〈形 式〉 オンライン（ZOOM） 〈参加者数〉 11名</p>	

生活支援コーデイネーター体制構築事業		所管部署	地域福祉部
令和3年度事業計画		具体的成果等	
5	事業実施概要等		
	<p>〈内容〉</p> <p>1 生活支援コーデイネーター養成研修に関する分析及び評価</p> <p>2 県生活支援体制推進コーデイネーター活動実績及び評価</p> <p>3 次年度の研修内容の検討</p>		
6	<p>子どもイキキ地域つながりプロジェクト事業</p> <p>〔モデル地区を設定〕</p> <p>(1) 外出支援事業</p> <p>ア ひきこもり等に関する調査・分析</p> <p>イ 子ども・若者支援ネットワーク会議の開催</p> <p>ウ アウトリーチから相談支援・生活支援</p>	<p>モデル地区（1ヶ所）：志布志市志布志市内の民生委員・児童委員及び主任児童委員を対象に「ひきこもり・不登校児の把握に関するアンケート調査」を実施し、担当地区内における対象者数や対象世帯の状況、具体的な支援の状況等について把握するとともに、事業内容を検討するツールとして活用した。</p> <p>志布志市教育委員会の主催で行われたスクールソーシャルワーカー一研修会に参加し、当事業の概要の説明や学校、スクールソーシャルワーカー、社協（生活困窮者自立事業窓口）等の関係機関の連携のあり方等について協議した。</p> <p>〈期 日〉 令和3年7月27日(火)</p> <p>〈会 場〉 志布志市役所 会議室</p> <p>〈参加者〉 志布志市教育委員会、スクールソーシャルワーカー、志布志市社協、県社協</p> <p>〈内 容〉 本事業の概要説明、連携についての協議 等</p>	<p>地域福祉部</p>
	<p>ウ アウトリーチから相談支援・生活支援</p>	<p>志布志市福祉課、まるとこと相談室と、ひきこもり・不登校児に関する連絡会を行い、「ひきこもり・不登校児の把握に関するアンケート調査」の内容の検討、関係機関・団体との連携のあり方、情報共有の仕方等について協議を行った。</p> <p>〈期 日〉 令和3年7月20日(火)</p> <p>〈会 場〉 志布志市役所 会議室</p> <p>〈参加者〉 志布志市福祉課、まるとこと相談室、志布志市社協、県社協</p> <p>〈内 容〉 ①「ひきこもり・不登校児の把握に関するアンケート調査」内容の検討 ②関係機関・団体との連携のあり方について ③担当地区における対象者の情報共有の仕方について</p>	<p>事業実施にあたっては、志布志市をモデル地区に設定し、志布志市社協と連携して重点的に事業展開を図った。</p> <p>不登校や孤立・孤食等で悩んでいる子、ひきこもりやその傾向がある子の「孤立感の解消」と「生活のしづらさの軽減」につなげるために、地域住民や民生委員・児童委員、学校・教育委員会、社会福祉法人等の関係機関や団体と連携を図りながら、外出支援、居場所づくり支援、学習支援、仲間づくり支援を効果的に実施することができた。</p>

<p>(2) 居場所づくり支援事業 ア 虐待・貧困・孤立に関する セミナー等の開催</p>	<p>地域住民等を対象として、子どもの虐待や貧困、孤立について理解を深め、支援のための地域の関わり方について考えることを目的に「子ども未来応援セミナーin志布志市」を開催した。</p> <p>〈イベント名〉 子どもの未来応援セミナーin志布志市 〈期 日〉 令和3年12月4日(土) 〈会 場〉 志布志市健康ふれあいプラザ 〈参加者〉 33名 〈内 容〉</p> <p>講演：「子どもに寄り添う活動について」 (講師) 一般社団法人パーソナルサービス支援機構 代表理事 大倉一真 氏</p>
<p>イ 居場所づくり支援者の養成</p> <p>ウ 社会福祉法人との連携</p>	<p>令和4年1月24日(月)に開催した「子ども寄り添いボランティア養成講座」において、様々な困難(精神的・経済的)を抱えている子ども「居場所」「拠り所」になるために支援者側としてどのような対応が必要か、支援のあり方について学ぶことができた。</p> <p>※参照 (3) 学習支援事業 ア 学習支援ボランティアの養成</p> <p>志布志市社協と同市内の社会福祉法人との連携に向けて、市内の社会福祉法人に対し、地域における公益的な取組活動に関するアンケート調査を実施した。令和4年度のフォローアップ事業において、アンケート結果を活用しながら、不登校児やひきこもり等への支援をはじめ、生活困窮世帯への支援のあり方について、協議することになった。</p>
<p>(3) 学習支援事業 ア 学習支援ボランティアの養成</p>	<p>志布志市における学習支援の現状やボランティアについて基礎的な理解を深めることを目的に「子ども寄り添いボランティア養成講座」を開催した。</p> <p>〈期 日〉 令和4年1月24日(月) 〈会 場〉 志布志市社会福祉協議会 〈参加者〉 12名 〈内 容〉</p> <p>講義：子どもに寄り添う活動について～子どもの学習支援や居場所づくりについて～ (講師) NPO法人ルネスかごしま 理事長 谷川 勝彦 氏 協議：子どもに寄り添う活動についてのフリートーク</p>

6 こどもイキキ地域つながりプロジェクト事業		事業実施概要等		所管部署	地域福祉部
令和3年度事業計画		事業実施概要等		具体的成果等	
イ 学びの場（機会）の創出		<p>しぶし生活自立支援センター「ひまわり」（志布志市社会福祉協議会）とともに、生活困窮世帯等の児童への学習機会の確保を図るために、新たな学びの場の設置について検討を行った。</p>			
(4) 仲間づくり支援事業 ア 長期休暇における体験活動		<p>志布志市内の小・中学生を対象に、文化的経験・体験の機会を提供するため、夏・冬の長期休暇期間に体験活動を行った。</p> <p>〈期 日〉 夏：令和3年7月31日(土)、令和3年8月17日(火) 冬：令和3年12月27日(月)</p> <p>〈会 場〉 夏：しぶし生活自立支援センター「ひまわり」 冬：しぶし生活自立支援センター「ひまわり」</p> <p>〈参加者〉 夏：13名（5世帯） 冬：5名（2世帯）</p> <p>〈内 容〉 夏：施設見学、キャンドル作り体験 冬：施設見学、パンケーキ作り体験</p>			
イ 地域活動への参画		<p>夏の体験活動や冬の体験活動等において、社会性を身につけるとともに、社会貢献活動への関心を高め、地域活動への参画を図ることとを目的に、ボランティア体験活動等を実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により中止した。</p>			
(5) 事業実施地区（令和2年度） のフオローアップ		<p>令和2年度に当事業のモデル地区に指定した湧水町社協へのフオローアップを行った。湧水町社協が、冬の体験活動として、同町内の小・中学生を対象に、非常用炊き出し訓練、工作活動、車いす、アイマスク体験を実施し、その助言等を行った。</p>			
7 地域包括支援体制人材育成事業				所管部署	地域福祉部
既存の相談員を対象とした相談支援包括化推進員の育成		<p>市町村が、複合化・複雑化した課題や制度と制度の狭間の問題を抱える世帯に対する多機関・分野協働による包括的相談支援体制を構築する上で、市町村において必要となる人材（相談支援包括化推進員）を育成することを目的に、鹿児島地域振興局管内、熊毛支庁管内の2地区で、「鹿児島県相談支援包括化推進員養成講座（全6回）」を次のとおり開催した。</p> <p>〈第1回〉 鹿児島（8/10）、熊毛（8/18） 講義①：記念講演「生活困窮・社会的孤立者に対する相談支援」 演習①：グループワーク「同上」</p>			<p>福祉二一ズの一者に対し、複合的・複層的な相談員を育成し、地域資源の活用を図ることで、包括的相談支援体制の構築を促進することができた。</p> <p>全課程修了者43人（鹿児島32人、熊毛11人）へ修了証書を交</p>
(1) 福祉分野の横断的な連携を図るため、他制度の政策を学ぶ研修会の開催					
(2) 包括的な相談支援を行っているNPO法人のコーディネーター等を講師に招いた講義					

<p>(3) グループ演習等の実践形式での研修会</p>	<p>〈第2回〉 鹿児島 (9/22), 熊毛 (9/29) 講義②:「権利擁護について考える」 講義③:「地域包括ケアシステム・地域共生社会の実現」 演習②:「複合的な困難事例検討 (高齢)」</p> <p>〈第3回〉 鹿児島 (11/9), 熊毛 (11/18) 講義④:「障害者の地域生活と地域移行」 講義⑤:「相談業務から見たひきこもりへの対応」 演習③:「複合的な困難事例検討 (障害)」</p> <p>〈第4回〉 鹿児島 (12/21), 熊毛 (12/24) 講義⑥:「ライフステージにおける児童福祉と母子保健」 講義⑦:「発達障害への理解」 演習④:「複合的な困難事例検討 (児童)」</p> <p>〈第5回〉 鹿児島 (1/14), 熊毛 (1/21) 演習⑤:「これからの「まちづくり」を考えるいくつかのヒント」</p> <p>演習⑥:「経験から生まれる地域支え合い」</p> <p>〈第6回〉 鹿児島 (2/28), 熊毛 (2/18) 演習⑦:「「支え合いマップ」を活用した地域援助」 演習⑧:「講座のまとめ・目標設定」</p>	<p>付し、全課程を修了できなかつた受講者には受講証明書を発行した。</p>
------------------------------	--	--

Ⅲ ボランティア活動の促進		所管部署	ボランティアセンター
1	県ボランティアセンターの運営		
令和3年度事業計画		具体的成果等	
(1) 県ボランティアセンターの設置	<p>県ボランティアセンター事業の推進を図るため、ボランティアコーディネーターを設置し、来所や電話でのボランティア相談に対応したほか、各種研修会の企画実施、市町村社協が主催するボランティア講座への支援、市町村社協ボランティア担当職員の研修等指導助言を行った。</p> <p>また、令和3年7月9日からの大雨災害では、伊佐市社協が設置した災害ボランティアセンターの運営支援等を行うとともに、同大雨による県内の状況把握に努めた。</p> <p>注) 被災地支援ほか災害対応関連の取り組みについては(5)に掲載。</p>	<p>多様な相談への対応や各種研修の企画及び実施、各団体が実施するボランティア講座等の支援を行うことを通して、ボランティアへの理解と関心を高めることにつながった。</p> <p>また、被災地災害ボランティアセンターの支援にあたっては、県、九州各県・指定都市社協、県下市町村社協及び県内の災害支援NPO等と連絡を図るなどし、平時の関係構築の成果を生かすことができた。</p>	
(2) 福祉救済ボランティア活動連絡会の開催	<p>県内外で大規模災害が発生した場合の福祉救済活動・災害ボランティア活動支援を迅速かつ効果的に行えるように、関係機関団体等との平時や災害時の取組の共有、関係者間の顔の見える関係づくりなどを図るため、連絡会を次のとおり開催した。</p> <p>〈日時〉 令和4年1月31日(月) 午後1時30分～午後3時</p> <p>〈会場〉 県社会福祉センター7階 第3会議室/オンライン併用</p> <p>〈内容〉 ア 令和3年度の県社協災害ボランティア活動支援等の取り組みについて イ 改定版「社協における災害ボランティアセンター活動支援の基本的な考え方」の概要について ウ 出席団体における防災・被災者支援等の取り組みについて エ その他 県災害対策課、県社会福祉課、日本赤十字社県支部、県共同募金会、日本防災士会県支部、日本青年会議所九州地区鹿児島ブロック協議会、県社会福祉士会の7機関8人（下線部はリモート出席機関）</p>	<p>平時において、災害が発生した際の取組や連携等について、関係機関団体等と情報共有が図られたとともに、災害ボランティアセンターが果たすべき役割や機能について、周知することができた。</p>	

<p>(3) 県総合防災訓練、桜島火山爆発総合防災訓練への参加 (各1回)</p> <p>ア 県総合防災訓練 予定期：始良市 開催日 7月 令和3年5月23日</p> <p>イ 桜島火山爆発総合防災訓練 予定期：鹿児島市 開催日 7月 令和4年1月中旬</p>	<p>県総合防災訓練については、開催地の始良市社協と次の内容で準備を進めていたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となった。</p> <p>① 県総合防災訓練 〈日 時〉 令和3年5月23日(日)午前8時30分～午前11時30分 〈会場〉 加音ホール「ホワイエ」 〈実施予定案〉 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮したボランティア受付、ボランティア活動保険加入手続き、ニーズ受付、マッチング・コーディネート、ボランティア派遣、仮設避難所での障害者や外国人等災害時要配慮者等への対応訓練、QRコードを利用した受付のデモンストラ</p>	<p>桜島火山爆発総合防災訓練の実施については、人数制限はあったものの、新型コロナウイルス災害感染拡大防止に配慮した災害ボランティアセンター設置・運営訓練が実施できたことで、三密・滞留等の回避といった課題に、工夫改善すべき点があることがわかった。</p> <p>なお、中止となった県総合防災訓練については、開催地の始良市が別途「始良市総合防災訓練」を開催したことから、同市社協とともに参加するなど訓練機会を確保できた。</p>
<p>(4) 指導・連絡・研修</p>	<p>② 桜島火山爆発総合防災訓練への参加 鹿児島市が主催する桜島火山爆発総合防災訓練に参加し、鹿児島市社協が設置する災害ボランティアセンターの設置運営訓練にかかる訓練資材の貸出し及び当日の運営支援を行った。</p> <p>なお、今回の訓練は感染拡大防止のため参加人数の制限が設けられ、この訓練には、鹿児島市社協と県社協のみの参加となった。</p> <p>〈日 時〉 令和4年1月8日(土)午前9時～午後12時30分 〈会場〉 鹿児島市立清水中学校グラウンド 〈参加者〉 20人(鹿児島市社協及び県社協の職員ののみ) 〈実施内容〉 災害ボランティアセンター設置・運営訓練 新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮したボランティア受付、ボランティア活動保険加入手続き、ニーズ受付、マッチング・コーディネート、ボランティア派遣、仮設避難所での多様な被災者を想定した支援活動訓練など</p>	<p>参加者数：前年度比 ±0人</p>
<p>(4) 指導・連絡・研修</p>	<p>① 市町村社協及び行政、教育委員会等が行うボランティア講座等(研修会、委員会など)から指導要請を受け助言指導等を行った。 〈講座等出席回数〉 計14講座 〈上記の内訳〉 市町村社協等の講座10回、その他の講座4回</p>	<p>オンライン活用と演習メニューの工夫等により、関係団体からの指導要請に応えることができた。 ・指導回数：前年度比 ±0回</p>

1 県ボランティアセンターの運営	事業実施概要等	所管部署	ボランティアセンター
<p>令和3年度事業計画</p>	<p>事業実施概要等</p> <p>② その他(全社協主催事業への協力)</p> <p>ア 都道府県・指定都市域で活躍する人材養成のため開催された「令和3年度全国福祉教育推進員研修」(オンライン)に係る鹿児島県域分の演習プログラムの指導を次のとおり担当した。</p> <p>〈日時〉令和3年9月6日(月)午後1時30分～午後4時30分</p> <p>〈会場〉県社会福祉センター7階第2会議室</p> <p>〈参加社協〉鹿児島市・鹿屋市・薩摩川内市・鹿児島県から各1人、始良市・曾於市から各2人…計8人</p> <p>〈内容〉演習1「福祉教育プログラムを磨く」 演習2「福祉教育ネットワークを考える」</p> <p>〈演習指導〉県社協ボランティアセンター推進員</p> <p>イ 「離島の社協職員によるシンポジウム」(オンライン)が行われ、そのコーディネーターを務めるとともに、月間ボランティア情報(2021年8月号)で紹介された。</p> <p>〈開催日時〉令和3年7月28日(水)午後1時30分～午後4時</p> <p>〔参加者数〕80人</p> <p>〔テーマ〕「人と人のつながりがくらしをつくる離島の地域づくりから考える社協の姿」</p> <p>〔シンポジスト〕島根県海士町社協 福祉活動専門員 沖縄県与那国町社協 地域福祉推進員 東京都大島社会福祉協議会 事務局長</p> <p>〔コーディネーター〕鹿児島県社協ボランティアセンター所長</p>	<p>ボランティアセンター</p> <p>具体的成果等</p> <p>全社協の研修等に積極的に協力すること、その運営ノウハウを学ぶことができたとともに、本県市町村社協の特色ある取組を全国へ発信することができた。</p>	
<p>(5) 被災地支援ほか災害対応関連の取り組み</p>	<p>令和3年度に発生した災害関連への対応や環境整備等にあたっては、市町村社協や関係団体等と連携を図りながら次のとおり行った。</p> <p>① 県内の災害被災地ボランティアセンターへの支援 令和3年7月9日からの大雨災害に伴い、伊佐市社協が設置した「伊佐市災害ボランティアセンター」の運営支援のため、ボランティアセンター職員派遣や応援調整を行った。 なお、九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定に基づく県外への応援派遣等はなかった。 〔応援職員派遣〕 県社協 延べ3人、近隣市町村社協3人 (共に7月13日～16日の間)</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県外からの支援が得られにくい中、県内の関係団体等と連携して被災地域の復旧・復興に寄与することが出来た。</p>	

	<p>[物資の提供等] 500ml飲料水360本, 20飲料水132本, 不織布マスク300枚, 500mlペンザルコロニウム消毒液5本の提供及び非接触型体温計等の貸与</p> <p>[その他] 令和2年7月豪雨災害で、芦北・津奈木広域災害ボランティアセンターの長期運営支援に入った出水市社協と連携し、同広域災害ボランティアセンターで余剰となったスコープや十能、一輪車等活動資機材の一部を伊佐市災害ボランティアセンターに融通・運搬してもらうための調整を行った。</p> <p>② 市町村社協や関係団体等が実施する訓練・研修等への支援</p> <p>ア 鹿屋市社協・鹿屋市・鹿屋JC・大隅災害復旧ボランティアによる合同研修会（オンライン）</p> <p>イ 災害ボランティアセンターについての理解と行政・社協・NPO等の多様な支援機関の連携促進を図るため、鹿屋市社協主催による合同研修会が令和3年7月1日（日）に開催され、「社協によるボランティアを活用した被災者支援の取り組み」と題して説明を行った。</p> <p>ウ 始良市総合防災訓練への参加</p> <p>始良市主催による総合防災訓練が令和3年11月14日（日）に開催され、始良市社協と参加するとともに同市社協へ訓練支援を行うとともに、訓練見学者に対してQRコードを活用した“ボランティア受付”や“ボランティア活動保険加入”の紹介及びデモンストラーション等を行った。</p> <p>ウ 奄美大島青年会議所・大島地区社協連協合同研修会（オンライン）</p> <p>令和2年度の災害時応援協定締結から初となる両者共催のオンラインによる合同研修会が令和4年1月28日（金）に開催され、「災害ボランティアセンターに求められる連携・協働の深化と進化」のテーマで説明を行った。</p> <p>③ 災害支援体制構築への支援</p> <p>ア 青年会議所と市町村社協の災害時協定締結の促進</p> <p>災害支援体制構築の一環である県内の地区・市町村社協と青年会議所との災害時協定について、令和3年度は南さつま市社会福祉協議会と南さつま青年会議所に働きかけを行い、令和3年11月26日に締結となった。</p> <p>また、令和4年3月4日には青年会議所九州地区鹿児島ブロック</p>	<p>コロナ禍や地理的条件等により訓練機会が制限される中、積極的に連携や研修の機会を確保しようとする社協等を支援することができた。</p> <p>青年会議所との災害時協定については、残り1市を残すのみとなった。</p>
--	--	---

1	県ボランティアセンターの運営 令和3年度事業計画	所管部署 ボランティアセンター
	<p style="text-align: center;">事業実施概要等</p> <p>協議会主催「災害に強い地域づくり推進会議」に出席し、県内13青年会議所に対して、平時からの社協との連携強化について協力を要請した。</p> <p>イ 市町村社協間の県域を越えた災害応援協定締結への支援 県境の隣接する市町村社協同士による災害時相互応援協定の締結を促進したことにより、令和3年度中に県域を越えた協定が次のとおり締結された。</p> <p>(7) 曾於市と宮崎県都城市の2社協（締結日：令和3年5月18日） (4) 伊佐市と熊本県人吉市、宮崎県の小林市・えびの市の4社協（締結日：令和3年7月2日） (4) 伊佐市と熊本県水俣市の2社協（締結日：令和3年3月29日）</p>	<p style="text-align: center;">具体的成果等</p> <p>コロナ禍のため県外からの支援や受援が得にくい。県外であっても生活圏を同じくする県境近隣の市町村社協の応援は、被災地住民も不安がらず好意的に受け入れてくれるため、長期間の支援や受援体制の構築に資する。</p>
<p style="text-align: center;">福祉教育推進事業</p> <p>(1) 児童・生徒のふれあいボランティア活動啓発促進事業の推進 ア 未導入市町村社協への導入促進 イ 導入済社協連絡会の開催（1回） ウ ポイントカード・スタンプの作成配布</p>	<p>地域における児童・生徒の様々なボランティア活動にスタンプを普及し、スタンプが一定量貯まると活動認定証を交付する取組を普及啓発するため、スタンプを500個、カードを小学校用15,000枚と中学校・高校用15,000枚作成し、導入済市町村社協へ配布した。また、未導入の市町村社協へ導入を促すための働きかけを随時行うとともに、「児童・生徒のふれあいボランティア活動事業担当者連絡会」を次のとおり行った。</p> <p>① 導入促進 延べ13市町村の社協や教委、小中高校等を訪問して働きかけた結果、新たに長島町、瀬戸内町、徳之島町、和泊町、知名町及び与論町の6町社協が導入を決め、令和3年度中に事業を開始した。</p> <p>② 大島本島担当者連絡会（集合型） ア 日 時：令和3年12月2日（木）午前10時～正午 イ 会 場：奄美市社会福祉センター2階 会議室 ウ 参加社協：奄美市、龍郷町、瀬戸内町、宇検村の4市町村社協 エ 担当職員：担任職員 エ 内 容：地域・学校で育むボランティア活動に関する講義、他機関との連携、住民への広報啓発及び高等学校との連携のあり方に関する意見交換等</p>	<p style="text-align: center;">ボランティアセンター</p> <p>導入促進に向けて積極的に働き掛けをしたことで、この事業を導き入る社協が28社協から34社協に増えた。コロナ禍ではあったものの、活動認定証の交付も順調に推移しており、児童生徒がボランティア活動を行うやすい環境づくりにつながっている。</p>

	<p>③ 担当者オンライン連絡会 日 時：令和4年1月28日(金) 午後1時30分～午後4時 アイ参加社協：導入済社協22か所、導入検討中社協2か所 ウ 内 容：講 義 「学校と地域で育むボランティア活動」 講師：鹿児島市立星ヶ峯中学校長 事例発表 鹿児島市社協、始良市社協 意見交換 関係機関との連携、住民への広報啓 発及び他事業との連携のあり方 工 末 と め：県社会福祉課、ボランティアセンター</p> <p>④ 活動認定証の交付状況（単位：延べ人）</p> <table border="1" data-bbox="555 748 718 1552"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> <th>義務教</th> <th>高校生</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年度までの累計 A</td> <td>3,647</td> <td>288</td> <td>14</td> <td>307</td> <td>4,256</td> </tr> <tr> <td>令和3年度実績 B</td> <td>903</td> <td>37</td> <td>14</td> <td>23</td> <td>977</td> </tr> <tr> <td>交付総数 (A+B)</td> <td>4,550</td> <td>325</td> <td>28</td> <td>330</td> <td>5,233</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	小学生	中学生	義務教	高校生	合 計	前年度までの累計 A	3,647	288	14	307	4,256	令和3年度実績 B	903	37	14	23	977	交付総数 (A+B)	4,550	325	28	330	5,233	<p>既導入社協（28社協）</p> <p>鹿児島市、薩摩川内市、伊佐市、垂水市、日置市、南さつま市、南大隅町、始良市、志布志市、さつま町、霧島市、西之表市、龍郷町、伊仙町、天城町、喜界町、肝付町、鹿屋市、湧水町、南九州市、阿久根市、曾於市、中種子町、南種子町、出水市、奄美市、錦江町、屋久島町</p> <p>新規導入社協（6社協）</p> <p>長島町、瀬戸内町、徳之島町、和泊町、知名町、与論町</p>
区 分	小学生	中学生	義務教	高校生	合 計																					
前年度までの累計 A	3,647	288	14	307	4,256																					
令和3年度実績 B	903	37	14	23	977																					
交付総数 (A+B)	4,550	325	28	330	5,233																					
<p>(2) 大学・短大ボランティア活動連携促進事業 ア 学生ボランティア交流会（1回） イ 大学・短大ボランティア支援担当部署との情報交換の実施（1回）</p>	<p>① 学生ボランティア交流会の開催 県内の大学・短大等のボランティア活動の更なる活性化と連携・協働の促進を図るため、実施希望のあった2大学と連携して次の内容で交流イベントを実施予定であったが、まん延防止等重点措置が適用されたため中止となった。</p> <table border="1" data-bbox="943 300 1305 1592"> <thead> <tr> <th>大学名</th> <th>鹿児島国際大学</th> <th>志学館大学</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日 時</td> <td>令和4年1月31日(月) 午後1時～午後4時</td> <td>令和4年2月7日(月) 午後1時～午後4時</td> </tr> <tr> <td>会 場</td> <td>鹿児島国際大学フィールドハウス</td> <td>志学館大学体育館</td> </tr> <tr> <td>参加人員</td> <td>学生40人～50人程度を予定</td> <td>学生40人程度を予定</td> </tr> <tr> <td>内 容</td> <td>① 障害者スポーツとボランティアの関わり（座学） ② パラスポーツ体験（フライングディスクの競技体験） ③ 視覚障害と車椅子の誘導実習 ④ 障害者スポーツボランティアについてのまとめ</td> <td>① 障害者スポーツとボランティアの関わり（座学） ② パラスポーツ体験（フライングディスク、ボッチャ、ブラインドランナーの伴走体験） ③ 視覚障害と車椅子の誘導実習 ④ 障害者スポーツボランティアについてのまとめ</td> </tr> <tr> <td>講 師（共通）</td> <td>鹿児島パラアスリートクラブ代表 福水優士氏 鹿児島県障害者自立交流センター企画係長 丸野奈央 氏</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	大学名	鹿児島国際大学	志学館大学	日 時	令和4年1月31日(月) 午後1時～午後4時	令和4年2月7日(月) 午後1時～午後4時	会 場	鹿児島国際大学フィールドハウス	志学館大学体育館	参加人員	学生40人～50人程度を予定	学生40人程度を予定	内 容	① 障害者スポーツとボランティアの関わり（座学） ② パラスポーツ体験（フライングディスクの競技体験） ③ 視覚障害と車椅子の誘導実習 ④ 障害者スポーツボランティアについてのまとめ	① 障害者スポーツとボランティアの関わり（座学） ② パラスポーツ体験（フライングディスク、ボッチャ、ブラインドランナーの伴走体験） ③ 視覚障害と車椅子の誘導実習 ④ 障害者スポーツボランティアについてのまとめ	講 師（共通）	鹿児島パラアスリートクラブ代表 福水優士氏 鹿児島県障害者自立交流センター企画係長 丸野奈央 氏		<p>コロナ禍のため学外ボランティア活動が制限される中で、ボランティア活動により得られる学びや交流の機会を学内イベントで確保したいという意向に対応できた。</p>						
大学名	鹿児島国際大学	志学館大学																								
日 時	令和4年1月31日(月) 午後1時～午後4時	令和4年2月7日(月) 午後1時～午後4時																								
会 場	鹿児島国際大学フィールドハウス	志学館大学体育館																								
参加人員	学生40人～50人程度を予定	学生40人程度を予定																								
内 容	① 障害者スポーツとボランティアの関わり（座学） ② パラスポーツ体験（フライングディスクの競技体験） ③ 視覚障害と車椅子の誘導実習 ④ 障害者スポーツボランティアについてのまとめ	① 障害者スポーツとボランティアの関わり（座学） ② パラスポーツ体験（フライングディスク、ボッチャ、ブラインドランナーの伴走体験） ③ 視覚障害と車椅子の誘導実習 ④ 障害者スポーツボランティアについてのまとめ																								
講 師（共通）	鹿児島パラアスリートクラブ代表 福水優士氏 鹿児島県障害者自立交流センター企画係長 丸野奈央 氏																									

2	福祉教育推進事業	令和3年度事業計画	事業実施概要等	所管部署	ボランティアセンター
		<p>福祉教育推進セミナー 奄美会場（6月開催予定） 鹿児島会場（11月開催予定） （鹿児島市及び奄美市の共催事業）</p>	<p>事業実施概要等</p>	<p>具体的成果等</p>	<p>コロナ禍により、学外会議等への参加制限のある担当職員に配慮するため、会場参加とオンライン参加の併用方式で開催し、前年度並みの参加を得ることができた。</p>
<p>②</p>	<p>大学・短大ボランティア担当職員意見交換会 大学・短大生のボランティア活動の活性化を図るため、各大学・短大ボランティア支援担当職員との意見交換会を次のとおり開催した。</p> <p>〈日 時〉 令和3年8月25日(水) 午後1時30分～午後3時30分 〈会場〉 県社会福祉センター7階 第3会議室／オンライン併用 〈内容〉 学生ボランティア交流会について（前年度報告・今年度交流の提案等） イ ボランティア活動を行う学生に対する支援についての情報交換等 〈参加大学〉 会場参加…志學館大学、鹿児島純心女子大学、第一工科大学 オンライン参加…鹿児島大学、鹿屋体育大学、鹿児島国際大学、鹿児島純心女子短期大学、鹿児島女子短期大学 計 8大学から8人</p>	<p>③ 県内の大学・短大にあるボランティアサークルの紹介やボランティア活動に関する心得等を記載した「ボランティアのなかまたち」を500部作成し、大学・短大及び市町村社協等へ配布した。</p>	<p>大学・短大生が、ボランティア活動に参加する上で必要な情報提供等に寄与できた。</p>	<p>ボランティアセンター</p>	<p>ボランティアセンター</p>
<p>③</p>	<p>教育・福祉関係従事者、地域住民など幅広い関係者による福祉教育の多様な取り組みを推進し、心豊かな子どもたちの育みや地域の福祉力向上を図るため、次のとおり2地区に分けてオンラインにより開催した。</p>	<p>① 大島地区オンライン会場 〈日 時〉 令和3年6月23日(金) 午後1時～午後4時30分 〈参加者〉 19人（大島地区内の市町村協賛、市町教委、福祉担当職員、見識） 〈内容〉 説明「福祉教育推進のための方策について」 事例発表「県社協ボランティアセンター推進員 ～奄美市立佐仁小学校での福祉教育の取組～ ～総務課の取り組み～」 発表者：奄美市立佐仁小学校教頭 柏本啓太氏 講演「福祉教育のテーマ設定と企画立案の取組について」</p>	<p>オンラインによる2地区での開催にしたことで、参加者数は昨年度の倍以上となった。また昨年度と同様に学校教諭や教育委員会、市町村社協職員及び児童委員など多様な参加を得られたことから、福祉教育に関わる幅広い関係者の理解を深めることに寄与した。</p>	<p>参加者数：前年度比 37人増</p>	<p>ボランティアセンター</p>

	<p>講師：神戸市兵庫区社会福祉協議会地域支援課 長谷部 治 氏 ま と め 「本日のセミナーを振り返って」</p> <p>② 鹿児島地区オンライン会場 〈日 時〉 令和3年11月12日(金) 午後1時～午後4時30分 〈参 加 者〉 50人 本土、熊毛地区内市町村の社職員、教委・福祉士、学校教職員、児童養、NPO関係者等 〈内 容〉 説明「福祉教育推進のための方策について」 説明者：県社協ボランティアセンター推進員 事例発表「鹿児島大学附属小学校での福祉教育の取組」 ～ 総合的な学習の時間の実践を通して～ 発表者：鹿児島大学附属小学校教諭 渡邊健二 氏 講 演 「福祉教育のテーマ設定と企画立案の取組について」 講 師：神戸市兵庫区社会福祉協議会地域支援課 長谷部 治 氏 事業説明 「介護実習・普及センターの業務紹介」 説明者：県社協介護実習・普及センター所長</p>	
<p>3 養成・研修事業</p> <p>(1) ボランティアコーディネーター 一・ボランティア担当職員セミナー ナー (1回)</p>	<p>ボランティア活動団体・NPO 団体及び福祉関係団体等との連絡調整、活動プログラムの企画や需給調整、各種ボランティア活動者の養成及び災害対応等を担うボランティアコーディネーター・担当職員の資質向上等を図るため、次のとおりオンラインで開催した。</p> <p>〈日 時〉 令和3年11月4日(木) 午前10時30分～午後4時 〈参 加 者〉 市町村社協ボランティアコーディネーター及びボランティア担当職員36人 〈内 容〉 説明「社協ボランティアセンターを取り巻く状況について」 説明者：県社協ボランティアセンター所長 話題提供「伊佐市災害V C活動報告～災害時の情報発信への備え～」 報告者：伊佐市社協 地域福祉推進員 福元秀明 氏 講義 I ～ II 「新たな情報の発信・共有・共有機会を創出するために」 (講義 I を SNS 編、講義 II を WEB 会議ツール編として実施) 講 師：さいばいばい 代表 斉場俊之 氏 ま と め 上記の説明者、報告者及び講師等</p>	<p>所管部署 ボランティアセンター</p> <p>感染防止策を講じながら活動する上で重要なコミュニケーション手段となったSNSやWEB会議ツールなど情報通信技術（ICT）の効果的な活用方法や情報の取扱い方等について理解を深めることができた。 ・参加者数：前年度比 +6人</p>

3 養成・研修事業	所管部署	ボランティアセンター
<p>令和3年度事業計画</p>	<p>事業実施概要等</p>	<p>具体的成果等</p>
<p>(2) シニアボランティア講座 (1回)</p>	<p>シニア層が長年培ってきた豊かな経験や知識、趣味などをボランティア活動や地域活動に生かしてもらうため、ボランティア活動等最新情報や現に活動するシニア層のボランティア活動事例を紹介し、ボランティア活動への参加を促す機会となるよう次のとおり開催した。</p> <p>なお、講座の対象者がシニア層であることから、定員を例年の三分割減とするなど、特に新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意した。</p> <p>〈日時〉 令和3年9月28日(火)午後1時～午後4時30分 〈会場〉 県社会福祉センター別館 〈参加者〉 25人 〈内容〉</p> <p>講義：「ボランティアの意義と役割について」 講師：県社協ボランティアセンター所長 活動発表：「ハーモニカ伊集院の演奏」 牧迫一幸氏ほか5人 実践報告Ⅰ：「県おもちゃ病院連絡協議会の取り組み」 米重忠好氏 実践報告Ⅱ：「俺たつがサロンの取り組み」 奥村 司氏 実践報告Ⅲ：「森の学校『一歩会』の取り組み」 児玉時和氏</p>	<p>ボランティア活動の担い手として期待のかかるシニア層に向けて、多種多様な取組事例を紹介することで、ボランティア活動等への理解を深めることに繋がった。</p> <p>・参加者数：前年度比 △1人</p>
<p>(3) 災害ボランティアセンター運営支援ボランティア養成講習会 (1回)</p>	<p>災害ボランティア活動に関心のある方や地域のボランティアリーダー等を対象に、災害発生時のボランティアセンター運営を支援するボランティア養成講習会について、次のとおりオンラインで開催した。</p> <p>〈日時〉 令和3年7月12日(月) 午後1時30分～午後4時 〈受講者数〉 市町村行政職員、市町村社協職員、民生委員児童委員ボランティア、NPO職員等 38人（修了者数も同数） 〈指導者〉 県社協ボランティアセンター所長 〈内容〉</p> <p>説明Ⅰ 「災害ボランティアセンターとは『歴史的変遷、被災者支援の基本的理解等』」 説明Ⅱ 「衛生管理に配慮した災害VCの運営を支えるために」 説明Ⅲ 「ICTを利用した災害ボランティア受付システムについて」</p>	<p>災害ボランティアの歴史的変遷、被災者支援の基本的な考え方、支援活動の流れなどの基礎的知識から、ボランティア活動者や災害ボランティアセンター運営者向けに出された最新の感染症防止対策指針等まで、最新かつ幅広い知識を持つ運営ボランティアの養成につながった。</p> <p>・修了者数：前年度比 16人増</p>

4 広報啓発事業	所管部署	ボランティアセンター
<p>(1) 啓発用物品の整備・提供 ア ボランティア手帳の発行 (発行部数2,000件)</p>	<p>市町村社協等が開催するボランティア講座や研修会や資料として、また、学校での“総合的な学習の時間”等の学習用として、新たに掲載内容を更新した「私のボランティア手帳」を6,000部作成し、市町村社協等へ配布した。</p>	<p>新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、講義やテキストを使った講座スタイル等が多かったことなどが影響し、手帳の需要が増え、幅広く活用された。疑似体験セットなどの装具は、交互に身に付けあったり、装着を補助しあったりする。また、学校では学級・学年単位で使用するケースも多いことから、大人数での使用を抑制するなど感染リスクの低減を優先した。 (対前年度比 113個増)</p>
<p>イ 啓発用物品の貸出・整備等</p>	<p>① ボランティア学習・介護体験講座等に使用する疑似体験セット、車椅子、アイマスク等の貸出しについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県の警戒基準のレベル2以上となっている期間（令和3年5月17日から6月30日までと8月6日から10月7日まで、また令和4年1月19日から3月31日まで）の貸し出しを停止した。〔貸出数量：151個〕 なお、貸し出し期間中においても、貸し出し数量をそれぞれ10までに制限するとともに、利用者間隔の確保や検温、手指消毒、マスク着用、使用後の清拭等を遵守してもらったため、誓約書の提出を義務づけた上で貸し出しを行った。</p>	<p>ボランティアルーム 利用回数：前年度比 △17回 利用人員：前年度比 + 5人 ボランティアコーナー 利用回数：前年度比 △44回 利用人員：前年度比 △73人</p>
<p>ウ ボランティアルーム・コーナーの提供</p>	<p>③ ボランティアルーム・コーナー（会議室）の提供 ボランティアグループ等の活動の利便性を確保するため、同グループ等が行う研修会や講習会、打合せ等の場に活用できる会議室を提供した。 ボランティアルーム：利用回数 68回、利用人員507人 ボランティアコーナー：利用回数 64回、利用人員236人</p>	<p>ボランティアルーム 利用回数：前年度比 △17回 利用人員：前年度比 + 5人 ボランティアコーナー 利用回数：前年度比 △44回 利用人員：前年度比 △73人</p>
<p>(2) 広報紙・ホームページ等による情報提供</p>	<p>① 広報紙の発行（年6回） 県社協広報紙「ふくしのひろば」にボランティアセンターが行う事業や県内のボランティア・市民活動の様子、災害ボランティア活動支援の状況など最新のボランティア関連記事を掲載し、広報に努めた。 〈部数〉 13,700部×6回 〈配布先〉 市町村社協、市町村、学校、銀行、病院、その他関係機関・団体等</p>	<p>広報紙で活動事例等を紹介すること、県民やボランティア活動団体等への啓発や活動の進め方が図られた。 また、検索性や即時性の高い情報をウェブで情報提供すること、迅速かつ効率的な情報提供が図られた。</p>
	<p>② その他WEBによる情報提供 県社協ホームページ内に、ボランティア活動に関する活動種別や内容等の基本的事項を常時掲載するとともに、助成金情報や市町村社協に登録するボランティア団体等の情報、県内外で発生した災害や被災者支援の取組状況等を更新・掲載するなど情報発信に努めた。</p>	

4 広報啓発事業	所管部署	ポランティアセンター
令和3年度事業計画	<p style="text-align: center;">事業実施概要等</p>	
<p>(3) その他 ア サマーポランティア体験 月間の実施</p>	<p>① サマーポランティア体験月間（7月～8月） 地域や社会福祉施設等でのポランティア・介護体験等をおおし て、県民のポランティア活動への理解と関心を深めるとともに、 ポランティア活動への参加のきっかけづくりとするため、「サマ ーポランティア体験月間」の実施を市町村社協へ呼びかけた。 今年度は、当初から新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し て、人との接触機会の少ないプログラムに内容を見直すなど工夫 を働きかけたことにより、プログラム数や実施社協数などが前年 度より若干増加した。</p> <p>〈内 容〉 プログラム数：26件（県内11市町村社協が実施） 認知症サポーター養成講座、災害吹き出し訓練、 防災講座、ポランティア講習、市街地周辺の清掃 活動、手話による伝言ゲーム、福祉・ポランティ アについて考える個人ワーク等</p> <p>〈参加者数〉 475人 (男107人・女368人、小童 計34人、中学対 83人、高校生計198人、その他塾 から社会人等60人)</p>	<p>具体的成果等</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大 防止に配慮した体験プログラム に内容を見直すなど工夫して実 施したことにより、プログラム 件数、実施社協数、参加者数と もに次のとおり増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム件数： 前年度比 15件増 ・実施社協数： 前年度比 3社協増 ・参加者総数： 前年度比 273人増
イ ポランティアTシャツ等の 頒布	<p>② ポランティアTシャツ・半袖ポロシャツの頒布 ポランティアTシャツと半袖ポロシャツを製作し、有料頒布し た。また、令和3年に発生した災害による被災者支援に役立てて もらうため、頒布益金から総額20万円を次のとおり寄付した。</p> <p>〈頒布着数〉 Tシャツ…330着、半袖ポロシャツ…4,158着 〈義 援 金〉 …100,000円〔令和3年大雨災害義援金 原島共同募金〕 〈支 援 金〉 …100,000円〔令和3年明蒙賑 災義援金 行方不明活動機 体共募 金〕</p>	<p>ポランティア活動等に対する 普及啓発が図られた。また、収 益の一部を令和3年大雨災害の被 災者及び支援団体に、義援金並 びに活動支援金として寄付する ことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・頒布着数：前年度比 Tシャツ△133着、ポロシャツ+769着
ウ 届け!!みんなの使用済切手 (使用済切手でポランティア)	<p>県内の事業所や個人等から寄せられた使用済み切手を換金・積み 立て、令和5年に本県で開催される「特別全国障害者スポーツ大会」 に参加するアスリートの滞在支援用具やスポーツ用具等に役立てて もらうための取り組みに努めた。</p> <p>なお、令和3年度までの換金実績及び累計額は次のとおり。</p>	<p>使用済み切手の収集がポラン ティア活動に繋がることが徐々 に県民に浸透しつつある。今後 も「いつでもどこでも・だれで も」できるポランティアとして、 多くの県民に周知を図ることと したい。</p>

	換金額 A	換金額 B 累計額	支出額 C	残額 D (B-C) 翌年度への繰額
令和元年度	106,000円	106,000円	0円	106,000円
令和2年度	46,175円	152,175円	0円	152,175円
令和3年度	115,090円	267,265円	0円	267,265円
合計額		267,265円	0円	267,265円

5 市町村ボランティアセンターの活動促進

所管部署 ボランティアセンター

(1) ボランティア活動保険加入促進助成事業（助成総額 1,000千円）

ボランティア活動に安心して参加できるようボランティア活動保険の加入を促進するため、同保険掛金の補助を行っている市町村協会に対し助成を行った。

〈対象加入者数〉 13,586人（20市町村社協）

〈助成金額〉 1,000千円（@73.61円）

〈助成対象期間〉 令和3年4月から令和5年5月までの2か月間

〈助成条件等〉 1人あたり100円以上の助成を行う市町村社協

(2) ボランティア講座開催事業
ア 助成先 5市町村社協
イ 助成額 80千円上限
／1か所あたり

ボランティア活動への参加のきっかけづくりや地域のボランティアの掘り起こし、ボランティア活動リーダーの育成や組織化等を図るため、継続型（概ね4回以上）のボランティア講座を実施する市町村社協に事業費の一部を補助するとともに、講座の実施方法等について情報提供を行うなど支援した。

〈助成額〉 80千円を上限／1か所あたり

〈実施社協〉 5か所（実施状況は下表のとおり）

計画どおり1,000千円の助成を行い、ボランティア活動に安心して参加できる環境と掛金補助を行う市町村社協の財政支援に寄与した。

・加入者数：前年度比 182人増

・市町村数：前年度比 ±0社協

市町村社協のボランティア講座開催支援を通して、地域の実情に応じたボランティアの育成に寄与できた。

・延べ参加者総数：

前年度比 108人増

社協名	講座内容等	回数	延参加者数
阿久根市	ボランティア養成講座	4回	86人
薩摩川内市	「はんとけん体操」リーダー養成講座	4回	151人
曾於市	ボランティア養成講座	4回	33人

5	市町村ボランティアセンターの活動促進	所管部署	ボランティアセンター
令和3年度事業計画		事業実施概要等 具体的成果等	
	始 良 市	手話体験講座	5回
	長 島 町	地域支え合い ボランティア養成講座	5回
			96人
			129人

IV 福祉相談活動の推進

1 相談センターにおける福祉相談業務の推進

令和3年度事業計画

相談種目	生活・福祉	健康・介護
相談日	月～金曜日	毎週 火・金曜日
相談時間	9:00～17:00	13:00～16:00
相談員	福祉相談員	保健師

事業実施概要等

鹿児島シルバー110番による相談
高齢者及びその家族が抱える心配ごと等の相談に対応するため、福祉相談員及び専門相談員による相談業務を実施した。
今年度の相談件数は509件で、相談実績概要は次のとおり

〔利用形態別相談状況〕

相談種別	区分	相談件数	構成比 (%)
一般相談		498	97.8
専門相談		11	2.2
男性		83	16.3
女性		426	83.7
電話相談		495	97.2
面接相談		12	2.4
文書相談		2	0.4
本人		329	64.6
家族		116	22.8
知人等		40	7.9
各機関		24	4.7
鹿児島市		160	31.4
本土の鹿児島市以外の市		59	11.6
本土の町村		213	41.9
離島の市町村		4	0.8
県外		23	4.5
不詳		50	9.8
合計		509	100.0

〔事項別相談状況〕

区分	家族・家庭	法律	経済・生活	福祉サービス	生きがいづくり	保健・医療	合計
相談件数	264	62	42	95	0	46	509
構成比%	51.9	12.2	8.2	18.7	0	9.0	100

所管部署

長寿社会推進部

具体的成果等
相談件数は、前年度に比べ18件の減少となったが、依然として高齢者やその家族の抱える心配ごと等が多く、こうした問題の解決につなげることができた。
〔令和2年度実績 527件 対前年度比 96.6%〕

・相談件数：前年度比△18件

※ 事業の終了について
本事業は、昭和62年から鹿児島県の委託により実施してきたが、県の事業見直しに伴い、令和3年度末をもって終了することとなった。

2 相談関係機関との連携及び相談体制の支援	事業実施概要等	所管部署 長寿社会推進部
<p>令和3年度事業計画</p>	<p>事業実施概要等</p>	<p>具体的成果等</p>
<p>(1) 相談事業関係情報の収集・管理・提供</p>	<p>① 県社協広報紙「ふくしのひろば」(年6回発行、発行部数各13,700部)に、「シルバー110番」のページを設け、高齢者福祉に関する情報等を掲載し、福祉関係団体をはじめ、医療、教育、金融、警察等、関係機関に配布した。</p> <p>② 鹿児島県シルバー110番の周知と利用促進を図るため、パンフレット「鹿児島県シルバー110番のご案内」、冊子「各種相談窓口名簿」を関係機関に配布した。</p> <p>また、県社会福祉センターの菜館者及び各種研修会等の参加者にも配布した。</p>	<p>高齢者福祉に関する情報提供や鹿児島県シルバー110番の周知と利用促進を図ることができた。</p>
<p>(2) 市町村相談体制の支援</p>	<p>① 市町村における相談体制を支援するとともに、相談員の資質向上を図るため、心配ごと相談所、地域包括支援センター、市町村社会福祉協議会において相談業務に携わる職員等や民生委員を対象に「各種相談員研修会」を実施した。</p> <p>〈開催日〉 令和3年11月25日(木)</p> <p>〈会場〉 かがしま県民交流センター</p> <p>〈参加者〉 496人(会場参加63人、オンライン参加433人)</p> <p>〈内容〉 講義1「実践的相談技法」 講義2「新型コロナウイルス感染症の現状と感染防止対策」</p> <p>② 市町村の心配ごと相談所等の相談員等が相談業務を行う際の参考冊子「高齢者相談の手引き」を要望のあった機関・団体等に配布した。</p>	<p>関係機関・団体の相談員の資質の向上を図り、相談体制を支援することができた。</p>

V 社会福祉施設・団体等の活動促進及びすこやか基金による活動助成等

1 社会福祉振興資金の貸付		事業実施概要等		所管部署	地域福祉部(施設)		
令和3年度事業計画		事業実施概要等		具体的成果等			
民間社会福祉振興資金貸付事業		社会福祉施設整備のための貸付資金について、本会広報紙に記事を掲載するなど周知に努めた。 なお、既貸付分の償還管理や残高照会など種々の問い合わせに適切に対応した。		新規貸付について1件の問い合わせがあったが、貸付まで至らなかった。 既貸付分の償還状況は以下のとおり。			
[民間社会福祉振興資金 年度別貸付・償還状況]							
区分	年度貸付額(円)	貸付累計額(円)	年度償還計画額(円)	年度償還済額(円)	償還済累計額(円)	貸付中額(円)	償還率(%)
	A	B	C	D	E	B-E	D/C
令和2年度	0	1,544,561,000	1,551,000	1,551,000	1,542,534,000	2,027,000	100.0
令和3年度	0	1,544,561,000	1,016,000	1,016,000	1,543,550,000	1,011,000	100.0
2 福祉施設経営指導事業							
(1) 個別相談及び集団指導の実施 福祉施設経営相談コーナーを設置し、専任職員及び兼任指導員による社会福祉施設経営上の各種相談に応じるとともに、役職員を対象に研修を行う。		専任指導員1人、兼任指導員1人を配置し相談に応じた。 (相談件数 68件) [相談内容別実績]		所管部署	地域福祉部(施設)		
ア 相談コーナーの運営		施設経営一般		① 相談内容は、会計税務 67件、定款諸規程 1件であった。			
訪問		施設		② 施設別では、老人福祉施設21件、障害者支援施設8件、市町村社協等の他の施設25件、法人本部14件となっている。			
来所相談		衛生管理					
電話文書		安全防災					
集団指導		職員待遇					
合計		入所者処遇					
		会計税務					
		施設					
		預かり金					
		労使問題					
		人材確保対策					
		施設整備					
		地域交流					
		定款諸規程					
		その他					
		合計					
		0		0			
		0		0			
		67		1			
		68		68			
		0		0			
		0		68			

所管部署	地域福祉部 (施設)
具体的成果等	
<p>会計の基礎知識と決算書類の見方、個別相談事例及び決算処理の留意点等に関する研修を実施し、適正な会計事務及び健全な施設経営に寄与した。</p>	<p>研修・セミナー等の運営を支援することと、更なる知識の向上を図るとともに、施設の経営安定の促進を支援した。</p>
<p>研修・セミナー等の運営を支援することと、更なる知識の向上を図るとともに、施設の経営安定の促進を支援した。</p>	<p>研修・セミナー等の運営を支援することと、更なる知識の向上を図るとともに、施設の経営安定の促進を支援した。</p>
<p>① 第1回会計研修 [令和3年 7月29日(木), 参加者数: 150人] ② 第2回会計研修 [令和3年11月 2日(火), 参加者数: 240人] ③ 第3回会計研修 [令和4年 2月 2日(水), 参加者数: 198人] ※ 全てオンライン開催</p> <p>社会福祉施設の役員等を対象に、直面する課題等をテーマに県社会福祉法人経営者協議会が主催する経営協セミナー等の運営支援を行った。</p> <p>① 第9回県社会福祉法人経営者大会 (オンライン併用開催) [令和3年12月 7日(火)] 参加者数: 160人 (会場60人・オンライン 100人) ② 経営協セミナー (オンライン開催) [令和4年 2月14日(月)] 参加者数: 129人</p>	<p>円滑かつ効果的な事業推進を図るため、県・市の行政関係職員及び福祉団体役員で構成する経営指導連絡協議会を開催した。</p> <p>(1) 開催日: 令和3年5月10日(月) (2) 会場: 県社会福祉センター (3) 出席者: 県・市福祉関係課長, 県経営協正副会長等12人のうち10人出席</p>
<p>(2) 福祉施設経営指導連絡協議会の開催</p>	<p>経営指導事業を推進するにあたり、情報収集及び関係行政機関・福祉団体との意見交換が図られた。</p>
種別協議会の活動促進	
<p>(1) 種別協議会研修費助成(7協議会)</p>	<p>971千円 500千円 544千円 150千円 200千円 50千円</p> <p>① 県民生委員児童委員協議会 ② 県老人福祉施設協議会 ③ 県保育連合会 ④ 県知的障害者福祉協会 ⑤ 県児童養護協議会 ⑥ 県市町村社会福祉協議会連絡協議会 ⑦ 県障害者支援施設協議会</p> <p>[研修費助成総額: 2,415千円] (⑦) 県障害者支援施設協議会は研修会中止のため助成なし。</p>
<p>① 971千円 ② 500千円 ③ 544千円 ④ 150千円 ⑤ 200千円 ⑥ 50千円</p>	<p>本会からの助成をとおして、種別協議会等の活動の円滑な事業実施を支援することができた。</p>

<p>(2) 種別協議会行事開催費助成 (5行事)</p>	<p>① 知的障害者施設球技大会 400千円 ② 知的障害施設作品展示会 350千円 ③ 知的障害者関係施設文化祭 800千円 ④ 児童養護施設球技大会 300千円 ⑤ 社会就労センター協議会 300千円 〔行事開催費助成総額:2,150千円〕</p>	
<p>(3) 各種民生委員・児童委員研修への支援</p>	<p>① 各種研修会開催への支援 (3回) 〔研修会参加者 延べ 796人〕 ② 各種委員会等への支援 (13回)</p>	<p>各種研修会を開催することにより、高齢者の孤立・孤独の防止や児童虐待等社会的課題を学ぶことができ、各々の単位民児協及び各委員の日常活動の活性化が図られた。</p>
<p>(4) その他 「かごしまおもいやりネットワーク事業」への支援</p>	<p>県社会福祉法人経営者協議会が、社会福祉法人連携による「地域における公益的な取組」として実施している「かごしまおもいやりネットワーク事業」について、周知・広報を行うとともに、研修会運営の支援を行った。</p>	<p>令和4年3月末現在 加入法人数：105法人 (施設経営法人83, 県市町村社協22)</p>
<p>4 すこやか基金による活動助成等</p>		<p>所管部署 総務部 長寿社会推進部</p>
<p>(1) シルバー文化作品展「寺園賞」等の贈呈</p>	<p>すこやか基金の運用果実により、シルバー文化作品展入賞者へ記念品の贈呈(助成)予定だったが、開催が中止となった。 〈助成予定内容〉寺園勝志賞・県社協会長賞(カップ)等 〈助成額〉0円</p>	<p>高齢者の生きがいづくりに寄与する予定だったが、開催が中止となった。</p>
<p>(2) 民間社会福祉活動等への助成 (計画：16件)</p>	<p>すこやか基金の運用果実により、次の県内の不登校や引きこもりの子ども・若者の支援を行う特定非営利活動法人・フリースクール等に活動に必要な機器等の備品購入助成を行った。 〔実績：16件 1,594,650円〕</p>	<p>財政基盤の弱い福祉事業所への助成を通じて、活動支援に資することができた。</p>

4 すこやか基金による活動助成等 令和3年度事業計画	事業実施概要等			所管部署	総務部、長寿 社会推進部
	事業名称			具体的成果等	
	〈すこやか基金助成状況〉			整備物品等	
No.	事業所名	助成額(円)			
1	NP0法人 ルネかごしま	100,000	ノートパソコン		
2	NP0法人 ミサ・インフォメーションNet	100,000	ノートパソコン ペンタブレット		
3	学びと文化、地域生活研究所	100,000	レーザープリンタ		
4	NP0法人 ヒューマンネットワーク	100,000	複合機		
5	NP0法人 子育てふれあいぐらブルフ	100,000	木製ブランコ		
6	NP0法人 奄美市青少年支援センター ゆずり葉の郷	100,000	足踏み式消毒液ホップスタンド 高圧洗浄機等		
7	NP0法人 森の学校楠学園	100,000	インパクトドライバー 草刈機		
8	学びの杜学園フリースクール	100,000	プロジェクター ホワイトボード		
9	NP0法人 徳之島青少年支援センター 「にかむり塾」	100,000	子どもの学習用タブレット デジタカカメラ		
10	NP0法人 どんぐり自然学校	100,000	エアコン		
11	HSP/HSC鹿児島やさしいハリスミの会	100,000	タブレット お絵描き画材セット 案内看板 書籍等		
12	一般社団法人 パーソナルサービス支援機構	100,000	顔認識温度検知カメラ コードレス掃除機		
13	NP0法人 フリースクールMINE	99,850	ノートパソコン プリンタ ホワイトボード スケジュールボード 本棚等		
14	NP0法人 余暇ネットワーク徳之島フリースクール	100,000	CDラジカセ デジタカカメラ タブレット		
15	1/f ゆらぎボランティア会	100,000	検温付アルコール消毒液 スプレー器 立て看板 オリジナルTシャツ スポーツ用品		
16	NP0法人 しのめフリースクール	94,800	ノートパソコン		
		1,594,650	助成総額		
(3) 福祉団体九州ブロック大会等助成 (6大会)					
アイウ	第67回全国視覚障害者女性研修大会(令和3年9月1-2日開催) 九州ブロック母子生活支援施設研究大会(令和3年9-10月オンライン開催) 第48回九州障害者支援施設研究大会(令和4年2月24-25日開催)			100千円 100千円 100千円	
エ	第20回全国障がい者スポーツ大会ふうせんバレーボール大会 IN鹿児島 第25回ふうせんバレーボール交歓大会 IN鹿児島			(助成合計額：300千円) →令和5年10月に延期	
オ	第68回九州地区母子寡婦福祉研修大会 → 中止				
カ	第70回全九州ろうあ者大会及び第49回全九州手話通訳者研修会 → 中止				

VI 福祉サービスの利用支援及び苦情解決の推進

1	福祉サービス利用支援事業の推進		事業実施概要等		所管部署	福祉サービス利用支援室																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	令和3年度事業計画		事業実施概要等		具体的成果等																																																																																																																																																																																																																																																																																														
(1)	基幹的社協としての相談・支援業務の実施 【所管：鹿児島市・三島村・十島村】	福祉サービス利用支援事業を実施する基幹的社協（市町村社協）の円滑な事業運営を支援するための相談助言や情報提供等を行うとともに、鹿児島市において、福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理等の利用者支援を行った。県内における本事業の契約件数は、次のとおりとなっている。	3年度	累計	3年度	累計	累計	実利用者数																																																																																																																																																																																																																																																																																											
(2)	市町村社協の支援（40か所）		3年度	累計	3年度	累計	累計	実利用者数																																																																																																																																																																																																																																																																																											
<p>〔契約締結件数及び契約終了件数（単位：人）〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">基幹的社協名</th> <th colspan="2">契約締結件数</th> <th colspan="2">契約終了件数</th> <th rowspan="2">実利用者数</th> <th colspan="2">契約締結件数</th> <th colspan="2">契約終了件数</th> <th rowspan="2">実利用者数</th> </tr> <tr> <th>3年度</th> <th>累計</th> <th>3年度</th> <th>累計</th> <th>3年度</th> <th>累計</th> <th>3年度</th> <th>累計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①県社協(鹿児島市分)</td><td>37</td><td>311</td><td>26</td><td>230</td><td>81</td><td>⑳大崎町社協</td><td>2</td><td>13</td><td>3</td><td>10</td><td>3</td></tr> <tr><td>②鹿屋市社協</td><td>1</td><td>413</td><td>21</td><td>337</td><td>76</td><td>㉑東串良町社協</td><td>1</td><td>18</td><td>3</td><td>14</td><td>4</td></tr> <tr><td>③枕崎市社協</td><td>0</td><td>33</td><td>0</td><td>28</td><td>5</td><td>㉒錦江町社協</td><td>7</td><td>37</td><td>3</td><td>21</td><td>16</td></tr> <tr><td>④阿久根市社協</td><td>10</td><td>215</td><td>9</td><td>163</td><td>52</td><td>㉓南大隅町社協</td><td>3</td><td>35</td><td>7</td><td>26</td><td>9</td></tr> <tr><td>⑤出水市社協</td><td>14</td><td>174</td><td>12</td><td>103</td><td>71</td><td>㉔肝付町社協</td><td>6</td><td>86</td><td>13</td><td>69</td><td>17</td></tr> <tr><td>⑥指宿市社協</td><td>0</td><td>43</td><td>4</td><td>30</td><td>13</td><td>㉕中種子町社協</td><td>3</td><td>17</td><td>3</td><td>12</td><td>5</td></tr> <tr><td>⑦西之表市社協</td><td>10</td><td>67</td><td>5</td><td>36</td><td>31</td><td>㉖南種子町社協</td><td>3</td><td>16</td><td>2</td><td>12</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑧垂水市社協</td><td>4</td><td>64</td><td>7</td><td>42</td><td>22</td><td>㉗屋久島町社協</td><td>3</td><td>32</td><td>6</td><td>22</td><td>10</td></tr> <tr><td>⑨薩摩川内市社協</td><td>19</td><td>491</td><td>23</td><td>395</td><td>96</td><td>㉘大和村社協</td><td>0</td><td>10</td><td>2</td><td>8</td><td>2</td></tr> <tr><td>⑩日置市社協</td><td>11</td><td>136</td><td>10</td><td>92</td><td>44</td><td>㉙宇検村社協</td><td>2</td><td>16</td><td>1</td><td>9</td><td>7</td></tr> <tr><td>⑪曾於市社協</td><td>16</td><td>157</td><td>17</td><td>102</td><td>55</td><td>㉚瀬戸内町社協</td><td>2</td><td>48</td><td>9</td><td>30</td><td>18</td></tr> <tr><td>⑫霧島市社協</td><td>23</td><td>430</td><td>12</td><td>337</td><td>93</td><td>㉛龍郷町社協</td><td>2</td><td>50</td><td>1</td><td>24</td><td>26</td></tr> <tr><td>⑬いちき串木野市社協</td><td>1</td><td>59</td><td>5</td><td>37</td><td>22</td><td>㉜喜界町社協</td><td>8</td><td>110</td><td>10</td><td>69</td><td>41</td></tr> <tr><td>⑭南さつま市社協</td><td>6</td><td>308</td><td>18</td><td>254</td><td>54</td><td>㉝徳之島町社協</td><td>6</td><td>82</td><td>5</td><td>46</td><td>36</td></tr> <tr><td>⑮志布志市社協</td><td>10</td><td>181</td><td>10</td><td>119</td><td>62</td><td>㉞天城町社協</td><td>1</td><td>42</td><td>3</td><td>32</td><td>10</td></tr> <tr><td>⑯奄美市社協</td><td>7</td><td>302</td><td>5</td><td>245</td><td>57</td><td>㉟伊仙町社協</td><td>2</td><td>25</td><td>0</td><td>20</td><td>5</td></tr> <tr><td>⑰南九州市社協</td><td>2</td><td>105</td><td>5</td><td>85</td><td>20</td><td>㊱和泊町社協</td><td>4</td><td>112</td><td>9</td><td>72</td><td>40</td></tr> <tr><td>⑱伊佐市社協</td><td>12</td><td>38</td><td>3</td><td>20</td><td>18</td><td>㊲知名町社協</td><td>6</td><td>37</td><td>6</td><td>20</td><td>17</td></tr> <tr><td>⑲始良市社協</td><td>20</td><td>207</td><td>16</td><td>134</td><td>73</td><td>㊳与論町社協</td><td>4</td><td>24</td><td>0</td><td>12</td><td>12</td></tr> <tr><td>⑳さつま町社協</td><td>9</td><td>121</td><td>11</td><td>82</td><td>39</td><td>(県社協 H22年度まで)</td><td>0</td><td>133</td><td>0</td><td>133</td><td>0</td></tr> <tr><td>㉑長島町社協</td><td>0</td><td>14</td><td>0</td><td>6</td><td>8</td><td>合計</td><td>280</td><td>4,872</td><td>309</td><td>3,575</td><td>1,297</td></tr> <tr><td>㉒湧水町社協</td><td>3</td><td>60</td><td>4</td><td>37</td><td>23</td><td>※実利用者数＝契約締結件数（累計）－契約終了件数（累計）</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>									基幹的社協名	契約締結件数		契約終了件数		実利用者数	契約締結件数		契約終了件数		実利用者数	3年度	累計	3年度	累計	3年度	累計	3年度	累計	①県社協(鹿児島市分)	37	311	26	230	81	⑳大崎町社協	2	13	3	10	3	②鹿屋市社協	1	413	21	337	76	㉑東串良町社協	1	18	3	14	4	③枕崎市社協	0	33	0	28	5	㉒錦江町社協	7	37	3	21	16	④阿久根市社協	10	215	9	163	52	㉓南大隅町社協	3	35	7	26	9	⑤出水市社協	14	174	12	103	71	㉔肝付町社協	6	86	13	69	17	⑥指宿市社協	0	43	4	30	13	㉕中種子町社協	3	17	3	12	5	⑦西之表市社協	10	67	5	36	31	㉖南種子町社協	3	16	2	12	4	⑧垂水市社協	4	64	7	42	22	㉗屋久島町社協	3	32	6	22	10	⑨薩摩川内市社協	19	491	23	395	96	㉘大和村社協	0	10	2	8	2	⑩日置市社協	11	136	10	92	44	㉙宇検村社協	2	16	1	9	7	⑪曾於市社協	16	157	17	102	55	㉚瀬戸内町社協	2	48	9	30	18	⑫霧島市社協	23	430	12	337	93	㉛龍郷町社協	2	50	1	24	26	⑬いちき串木野市社協	1	59	5	37	22	㉜喜界町社協	8	110	10	69	41	⑭南さつま市社協	6	308	18	254	54	㉝徳之島町社協	6	82	5	46	36	⑮志布志市社協	10	181	10	119	62	㉞天城町社協	1	42	3	32	10	⑯奄美市社協	7	302	5	245	57	㉟伊仙町社協	2	25	0	20	5	⑰南九州市社協	2	105	5	85	20	㊱和泊町社協	4	112	9	72	40	⑱伊佐市社協	12	38	3	20	18	㊲知名町社協	6	37	6	20	17	⑲始良市社協	20	207	16	134	73	㊳与論町社協	4	24	0	12	12	⑳さつま町社協	9	121	11	82	39	(県社協 H22年度まで)	0	133	0	133	0	㉑長島町社協	0	14	0	6	8	合計	280	4,872	309	3,575	1,297	㉒湧水町社協	3	60	4	37	23	※実利用者数＝契約締結件数（累計）－契約終了件数（累計）					
基幹的社協名	契約締結件数		契約終了件数		実利用者数	契約締結件数		契約終了件数		実利用者数																																																																																																																																																																																																																																																																																									
	3年度	累計	3年度	累計		3年度	累計	3年度	累計																																																																																																																																																																																																																																																																																										
①県社協(鹿児島市分)	37	311	26	230	81	⑳大崎町社協	2	13	3	10	3																																																																																																																																																																																																																																																																																								
②鹿屋市社協	1	413	21	337	76	㉑東串良町社協	1	18	3	14	4																																																																																																																																																																																																																																																																																								
③枕崎市社協	0	33	0	28	5	㉒錦江町社協	7	37	3	21	16																																																																																																																																																																																																																																																																																								
④阿久根市社協	10	215	9	163	52	㉓南大隅町社協	3	35	7	26	9																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑤出水市社協	14	174	12	103	71	㉔肝付町社協	6	86	13	69	17																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑥指宿市社協	0	43	4	30	13	㉕中種子町社協	3	17	3	12	5																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑦西之表市社協	10	67	5	36	31	㉖南種子町社協	3	16	2	12	4																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑧垂水市社協	4	64	7	42	22	㉗屋久島町社協	3	32	6	22	10																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑨薩摩川内市社協	19	491	23	395	96	㉘大和村社協	0	10	2	8	2																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑩日置市社協	11	136	10	92	44	㉙宇検村社協	2	16	1	9	7																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑪曾於市社協	16	157	17	102	55	㉚瀬戸内町社協	2	48	9	30	18																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑫霧島市社協	23	430	12	337	93	㉛龍郷町社協	2	50	1	24	26																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑬いちき串木野市社協	1	59	5	37	22	㉜喜界町社協	8	110	10	69	41																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑭南さつま市社協	6	308	18	254	54	㉝徳之島町社協	6	82	5	46	36																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑮志布志市社協	10	181	10	119	62	㉞天城町社協	1	42	3	32	10																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑯奄美市社協	7	302	5	245	57	㉟伊仙町社協	2	25	0	20	5																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑰南九州市社協	2	105	5	85	20	㊱和泊町社協	4	112	9	72	40																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑱伊佐市社協	12	38	3	20	18	㊲知名町社協	6	37	6	20	17																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑲始良市社協	20	207	16	134	73	㊳与論町社協	4	24	0	12	12																																																																																																																																																																																																																																																																																								
⑳さつま町社協	9	121	11	82	39	(県社協 H22年度まで)	0	133	0	133	0																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉑長島町社協	0	14	0	6	8	合計	280	4,872	309	3,575	1,297																																																																																																																																																																																																																																																																																								
㉒湧水町社協	3	60	4	37	23	※実利用者数＝契約締結件数（累計）－契約終了件数（累計）																																																																																																																																																																																																																																																																																													

1 福祉サービス利用支援事業の推進	事業実施概要等		所管部署 福祉サービス利用支援室																												
具体的成果等																															
(3) 契約締結審査会の開催 (12回)	福祉サービス利用支援事業の契約及び解約をするに当たり、利用希望者並びに解約希望者の判断能力等に疑義がある場合等、専門的見地から審査を行った。	6人の構成委員による審査や助言等により、本事業の契約締結等が適切に行われた。																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>開催日</th> <th>内 容</th> <th>出席者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>令和3年5月18日(火)</td> <td>審査案件(3件), 契約状況及び終了報告</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>令和3年7月20日(火)</td> <td>審査案件(3件), 契約状況及び終了報告</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>令和3年9月21日(火)</td> <td>審査案件(7件), 契約状況及び終了報告</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>令和3年11月16日(火)</td> <td>審査案件(4件), 契約状況及び終了報告</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>令和4年1月18日(火)</td> <td>審査案件(5件), 契約状況及び終了報告</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>令和4年3月15日(火)</td> <td>審査案件(3件), 契約状況及び終了報告</td> <td>6人</td> </tr> </tbody> </table>	回	開催日	内 容	出席者	第1回	令和3年5月18日(火)	審査案件(3件), 契約状況及び終了報告	5人	第2回	令和3年7月20日(火)	審査案件(3件), 契約状況及び終了報告	5人	第3回	令和3年9月21日(火)	審査案件(7件), 契約状況及び終了報告	5人	第4回	令和3年11月16日(火)	審査案件(4件), 契約状況及び終了報告	5人	第5回	令和4年1月18日(火)	審査案件(5件), 契約状況及び終了報告	5人	第6回	令和4年3月15日(火)	審査案件(3件), 契約状況及び終了報告	6人	(構成委員) ・弁護士 1人 ・司法書士 1人 ・精神科医 1人 ・社会福祉士 1人 ・精神保健福祉士 1人 ・学識経験者 1人 計6人	
回	開催日	内 容	出席者																												
第1回	令和3年5月18日(火)	審査案件(3件), 契約状況及び終了報告	5人																												
第2回	令和3年7月20日(火)	審査案件(3件), 契約状況及び終了報告	5人																												
第3回	令和3年9月21日(火)	審査案件(7件), 契約状況及び終了報告	5人																												
第4回	令和3年11月16日(火)	審査案件(4件), 契約状況及び終了報告	5人																												
第5回	令和4年1月18日(火)	審査案件(5件), 契約状況及び終了報告	5人																												
第6回	令和4年3月15日(火)	審査案件(3件), 契約状況及び終了報告	6人																												
(4) 専門員会議の開催 (2回)	相談から契約の締結に至るまでの業務を担う専門員の資質向上を図るための会議及び講演等を行った。 【第1回】 〈開催日〉 令和3年8月3日(火) 〈会場等〉 県社会福祉センター7階第3会議室 (Web会議システム「Zoom」によるオンライン開催) 〈内 容〉 ア 福祉サービス利用支援事業の実施状況及び実地業務調査等について イ 福祉サービス利用支援事業に係る事務処理について ウ 成年後見制度における中核機関の設置状況等について エ 講演 「知的障害の特性と金銭管理支援」 〈参加者〉 61人 【第2回】 〈開催日〉 令和4年3月1日(火) 〈会場等〉 県社会福祉センター7階第2会議室 (Web会議システム「Zoom」によるオンライン開催)	本事業の担い手である専門員に必要とされる知識や技術の習得により、今後の利用者支援への一助となった。 ・参加者数：前年度比+25人 ・参加者数：前年度比△7人																													

	<p>〈内 容〉 ア 福祉サービス利用支援事業の実施状況及び実地業務調査結果等について イ 福祉サービス利用支援事業に係る事務処理について 〈参加者〉 58人</p>	
<p>(5) 専門員セミナーの開催 (1回)</p>	<p>地域での暮らしを支える意思決定支援と権利擁護の積極的推進を担う専門員の資質向上等に資するためのセミナーを開催した。 〈開催日〉 令和4年3月1日(火) 〈会場等〉 県社会福祉センター7階第2会議室 (Web会議システム「Zoom」によるオンライン開催) 〈内 容〉 ア 成年後見制度の利用促進における状況等について イ 講演 「認知症高齢者への生活支援の在り方 ～成年後見人の活動状況も含めて～」 〈参加者〉 58人</p>	<p>福祉サービス利用支援事業を担当する専門員等の資質向上を図られ、適正な事業運営への理解が深められた。 ・参加者数：前年度比△7人</p>
<p>(6) 利用支援員研修会の開催 (1回・5地区)</p>	<p>専門員の指示を受けて、具体的な支援を提供するとともに、利用者の生活状況の把握や利用料の徴収、支援実施記録票の作成等の業務を担う利用支援員を対象に、支援員の役割や支援の実務についての研修を実施した。 〈開催日・会場・参加者〉 令和3年11月4日(木) 曾於・肝属会場 17人 令和3年11月17日(水) 始良・伊佐会場 22人 令和3年11月25日(木) 大島会場 15人 令和3年12月2日(木) 鹿児島・南薩・熊毛会場 10人 令和3年12月7日(火) 川薩・出水会場 30人 計 94人 〈内 容〉 ア 福祉サービス利用支援事業の現状等について イ 講演 「高齢者等への福祉制度とコミュニケーションについて」</p>	<p>実際の支援を行う利用支援員の実務や役割等の理解を深め、利用者支援に必要な知識を深めることができた。 ・参加者数：前年度比+3人</p>

<p>1 福祉サービス利用支援事業の推進</p>	<p>令和3年度事業計画</p>	<p>所管部署 福祉サービス利用支援室</p>																																												
<p>事業実施概要等</p>																																														
<p>(7) 実地等業務調査の実施 (40か所)</p>	<p>本事業は、利用者及び社会からの信頼の上に成り立つ事業であることから、40か所の基幹的社協について、管理体制や取り組み状況及び預かり書類の確認等を行った。 〔実施状況〕 〈実地調査及び書類調査〉</p>	<p>基幹的社協の実態を把握し、指導・助言を行うことにより適正な事業実施の推進が図られた。</p>																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>基幹的社協名</th> <th>実施日</th> <th>基幹的社協名</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①指宿市社協</td> <td>令和3年10月4日(月)</td> <td>⑪東串良町社協</td> <td>令和3年10月18日(月)</td> </tr> <tr> <td>②南さつま市社協</td> <td>令和3年9月16日(木)</td> <td>⑫南大隅町社協</td> <td>令和3年10月18日(月)</td> </tr> <tr> <td>③薩摩川内市社協</td> <td>令和3年10月8日(金)</td> <td>⑬西之表市社協</td> <td>令和3年11月2日(火)</td> </tr> <tr> <td>④阿久根市社協</td> <td>令和3年9月14日(火)</td> <td>⑭中種子町社協</td> <td>令和3年11月1日(月)</td> </tr> <tr> <td>⑤出水市社協</td> <td>令和3年10月14日(木)</td> <td>⑮南種子町社協</td> <td>令和3年11月1日(月)</td> </tr> <tr> <td>⑥霧島市社協</td> <td>令和3年9月27日(月)</td> <td>⑯瀬戸内町社協</td> <td>令和3年11月26日(金)</td> </tr> <tr> <td>⑦始良市社協</td> <td>令和3年10月21日(木)</td> <td>⑰喜界町社協</td> <td>令和3年11月9日(火)</td> </tr> <tr> <td>⑧湧水町社協</td> <td>令和3年9月10日(金)</td> <td>⑱徳之島町社協</td> <td>令和3年11月18日(木)</td> </tr> <tr> <td>⑨曾於市社協</td> <td>令和3年10月28日(木)</td> <td>⑲天城町社協</td> <td>令和3年11月19日(金)</td> </tr> <tr> <td>⑩志布志市社協</td> <td>令和3年9月22日(火)</td> <td>⑳伊仙町社協</td> <td>令和3年11月18日(木)</td> </tr> </tbody> </table>			基幹的社協名	実施日	基幹的社協名	実施日	①指宿市社協	令和3年10月4日(月)	⑪東串良町社協	令和3年10月18日(月)	②南さつま市社協	令和3年9月16日(木)	⑫南大隅町社協	令和3年10月18日(月)	③薩摩川内市社協	令和3年10月8日(金)	⑬西之表市社協	令和3年11月2日(火)	④阿久根市社協	令和3年9月14日(火)	⑭中種子町社協	令和3年11月1日(月)	⑤出水市社協	令和3年10月14日(木)	⑮南種子町社協	令和3年11月1日(月)	⑥霧島市社協	令和3年9月27日(月)	⑯瀬戸内町社協	令和3年11月26日(金)	⑦始良市社協	令和3年10月21日(木)	⑰喜界町社協	令和3年11月9日(火)	⑧湧水町社協	令和3年9月10日(金)	⑱徳之島町社協	令和3年11月18日(木)	⑨曾於市社協	令和3年10月28日(木)	⑲天城町社協	令和3年11月19日(金)	⑩志布志市社協	令和3年9月22日(火)	⑳伊仙町社協	令和3年11月18日(木)
基幹的社協名	実施日	基幹的社協名	実施日																																											
①指宿市社協	令和3年10月4日(月)	⑪東串良町社協	令和3年10月18日(月)																																											
②南さつま市社協	令和3年9月16日(木)	⑫南大隅町社協	令和3年10月18日(月)																																											
③薩摩川内市社協	令和3年10月8日(金)	⑬西之表市社協	令和3年11月2日(火)																																											
④阿久根市社協	令和3年9月14日(火)	⑭中種子町社協	令和3年11月1日(月)																																											
⑤出水市社協	令和3年10月14日(木)	⑮南種子町社協	令和3年11月1日(月)																																											
⑥霧島市社協	令和3年9月27日(月)	⑯瀬戸内町社協	令和3年11月26日(金)																																											
⑦始良市社協	令和3年10月21日(木)	⑰喜界町社協	令和3年11月9日(火)																																											
⑧湧水町社協	令和3年9月10日(金)	⑱徳之島町社協	令和3年11月18日(木)																																											
⑨曾於市社協	令和3年10月28日(木)	⑲天城町社協	令和3年11月19日(金)																																											
⑩志布志市社協	令和3年9月22日(火)	⑳伊仙町社協	令和3年11月18日(木)																																											
<p>〈書類調査〉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">基幹的社協名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①枕崎市社協</td> <td>⑮大和村社協</td> </tr> <tr> <td>②南九州市社協</td> <td>⑯宇検村社協</td> </tr> <tr> <td>③日置市社協</td> <td>⑰龍郷町社協</td> </tr> <tr> <td>④いちき串木野市社協</td> <td>⑱和泊町社協</td> </tr> <tr> <td>⑤さつま町社協</td> <td>⑲知名町社協</td> </tr> <tr> <td>⑥長島町社協</td> <td>⑳与論町社協</td> </tr> <tr> <td>⑦伊佐市社協</td> <td>⑭奄美市社協</td> </tr> </tbody> </table>			基幹的社協名		①枕崎市社協	⑮大和村社協	②南九州市社協	⑯宇検村社協	③日置市社協	⑰龍郷町社協	④いちき串木野市社協	⑱和泊町社協	⑤さつま町社協	⑲知名町社協	⑥長島町社協	⑳与論町社協	⑦伊佐市社協	⑭奄美市社協																												
基幹的社協名																																														
①枕崎市社協	⑮大和村社協																																													
②南九州市社協	⑯宇検村社協																																													
③日置市社協	⑰龍郷町社協																																													
④いちき串木野市社協	⑱和泊町社協																																													
⑤さつま町社協	⑲知名町社協																																													
⑥長島町社協	⑳与論町社協																																													
⑦伊佐市社協	⑭奄美市社協																																													

<p>(8) 関係機関・団体との連携</p>	<p>① 鹿児島県地域生活定着支援センター関係機関連絡会議 (開催日) 令和3年12月10日(金) (書面開催) (参加機関・団体) 県保護司会連合会, 県更生保護女性連盟, 更生保護法 人草牟田会, 県知的障害者福祉協会, 県老人福祉施設 協議会, 県民生委員児童福祉協議会, 県社会福祉協議 会, 県社会福祉士会, 県障害者職業センター, 県精神保 健福祉局職業安定部職業課, 鹿児島保健観察所, 鹿 児島刑務所, 鹿児島少年鑑別所, 県精神保健福祉セン ター, 県子ども総合療育センター, 鹿児島知的障害者 更生相談所, かごしま子ども若者総合相談センター, 県社会福祉課, 県高齢者生き生き推進課, 県障害福祉 課, 県青少年男女共同参画課, 鹿児島地方検察庁, 県 弁護士会, 県地域生活定着支援センター ア 令和2年度鹿児島県地域生活定着支援センター事 業報告 (内 容)</p> <p>② 成年後見制度担当者研修会 (開催日) 令和3年6月10日(木) (ウェブ会議) 令和3年11月18日(木) (ウェブ会議) (参加者) 県社会福祉課, 各地域の市町村行政及び市町村社協, 県弁護士会, 県司法書士会, 県社会福祉士会 (内 容) ア 中核機関等の現状 イ 中核機関の必要性・成年後見制度の概要 ウ 後見等の申立手続 エ 後見人等の事務 オ 事例研修 (中核機関の実情について 等) カ 意見交換</p> <p>③ 鹿児島市成年後見制度推進協議会 (開催日) 令和3年6月1日(火) (書面開催) 令和3年8月19日(木) (書面開催) 令和3年11月24日(水) 令和4年1月25日(火) (書面開催) (参加機関・団体) 県社会福祉士会, 県弁護士会, 成年後見センター・リ ーガルスポート鹿児島支部, 南九州税理士会鹿児島県</p>	<p>県及び関係機関等が主催する 会議等へ出席し、関係者との意 見交換が行われ、事業を推進する ための関係機関等とのネットワ ーク構築が図られた。</p>
------------------------	---	---

1 福祉サービス利用支援事業の推進	福祉サービス利用支援室	所管部署	福祉サービス利用支援室
令和3年度事業計画	事業実施概要等	福祉サービス利用支援室	具体的成果等
	<p>連合会、コスモス成年後見サポートセンター鹿児島県支部、県精神保健福祉士協会、市社会福祉協議会、県社会福祉協議会、市地域包括支援センター、市障害者基幹相談支援センター、特定非営利活動法人介護支援専門員協会鹿児島、県医療ソーシャルワーカー協会、市知的障害施設連絡協議会、市老人福祉施設協議会、市民生委員児童委員協議会、公益社団法人認知症の人の家族の会鹿児島支部、市手をつなぐ育成会、市精神保健福祉会連絡協議会、県銀行協会、市健康福祉局すこやか長寿部、市健康福祉局福祉部</p> <p>〈内 容〉 ア 鹿児島市成年後見制度利用支援事業について イ 鹿児島市成年後見制度利用促進基本計画について ウ 鹿児島市成年後見制度利用促進計画素案について エ 鹿児島市成年後見センターの運営状況について オ 「第5期鹿児島地域福祉計画（成年後見制度利用促進計画）素案」に係るパブリックコメント手続の実施結果について 等</p>		
(9) 広報・啓発活動の推進	<p>① 県内各種関係機関団体研修会等での広報・啓発活動 ア 被保護世帯法律問題研修 〈開催日〉令和3年10月5日(火) 〈会場〉県社会福祉センター 〈参加者〉34人 〈内 容〉福祉サービス利用支援事業について</p> <p>② リーフレットの配布 基幹的社協や行政等の関係機関に配布して、事業の広報に努めた。</p> <p>③ 本会広報紙「ふくしのひろば」への情報掲載等 事業内容や連絡先等を広報紙に掲載し、県内の各機関団体等に配布したほか、ホームページ等を通じて本事業の広報に努めた。</p>	<p>事業の説明や広報紙等の配布を行うことによって、本事業への理解及び協力が体制が深められた。</p>	

2	福祉サービス苦情解決事業の推進	所管部署	長寿社会推進部
<p>(1) 福祉サービス運営適正化委員会の運営</p> <p>ア 運営適正化委員会の開催 (2回)</p> <p>イ 福祉サービス利用支援事業運営監視委員会の開催及び福祉サービス利用支援事業実施社協現地訪問調査の実施 (委員会4回, 訪問調査10か所)</p> <p>ウ 福祉サービスに関する苦情解決委員会の開催 (6回)</p> <p>エ 九州ブロック運営適正化委員会事務局連絡会議の開催 (1回)</p>	<p>県社協に第三者機関として設置されている「福祉サービス運営適正化委員会」を運営し、福祉サービスの適正な運営を確保するとともに、福祉サービスに関する利用者等からの苦情の適切な解決に努めた。</p> <p>また、多様化する苦情等の解決に向けた取組や情報共有等を図るため、九州ブロックの運営適正化委員会に関する会議を開催したほか、全社協主催のオンライン研修会等に参加した。</p> <p>① 運営適正化委員会 2回 ② 運営監視委員会 5回(うち書議1回) ③ 運営監視委員会による福祉サービス事業実施社協訪問調査 10か所 5回 ④ 苦情解決委員会 1回(開催県) ⑤ 九州ブロック運営適正化委員会委員を選考する選考委員会 1回(委員選定に非開催) ⑥</p>	<p>定期的な委員会開催により、福祉サービス利用支援事業の適正な運営が確保されるとともに、利用者等からの苦情に対して速やかな対応がなされた。</p> <p>また、九州ブロックの運営適正化委員会をオンラインで開催したほか、全社協主催のオンライン研修会に参加し、苦情案件の対応や事業所における苦情解決体制整備など情報交換の機会を得ることができた。</p>	
<p>(2) 相談・苦情の受付</p>	<p>福祉サービス利用者等からの苦情の受付</p> <p>[内訳]</p> <p>① 申出人：利用者51件、家族36件、職員5件、その他7件 ② 対象種別：高齢者18件、障害者56件、児童21件、その他4件 ③ 解決結果：相談助言81件、紹介伝達8件、あっせん0件、県への通知0件、その他8件、継続中0件、不調2件</p> <p>その他問い合わせ・相談の受付 58件</p>	<p>受け付けた苦情については、助言や適切な機関等への伝達を図ることで、利用者等の福祉サービス利用につながった。</p> <p>・苦情の受付件数： 前年度比＋1件 ・その他問い合わせ件数 前年度比＋18件</p>	
<p>(3) 広報・啓発活動の実施</p> <p>ア 広報紙「ふくしのひろば」、ホームページによる情報提供</p> <p>イ ポスター・リーフレットの配布</p>	<p>① 広報紙「ふくしのひろば」への掲載 (1回) ② 本会ホームページによる広報啓発 ③ ポスター、リーフレットの配布 ポスター配布数：368部、リーフレット配布数：508部</p>	<p>ホームページに調査結果や関係資料等を掲載するなど内容充実を図り、福祉関係者及び一般県民へのより一層の制度周知につながった。</p>	

2 福祉サービス苦情解決事業の推進	事業実施概要等	所管部署	長寿社会推進部
令和3年度事業計画		具体的成果等	
(4) 研修会の実施 相談・苦情解決事業に関する研修会〔初級編〕(1回)	<p>令和3年度福祉サービスに関する相談・苦情解決事業研修会(初級編)の開催 (開催日) 令和3年9月28日(火) (開催方法) オンライン (Zoom) 開催 (参加者) 苦情受付担当者・苦情解決責任者・第三者委員 314人 (内容) 講義1:「運営適正化委員会の取り組み状況について」 鹿児島県福祉サービス運営適正化委員会 委員 弁護士法人染川法律事務所 弁護士 本田 晴久 氏 講義2:「福祉サービスにおける苦情解決の意義と基本的対応」 鹿児島国際大学 福祉社会学部 社会福祉学科 准教授 茶屋道 拓哉 氏</p>	<p>事業者に必要な苦情解決の取組の基本や苦情解決に必要な基本的対応等を学んだことで、各事業所における苦情対応への参考となり、苦情受付担当者・解決責任者・第三者委員の役割と対応について、なお一層の理解が深まった。</p> <p>・参加者数：前年度比+60人</p>	
(5) 事業所への巡回訪問の実施 (30か所)	<p>社会福祉事業の事業者段階における自主的な苦情解決が適切に行われるよう、県内の各事業所を訪問して苦情解決体制の整備状況を把握するとともに、体制整備に関する相談・助言に応じ、福祉サービスの質の向上につながることでできる苦情解決体制の構築に向けて、県内13事業所の巡回訪問を実施した。 (巡回内訳) 高齢分野事業所：4か所、児童分野事業所：5か所 障害分野事業所：3か所、その他事業所：1か所 計13か所</p>	<p>巡回訪問を行った結果、それぞれの体制整備状況を把握でき、かつ第三者委員等の体制整備が図れていない事業所について、体制整備の構築につながった。</p> <p>・巡回訪問予定△17か所 (新型コロナウイルス感染症による取止め)</p>	
(6) 調査研究活動の実施 事業所段階における苦情解決体制の構築に資する調査等の実施	<p>令和2～3年度に運営適正化委員会に寄せられた新型コロナウイルス感染症に関する相談・苦情などの事例をまとめ、ホームページで公表した。</p>	<p>コロナ禍における福祉サービス事業への相談・苦情例をまとめ、ホームページ等で公表することにより、各事業所における苦情体制整備を促した。</p>	

Ⅶ 福祉人材の養成・確保

福祉人材の安定的な確保を図るための支援		所管部署	福祉人材・研修センター
令和3年度事業計画		具体的成果等	
<p>(1) 福祉人材無料職業紹介業務 ア 求人開拓，求人求職登録，紹介あっせん</p>	<p>福祉施設及び福祉系学校を訪問し，福祉人材無料職業紹介所の利用促進と求人求職者の開拓及び各種情報提供を行った。 また，求人施設及び求職者に対して，求人求職登録を推進した。</p> <p>① 求人求職者開拓 〈訪問箇所数〉 1,379か所（事業所 674か所，学校等 705か所） 求人求職登録，紹介斡旋業務 〈求職者数〉 892人 〈求人数〉 7,503人 〈応募者数〉 444人 〈窓口来所者数〉 36人 〈採用者数〉 39人（就職面談会等の実績含む） ③ 相談件数 1,522件</p>	<p>キャリア支援専門員が中心となつて福祉施設及び福祉系学校等を訪問することにより，福祉人材無料職業紹介所の周知と利用促進に資することができた。また，求人や求職者の登録，紹介斡旋業務を通じ，求職者の就業支援及び福祉職場の人材確保に資することができた。</p>	
<p>イ 広報誌，インターネット等による各種情報の提供</p>	<p>福祉保健職場へ就職を希望する人等に対し，事業所情報，求人情報，各種講座，イベントの開催，資格取得方法等の詳細情報をメール配信等により提供した。</p>	<p>事業所・求人情報や講座・イベント開催，資格取得方法等の詳細情報提供により，求職者の就業支援に資することができた。</p>	
<p>ウ 関係機関・団体との連携，情報交換</p>	<p>福祉人材無料職業紹介事業を円滑に推進するため「無料職業紹介事業に係る連絡会議」を開催した。 〈開催日〉 令和3年6月25日(金) 〈会場〉 県社会福祉センター 〈参加者〉 鹿児島労働局職業安定課，県看護協会ナースセンター，鹿児島公共職業安定所，県社会福祉課，県医師協同組合，県社会福祉課，県社協福祉人材・研修センター 〈議題〉 所管事業の最近の動向，福祉・保健医療職場の人材確保に関する情報交換及び事業面での協力・連携について</p>	<p>無料職業紹介事業に係る連絡会議の開催により，人材確保に向けた関係機関・団体との連携を円滑に行うことができた。</p>	
<p>(2) 福祉・保健医療職場就職ガイダンスの開催 ア 開催日 令和3年8月1日(日) イ 会場 鹿児島市</p>	<p>福祉・保健医療職場の人材確保及び就職希望者の求職活動を支援するため，「就職ガイダンス」を開催した。 〈開催日〉 令和3年8月1日(日) 〈会場〉 鹿児島サンパルホテル</p>	<p>福祉・保健医療職場に就職を希望する求職者と求人事業者が直接面談するイベントを開催することで，福祉・保健医療職場</p>	

1	福祉人材の安定的な確保を図るための支援 令和3年度事業計画	事業実施概要等	所管部署 福祉人材・研修センター 具体的成果等
		<p>〈参加人数〉 89法人 (71ブース) ※うちオンライン面談: 12法人 〈求職者数〉 616人 〈参加求職者〉 79人 〈面談者延人数〉 240人 〈採用決定者数〉 9人 〈共催団体〉 全国社会福祉協議会など4団体</p>	<p>の人材確保及び就職希望者の求職活動が支援できた。</p>
(3)	<p>福祉・保健医療職場の人材確保及び就職希望者の求職活動を支援するため、「就職ガイダンス」を開催した。</p> <p>ア 開催日 令和4年2月11日(金) (祝日) 会場 鹿児島市</p> <p>イ 会場 鹿児島市</p>	<p>福祉・保健医療職場の人材確保及び就職希望者の求職活動を支援するため、「就職ガイダンス」を開催した。</p> <p>〈開催日〉 令和4年2月11日(金) 〈会場〉 かごしま県民交流センター 〈参加法人数〉 58法人 (40ブース) ※うちオンライン面談: 18法人 〈求職者数〉 467人 〈参加求職者〉 33人 〈面談者延人数〉 84人 〈採用決定者数〉 5人 〈共催団体〉 鹿児島公共職業安定所</p>	<p>年度末に向けて求人が多くなくなる下半期に求職・求人側が直接面談するイベントを開催することとで、福祉職場の人材確保及び就職希望者の求職活動が支援できた。</p>
(4)	<p>福祉人材総合メニユー講座の開催</p> <p>ア 福祉職場就職支援講座 令和3年11月6日(土)、11月13日(土)</p>	<p>福祉に係る知識・技術の習得、福祉人材に関する情報を提供し、地域住民のニーズに即した福祉サービスの確保に資するため各種講座を開催した。</p> <p>① 福祉職場就職支援講座 〈開催日〉 令和3年11月6日(土)、11月13日(土) 〈回数〉 全4講座 〈会場〉 かごしま県民交流センター 〈参加人員〉 全4講座で延べ48人 〈対象者〉 福祉職場に就職・復職を希望する一般の方々及び学生 〈内容〉 介護技術の基礎(立位、ベッド上での移動、車いすの介助、衣服の着脱、排泄の介助) など</p> <p>② 福祉人材養成講座(福祉職場就活応援セミナー) 〈開催日〉 令和3年8月1日(日) 〈会場〉 鹿児島サンロイヤルホテル 〈参加人員〉 49人 〈対象者〉 福祉職場への就職を希望するなど福祉に関心がある者(シニア層含)、大学、短大、専門学校等の最</p>	<p>福祉についての理解を深めてもらうとともに、進路選択や福祉の職場で働くために必要な知識や技術を習得してもらう講座を開催することにより、福祉職場への理解と就職活動への支援に資ることができた。</p>
イ	<p>福祉職場就活応援セミナー(2)の就職ガイダンスと同日開催</p>		<p>就職希望者に福祉職場の概要等を学ぶ機会を提供することで、現場の雰囲気や伝わり、福祉職場に関するイメージアップと就職面談会での面談の促進に資ることができた。</p>

<p>(5) 福祉人材確保支援セミナーの開催 開催日 令和4年2月15日(火) 会場 かごしま県民交流センター</p>	<p>終学年在学者 (1) 福祉の職場の現状と就職の心構え (2) 福祉のお仕事紹介(老人福祉施設, 障害者福祉施設, 児童養護施設, 老人保健施設)</p> <p>質の高い福祉人材を安定的に確保し, また, 安定した福祉経営を確立するため, 適切な労務管理と働きやすい職場づくりなど, 福祉職員の定着のための方策を学ぶためのセミナーを開催した。</p> <p>〈開催日〉 令和4年2月15日(火) 〈会場〉 かごしま県民交流センター 〈参加者〉 46人 〈対象者〉 社会福祉法人代表者・役員, 社会福祉施設等の施設長・事務長・人事担当者等</p> <p>〈内容〉 (1) 「企業に求められるパワハラ防止対策~2022年4月法改正への対応~」 (2) 「心身ともに健康的に働ける職場を目指して」</p>	<p>雇用や社会保険等, 時宜を得たテーマを取り上げたセミナーを開催することにより, 安定した福祉経営と福祉人材の確保・定着に資する情報を提供することができた。</p>																																																																																																												
<p>2 福祉・介護人材確保事業</p>																																																																																																														
<p>(1) キャリア支援専門員の配置 県社協本所2人 鹿屋市社協1人 奄美市社協1人 合計4人</p>	<p>キャリア支援専門員4人を次のとおり配置し, 求職者のニーズに合わせた職場開拓や職場紹介等を行った。</p> <p>① 配置先 県社協本所2人, 鹿屋市駐在(市社協)1人, 奄美市駐在(市社協)1人 合計4人</p> <p>② キャリア支援専門員巡回活動状況</p> <table border="1" data-bbox="975 837 1270 1541"> <thead> <tr> <th>各ブロック</th> <th>調</th> <th>施</th> <th>延</th> <th>件</th> <th>数</th> <th>相</th> <th>談</th> <th>紹</th> <th>介</th> <th>採</th> <th>用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鹿児島</td> <td>192</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>323</td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>薩摩・種子・屋久</td> <td>34</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>110</td> <td></td> <td>4</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>始良・伊佐</td> <td>88</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>105</td> <td></td> <td>14</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>日置</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>105</td> <td></td> <td>2</td> <td></td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大隅</td> <td>155</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>190</td> <td></td> <td>40</td> <td></td> <td>9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>北薩</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>160</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大島</td> <td>885</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>647</td> <td></td> <td>16</td> <td></td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1,379</td> <td></td> <td>84</td> <td></td> <td>30</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	各ブロック	調	施	延	件	数	相	談	紹	介	採	用	鹿児島	192					323		5		3		薩摩・種子・屋久	34					110		4		3		始良・伊佐	88					105		14		2		日置	0					105		2		0		大隅	155					190		40		9		北薩	25					160		3		3		大島	885					647		16		10		計						1,379		84		30		<p>キャリア支援専門員の巡回により, 管轄下の施設・事業所との連携が図られ, 求職者のニーズに合わせた職場開拓等や, 求人施設と求職者のマッチングを行い, 円滑な就労・定着等が図られた。</p> <p>・当事業による採用 30人</p>
各ブロック	調	施	延	件	数	相	談	紹	介	採	用																																																																																																			
鹿児島	192					323		5		3																																																																																																				
薩摩・種子・屋久	34					110		4		3																																																																																																				
始良・伊佐	88					105		14		2																																																																																																				
日置	0					105		2		0																																																																																																				
大隅	155					190		40		9																																																																																																				
北薩	25					160		3		3																																																																																																				
大島	885					647		16		10																																																																																																				
計						1,379		84		30																																																																																																				
<p>(2) 就職面談会の開催 (県内2か所)</p>	<p>福祉職場の人材確保及び就職希望者の求職活動を支援するため, 就職面談会を開催した。</p> <p>① 介護の職場就職面談会《霧島市》 〈開催日〉 令和3年9月25日(土)</p>	<p>地方で求職者と求人事業所が直接面談するイベントを開催することで, 福祉職場の人材確保及び就職希望者の求職活動が支</p>																																																																																																												

<p>2 福祉・介護人材確保事業</p>	<p>令和3年度事業計画</p>	<p>所管部署 福祉人材・研修センター</p>																		
<p>事業実施概要等</p>																				
<p>具体的成果等</p>	<p>〈会場〉 国分シビックセンター 〈参加人数〉 20法人 (18ブース) 〈参加人数〉 150人 〈参加求職者〉 17人 〈参加求職者〉 40人 〈面談者延人数〉 1人 〈採用決定者数〉 〈共催団体〉 国分公共職業安定所, 国分公共職業安定所大 口出張所, 霧島市, 霧島市社会福祉協議会</p> <p>② 介護の職場面談会《鹿屋市》 〈開催日〉 令和3年11月20日(土) 〈会場〉 かのやグランドホテル 〈参加人数〉 24法人 (20ブース) ※うちオンライン職：4法人 〈参加人数〉 131人 〈参加求職者〉 14人 〈面談者延人数〉 33人 〈採用決定者数〉 2人 〈共催団体〉 鹿屋公共職業安定所, 大隅公共職業安定所, 鹿屋市, 鹿屋市社会福祉協議会</p>	<p>生活支援部</p>																		
<p>3 介護福祉士修学資金等の貸付</p>	<p>(1) 介護福祉士修学資金(等)貸付事業 ア 介護福祉士修学資金貸付 介護職 指す学生に修学資金等の貸付 ① 修学資金(額) 30千円以内 ② 学準備金 20千円以内(額 交付時) ③ 職準備金 20千円以内(最終 交付時) ④ 奨費加算(月額) 3千円以内 ※ ④ は生活保護世帯が対象 イ 介護福祉士実務者研修受講資金貸付 介護福祉士の資格取得 指す実務者 指す講者に受講金の貸付 ① 貸付額 10千円以内</p>	<p>所管部署 生活支援部</p> <p>修学資金等の貸付により, 若者や他業種で働いていた方等の福祉・介護分野への参入が促進され, 質の高い人材の確保と定着のための環境整備が図られた。</p>																		
<p>令和3年度貸付状況 (単位:人)</p> <table border="1" data-bbox="1129 792 1326 1565"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護福祉士修学資金</td> <td>67</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>介護福祉士実務者研修受講資金</td> <td>40</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>介護人材再就職準備金</td> <td>10</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>障害福祉分野就職支援金</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>122</td> <td>98</td> </tr> </tbody> </table>			区分	計画	実績	介護福祉士修学資金	67	57	介護福祉士実務者研修受講資金	40	31	介護人材再就職準備金	10	8	障害福祉分野就職支援金	5	2	合計	122	98
区分	計画	実績																		
介護福祉士修学資金	67	57																		
介護福祉士実務者研修受講資金	40	31																		
介護人材再就職準備金	10	8																		
障害福祉分野就職支援金	5	2																		
合計	122	98																		

<p>ウ 介護人材再就職準備金貸付 離職した介護職員で介護へ再就職す るに備えての貸付 ① 貸付額 40千円以内</p>																									
<p>新 工 障害福祉分野就職支援金貸付 他業種で働いていた方に、障害福祉分野 への就職支援金の貸付 ① 貸付額 20千円以内</p>																									
<p>新(2) 福祉系高校修学資金貸付事業 福祉系高校に通う学生(修学資金等の貸付) ① 修学準備金(入学金を除く) 30千円以内 ② 介護実習費 30千円以内(年額) ③ 国家試験受験対策費用 40千円以内(額) ④ 就職準備金 20千円以内 ⑤ 就職する場合は最終回に限る)</p>	<p>[令和3年度貸付状況] (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="606 772 678 1556"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>福祉系高校修学資金</td> <td>249</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	区分	計画	実績	福祉系高校修学資金	249	8																		
区分	計画	実績																							
福祉系高校修学資金	249	8																							
<p>新(3) 介護分野就職支援金貸付事業 他業種で働いていた方等、介護分野への就職 資金の貸付 ① 貸付額 20千円以内</p>	<p>[令和3年度貸付状況] (単位：人)</p> <table border="1" data-bbox="901 772 973 1556"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護分野就職支援金</td> <td>15</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	区分	計画	実績	介護分野就職支援金	15	6																		
区分	計画	実績																							
介護分野就職支援金	15	6																							
<p>(4) 介護福祉士(等)修学資金貸付事業 平成21年度から平成23年度までの3年間に介護福祉士 等修学資金借受者について、返還などの償還管理を行った。 ※参考：貸付(送金)は、平成27年度で終了。 [令和3年度の状況] ① 返還免除 9人 ② 返還状況 (単位：千円)</p>	<table border="1" data-bbox="1252 515 1430 1568"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>償還計画額 A</th> <th>償還済額 B</th> <th>未償還額 (A-B)</th> <th>償還率 % (B/A*100)</th> <th>返還対象人数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過年度分</td> <td>5,430</td> <td>1,622</td> <td>3,808</td> <td>29.9</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>現年度分</td> <td>545</td> <td>320</td> <td>225</td> <td>58.7</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,975</td> <td>1,942</td> <td>4,033</td> <td>32.5</td> <td>実人員 8</td> </tr> </tbody> </table>	区分	償還計画額 A	償還済額 B	未償還額 (A-B)	償還率 % (B/A*100)	返還対象人数 (人)	過年度分	5,430	1,622	3,808	29.9	7	現年度分	545	320	225	58.7	2	計	5,975	1,942	4,033	32.5	実人員 8
区分	償還計画額 A	償還済額 B	未償還額 (A-B)	償還率 % (B/A*100)	返還対象人数 (人)																				
過年度分	5,430	1,622	3,808	29.9	7																				
現年度分	545	320	225	58.7	2																				
計	5,975	1,942	4,033	32.5	実人員 8																				

保育士修学資金貸付等事業		所管部署	生活支援部																					
令和3年度事業計画		具体的成果等																						
<p>(1) 保育士修学資金貸付 <small>保育士養成施設に通学生に対し、修学費の貸付を行う。 ア 貸付額：30千円以内(2年間を限度) イ 入學準備金：20千円以内(初回交付時) ウ 就職準備金：20千円以内(卒業時)</small></p> <p>(2) 未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付 <small>未就学児を持つ潜在職士に対し、自身被らうべき未就学児の保育料の一部貸付を行う。 ○ 貸付月額：27千円以内(1年間を限度)</small></p> <p>(3) 就職準備金 <small>潜在保育士に対し、転職する場合の就職準備金の貸付を行う。</small> ○ 貸付額：20千円以内(1回限り)</p>	<p>保育士を目指す学生の就学を支援するとともに、卒業後の保育現場への就労・定着を促進するため、修学資金等を貸付けた。 また、離職した一定の経験を有する潜在保育士等の再就職支援を促進するため、就職準備金等の貸付を行った。</p> <p>[令和3年度貸付状況] (単位：人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>計画</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育士修学資金貸付</td> <td>50</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>就職準備金</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>58</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table>	区分	計画	実績	保育士修学資金貸付	50	50	未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付	4	2	就職準備金	4	2	合計	58	54	<p>保育士を目指す学生の修学を容易にすることにより、質の高い保育士の養成と県内の保育現場の人材確保に向けて環境整備が図られた。 また、潜在保育士の再就職支援等を行うことにより、保育現場の人材確保が図られた。</p>	生活支援部						
区分	計画	実績																						
保育士修学資金貸付	50	50																						
未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付	4	2																						
就職準備金	4	2																						
合計	58	54																						
社会福祉事業従事者等研修		所管部署	福祉人材・研修センターほか																					
<p>(1) 県委託研修 ア 社会福祉施設等職員研修 (6コース)</p>	<p>社会福祉事業従事者の資質向上等を図るため、次の研修を実施した。 ア 社会福祉施設等職員研修 (6コース)</p>	<p>研修内容等について、研修受講者から概ね高評価を得ている。</p>	<p>備考</p>																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研修区分 (受講対象)</th> <th>実施日</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 新任職員研修 <small>(総数 1~2期、新職員)</small></td> <td>令和3年5月19日~20日 6月22日~23日</td> <td>133人</td> </tr> <tr> <td>② 中堅職員研修 <small>(社会福祉施設等、研修)</small></td> <td>令和3年7月27日~28日</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>③ 監督職員研修 <small>(指導員、主任)</small></td> <td>令和3年9月1日~2日</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>④ 施設長等運営管理職員研修 <small>(正副施設長、事務長、主任)</small></td> <td>令和4年2月8日</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>⑤-1 社会福祉施設監事等 <small>(研修(法)の講、講及施設長、事務)</small></td> <td>令和3年10月15日</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>⑤-2 市町村社会福祉協議会 <small>(市町村協議会)</small></td> <td>令和3年10月21日</td> <td>37人</td> </tr> </tbody> </table>	研修区分 (受講対象)	実施日	受講者数	① 新任職員研修 <small>(総数 1~2期、新職員)</small>	令和3年5月19日~20日 6月22日~23日	133人	② 中堅職員研修 <small>(社会福祉施設等、研修)</small>	令和3年7月27日~28日	37人	③ 監督職員研修 <small>(指導員、主任)</small>	令和3年9月1日~2日	27人	④ 施設長等運営管理職員研修 <small>(正副施設長、事務長、主任)</small>	令和4年2月8日	22人	⑤-1 社会福祉施設監事等 <small>(研修(法)の講、講及施設長、事務)</small>	令和3年10月15日	21人	⑤-2 市町村社会福祉協議会 <small>(市町村協議会)</small>	令和3年10月21日	37人	<p>・受講者数：対前年比 8人</p> <p>・受講者数：対前年比 △7人</p> <p>・受講者数：対前年比 10人</p> <p>・受講者数：対前年比 15人</p> <p>・受講者数：対前年比 △19人</p> <p>・受講者数：対前年比 12人</p>	
研修区分 (受講対象)	実施日	受講者数																						
① 新任職員研修 <small>(総数 1~2期、新職員)</small>	令和3年5月19日~20日 6月22日~23日	133人																						
② 中堅職員研修 <small>(社会福祉施設等、研修)</small>	令和3年7月27日~28日	37人																						
③ 監督職員研修 <small>(指導員、主任)</small>	令和3年9月1日~2日	27人																						
④ 施設長等運営管理職員研修 <small>(正副施設長、事務長、主任)</small>	令和4年2月8日	22人																						
⑤-1 社会福祉施設監事等 <small>(研修(法)の講、講及施設長、事務)</small>	令和3年10月15日	21人																						
⑤-2 市町村社会福祉協議会 <small>(市町村協議会)</small>	令和3年10月21日	37人																						

	⑥ へき保育所保育士・児童 厚生員研修(大島地区)	令和3年11月15日	22人	
イ 社会福祉行政職員研修 (1コース)				
イ	社会福祉行政職員研修 (受講対象)	実施日	受講者数	備考
①	社会福祉行政職員研修 (福祉職 及び種 格認定並びに 福祉施設に 勤務する職員 証 保認 当務者)	令和3年8月27日	13人	・受講者数：対前年比△10人
ウ 被保護世帯法律問題等研修 (5コース) 受講対象者：県・市町村福祉事務所等の生活保護担当職員				
ウ	被保護世帯法律問題等研修 (5コース)	実施日	受講者数	備考
①	新任生活保護担当職員研修	令和3年7月7日～9日	56人	・受講者数：対前年比△10人
②	生活保護担当職員研修	令和3年7月29日～30日	29人	・受講者数：対前年比11人
③	法律問題研修 (扶養)	令和3年10月5日～6日	34人	・受講者数：対前年比 0人
④	法律問題研修 (資産)	令和3年11月8日～9日	32人	・受講者数：対前年比△5人
⑤	法律問題研修 (他法施策)	令和3年11月18日～19日	37人	・受講者数：対前年比△3人
工 福祉サービス第三者評価調 査者継続研修 (2コース)	福祉サービス第三者評価調査者 継続研修を実施した。 〈開催日〉 令和3年7月17日, 9月25日 〈開催方法〉 オンライン(Zoom)開催 〈対象者〉 鹿児島県の評価調査者養成研修修了者名簿に記載 されている者 〈受講者数〉 30人 〈内容〉 行政説明「第三者評価の実施状況と課題」 講義「理念から計画・実行・振り返りの流れ」 事例研修「事例に学ぶ経営理念とサービスの実践」	円滑な評価が行えるよう演習 主体の研修を実施することで、 調査者の資質向上が図られた。		

5 社会福祉事業従事者等研修		所管部署		福祉人材・研修センターほか
令和3年度事業計画		事業実施概要等		
(2) 独自研修 (社会福祉関係職員課題別研修) (開催方法) オンライン(Zoom)開催 ※救急法研修は、県青少年会館		社会福祉関係職員課題別研修		
	研修区分 (受講対象)	実施日	受講者数	備考
ア 職場内研修担当者研修 (養成1回, フォローアップ1回)	① 職場内研修担当者研修 養成コース(職研修進修者)	令和3年10月7日~8日	22人	
イ カウンセリング研修 (基礎1回, 発展1回)	② 職場内研修担当者研修 7回 -アップコース(職内職を継ぐ担当者)	令和3年11月10日~11日	13人	
ウ 救急法研修 (1回)	③ カウンセリング研修(基礎) 各種職業従事者)	(鑑) 令和3年9月7~8日	34人	・受講者数: 対前年比13人
エ オンライン会議・研修シ ステム活用研修 (基礎1回, 応用1回)	④ カウンセリング研修(発展) 各種職業従事者)	(鑑) 令和3年12月14~15日	21人	・受講者数: 対前年比21人
オ ハラスメント研修	⑤ 救急法研修 社会福祉施設(前 村協に属す職員)	令和3年12月14日	16人	・受講者数: 対前年比△10人
カ 課題別研修 (社会福祉施設等新任・ 中堅・監督・施設長等 運営管理職員研修)	⑥ オンライン会議・研修 システム活用研修 (基礎コース) (社 福 社 職 及 市 町 村 協 働 務 務 員)	令和3年6月10日	28人	
	⑦ オンライン会議・研修 システム活用研修 (応用コース) 社会福祉施設(前 村協に属す職員)	令和3年6月30日	37人	
	⑧ ハラスメント研修 社会福祉施設(前 村協に属す管理者 及 伊 野 職 員)	令和3年7月15日	38人	
	⑨ 社会福祉施設等新任・ 中堅・監督・施設長等 運営管理職員研修	一般研修の社会福祉施設等新任・中堅・監督・施設長等運営管理職員研修に同じ	83人	

<p>キ 福祉サービス苦情解決研修会 〔中級編〕 (2回)</p>	<p>令和3年度福祉サービス苦情解決研修会 (中級編) の開催 (開催日) 令和4年2月16日(水) (開催方法) オンライン (Zoom) 開催 (参加者) 苦情受付担当者・苦情解決責任者 215人 (内容) 講義・演習 「コミュニケーション力と組織力を強化する 苦情解決能力向上研修」 株式会社ツクイスタッフ 専任講師 山郷 政史 氏</p>	<p>オンライン上でのグループワークを通して苦情の原因分析やコミュニケーションの知識及び苦情解決プロセスを学ぶことで、各事業所における苦情対応の参加者となし、苦情受付担当者・解決責任者・第三者委員の役割の理解が深まり、対応スキルの向上が図られた。 また、事業所の管理者等を対象に上級編を開催し、事業所における備えるべきリスクや緊急時の対応について認識することができた。</p> <p>(中級編) ・ R元年度参加者 215人 ※R元年度はコロナ禍により中止 ・ 対前回比 0.0%</p>
<p>ク 福祉サービス苦情解決研修会 〔上級編〕</p>	<p>令和3年度福祉サービス苦情解決研修会 (上級編) の開催 (開催日) 令和3年9月9日(木) (開催方法) オンライン (Zoom) 開催 (参加者) 福祉施設・事業所の管理者、リスクマネジメント担当者、苦情解決責任者、過去に福祉サービス苦情解決研修会(中級編)を修了した者 168人 (内容) 講義・演習 「リスク認識力向上研修～現場員が認識すべきリスク～」 株式会社フオオサイツコンサルティング 代表取締役社長 浅野 睦 氏</p>	<p>(上級編) ・ R元年度参加者 206人 ※R元年度はコロナ禍により中止 ・ 対前回比 81.6%</p>
<p>6 社会福祉事業従事者の福利厚生等 (1) 県民間社会福祉施設職員退職共済事業の運営</p>	<p>① 県民間社会福祉施設職員退職共済事業の実施状況(令和3年現在) 契約法人287法人 547施設 加入者数10,949人 ア 退職金の給付状況 1,273件 1,060,001,372円 イ 新規契約・解除の状況 新規契約 8施設 契約解除 4施設</p>	<p>所管部署 福祉人材・研修センター 契約法人が退職給付金支払資金に充当するための積立金を、運用基本方針に基づき金融機関3行に信託し、安定的な資産の運用・管理が適切に実施された。</p>

6	社会福祉事業従事者の福利厚生等	事業実施概要等	所管部署 福祉人材・研修センター
令和3年度事業計画		<p>事業実施概要等</p>	<p>具体的成果等</p>
		<p>ウ 退職共済積立金の状況(令和4年3月31日現在) 退職共済積立金額 15,545,208,947円…A (参考:元本 13,556,735,625円) 退職給付金要支給額 13,128,926,337円…B 差引(A-B) 2,416,282,610円(積立率118.4%)</p> <p>② 運営委員会の開催 3回 県民間社会福祉施設職員退職共済事業の適正な運営を期するた め運営委員会を開催した。 第1回開催日 令和3年7月19日(月)(Web会議システム Zoom) <内容> ・退職共済事業実施状況について ・令和2年度事業報告及び収支決算について ・令和2年度年金財政決算報告について ・退職共済事業積立金の運用状況について</p> <p>イ 第2回運営委員会 <開催日> 令和3年11月15日(月)(Web会議システム Zoom) <内容> ・令和3年度上期退職共済事業実施状況について ・退職共済事業の運用と今後の対応について</p> <p>ウ 第3回運営委員会 <開催日> 令和4年3月4日(金)(Web会議システム Zoom) <内容> ・令和3年度退職共済積立資産運用状況について ・令和3年度退職共済事業実績及び収支決算見込について ・令和4年度退職共済事業計画及び収支予算案について ・令和3年度第3四半期運用実績及び今後の見通しについて</p> <p>③ 契約法人に対する説明会 <開催日> 令和4年2月18日(金)(Web会議システム Zoom) <参加者数> 134事業所 174人</p>	<p>県内の民間社会福祉施設職員の福利を増進し、社会福祉事業の振興に寄与することができた。</p>

	<p>〈内 容〉 説明Ⅰ 令和2年度事業実施状況・資産運用状況等について 説明Ⅱ 退職共済事業事務手続きについて 説明Ⅲ 福利厚生センター（ウエルケア）について</p>	<p>多くの会員の方の参加が得られ、福利厚生の上昇が図られた。</p>																																								
<p>(2) 福利厚生センター（ソウエルクラブ）への加入促進，利用促進及び会員交流事業の実施</p>	<p>① 会員交流事業 福利厚生センター（ソウエルクラブ）に加入している会員を対象に、安価な経費で会員間の親睦や交流を図る次の事業を実施した。</p>	<p>〔会員交流事業実績〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>開催日・期間</th> <th>場 所</th> <th>参加人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 村治香織 織りサイタル 都城公演</td> <td>令和3年5月23日</td> <td>都城市総合 文化ホール</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>② 劇団四季 THE BRIDGE</td> <td>令和3年6月26日</td> <td>川商ホール</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>③ エヴァンゲリオン 展 VISUAL WORKS</td> <td>令和3年7月15日 ～8月20日</td> <td>鹿児島県歴史美術 センター黎明館</td> <td>249人</td> </tr> <tr> <td>④ 南日本新聞社創立 140年記念事業 奄美の風コンサート</td> <td>令和3年9月4日</td> <td>川商ホール</td> <td>63人</td> </tr> <tr> <td>⑤ 鹿児島特選 落語名人会</td> <td>令和3年9月19日</td> <td>川商ホール</td> <td>83人</td> </tr> <tr> <td>⑥ デイズニー・オン ・クラシック</td> <td>令和3年11月2日</td> <td>川商ホール</td> <td>89人</td> </tr> <tr> <td>⑦ 葉加瀬 太郎 コンサート</td> <td>令和3年11月7日</td> <td>川商ホール</td> <td>91人</td> </tr> <tr> <td>⑧ クオカード販売</td> <td></td> <td></td> <td>2317人</td> </tr> <tr> <td>⑨ 日本フイル 第47回九州公演 in2022 鹿児島</td> <td>令和4年2月19日</td> <td>宝山ホール</td> <td>46人</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	開催日・期間	場 所	参加人員	① 村治香織 織りサイタル 都城公演	令和3年5月23日	都城市総合 文化ホール	4人	② 劇団四季 THE BRIDGE	令和3年6月26日	川商ホール	80人	③ エヴァンゲリオン 展 VISUAL WORKS	令和3年7月15日 ～8月20日	鹿児島県歴史美術 センター黎明館	249人	④ 南日本新聞社創立 140年記念事業 奄美の風コンサート	令和3年9月4日	川商ホール	63人	⑤ 鹿児島特選 落語名人会	令和3年9月19日	川商ホール	83人	⑥ デイズニー・オン ・クラシック	令和3年11月2日	川商ホール	89人	⑦ 葉加瀬 太郎 コンサート	令和3年11月7日	川商ホール	91人	⑧ クオカード販売			2317人	⑨ 日本フイル 第47回九州公演 in2022 鹿児島	令和4年2月19日	宝山ホール	46人
事業名	開催日・期間	場 所	参加人員																																							
① 村治香織 織りサイタル 都城公演	令和3年5月23日	都城市総合 文化ホール	4人																																							
② 劇団四季 THE BRIDGE	令和3年6月26日	川商ホール	80人																																							
③ エヴァンゲリオン 展 VISUAL WORKS	令和3年7月15日 ～8月20日	鹿児島県歴史美術 センター黎明館	249人																																							
④ 南日本新聞社創立 140年記念事業 奄美の風コンサート	令和3年9月4日	川商ホール	63人																																							
⑤ 鹿児島特選 落語名人会	令和3年9月19日	川商ホール	83人																																							
⑥ デイズニー・オン ・クラシック	令和3年11月2日	川商ホール	89人																																							
⑦ 葉加瀬 太郎 コンサート	令和3年11月7日	川商ホール	91人																																							
⑧ クオカード販売			2317人																																							
⑨ 日本フイル 第47回九州公演 in2022 鹿児島	令和4年2月19日	宝山ホール	46人																																							

6 社会福祉事業従事者の福利厚生等		事業実施概要等		所管部署	福祉人材・研修センター
令和3年度事業計画		事業実施概要等		具体的成果等	
⑩	劇団四季「新編 万葉集の神話」	令和4年2月13日	川商ホール	77人	
⑪	小椋 佳コンサート	令和4年3月20日	川商ホール	50人	
⑫	クオカード販売 (離島会員限定)			62人	
⑬	BEGINNERS — トツア — 2022	令和4年5月26日 に延期	川商ホール	41人	
		合 計		延べ 3, 252人	
② 福利厚生センター加入勸奨活動 (1) 未加入法人等への戸別訪問 (未加入10事業所訪問) ← 中止 (2) 福利厚生センター概要パンフレットの配布 (3) 加入勸奨のためのPR 県社協機関誌「ふくしのひろば」への掲載				(総加入数の状況) 加入法人数：51法人105事業所 会員職員数：2,805人	
7 県指定事業				所管部署	福祉人材・研修センターほか
(1) 試験 ア 試験月 イ 試験会場 ウ 試験見込者	令和3年10月頃 鹿児島市(2会場) 奄美市(1会場) 受験見込者 約1,400人	〈試験会場〉 鹿児島市(3会場, 奄美市: 1会場) 鹿児島サンロイヤルホテル 城山ホテル鹿児島 鹿児島県社会福祉センター 奄美観光ホテル 1,215人 1,091人 210人 19.2%	〈試験日〉 令和3年10月10日(日) 4会場(鹿児島市: 3会場, 奄美市: 1会場)	介護保険制度において、中核的な役割を果たす介護支援専門員の確保・養成に寄与した。 前年度 増減 受験申込者数: 1,145人 70人増 受験合格者数: 974人 117人増 合格者率: 139人 71人増 14.3% 4.9%増	

<p>(2) 介護支援専門員更新・再研修 (1回)</p>	<p>介護支援専門員の対象者及び再研修の対象者(証発行なし・期限切れの者)に対して、介護支援専門員再研修(1回延べ10日間)を実施した。なお、更新研修(実務経験3年未満の者等)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、特例措置対象者(有効期間満了日が令和2年4月1日から令和4年3月31日)については、2年間の資格延長扱いとなった。</p> <p>〈研修時間〉 54時間 10日間 〈研修日程〉 前期：令和3年9月13日(月)～9月17日(金) 後期：令和3年9月27日(月)～10月1日(金)</p> <p>〈受講者数〉 187人 〈修了者数〉 187人</p>	<p>受講者数 前年度より87人増</p>										
<p>(3) 介護支援専門員実務研修 (1回)</p>	<p>介護支援専門員実務研修受講試験合格者に対して、介護支援専門員実務研修(1回延べ16日間)を実施した。</p> <p>〈研修時間〉 87時間 16日間(実習3日間以上) 〈研修日程〉 前期Ⅰ：令和4年1月11日(火)～13日(木)、17日(月) 前期Ⅱ：令和4年1月24日(月)～28日(金) 後期：令和4年2月24日(火)～25日(金)、 3月7日(月)11日(金)</p> <p>〈受講者数〉 205人 〈修了者数〉 203人 (うち合格者193人、過年度合格者10人)</p>	<p>受講者数 前年度より62人増</p>										
<p>(4) 認知症介護実践者等研修 ア 認知症介護実践者研修 (3回)</p>	<p>介護保険施設等における認知症高齢者介護の実務者及びその指導的立場となる者を対象に、介護サービス適正な運営と質の向上を図ることを目的に、認知症介護実践者等研修を開催した。また、オンラインリモートの形式を導入し、受講しやすい環境整備に努めた。</p> <table border="1" data-bbox="1166 723 1455 1608"> <thead> <tr> <th>研修名</th> <th>実施年月日</th> <th>参加見込</th> <th>修了者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">認知症介護実践者研修</td> <td>① 令和3年 5月18日～5月26日 令和3年 6月29日～6月30日</td> <td rowspan="3">240人</td> <td rowspan="3">246人</td> </tr> <tr> <td>② 令和3年 9月7日～9月17日 令和3年10月20日</td> </tr> <tr> <td>③ 令和3年12月7日～12月21日 令和4年2月10日</td> </tr> </tbody> </table>	研修名	実施年月日	参加見込	修了者数	認知症介護実践者研修	① 令和3年 5月18日～5月26日 令和3年 6月29日～6月30日	240人	246人	② 令和3年 9月7日～9月17日 令和3年10月20日	③ 令和3年12月7日～12月21日 令和4年2月10日	<p>認知症高齢者の介護業務に従事する実践者や管理者等に対する研修機会を提供することにより、専門性の高い認知症介護の知識・技術の習得が図られ、サービス品質の確保に繋がるとともに、適正なサービス運営に資することができた。また、感染症予防対策に配慮した研修形式を導入することにより、安心・安全な受講環境が図られた。</p>
研修名	実施年月日	参加見込	修了者数									
認知症介護実践者研修	① 令和3年 5月18日～5月26日 令和3年 6月29日～6月30日	240人	246人									
	② 令和3年 9月7日～9月17日 令和3年10月20日											
	③ 令和3年12月7日～12月21日 令和4年2月10日											

7 県指定事業	所管部署 福祉人材・研修 ほか ほか	
令和3年度事業計画		
イ	認知症介護実践りーダー研修 (1回)	事業実施概要等
イ	認知症介護実践りーダー研修 (1回)	令和3年 7月13日～7月16日 令和3年 8月 3日～8月 6日 令和3年 9月28日～9月29日
ウ	認知症対応型サービス事業管理者研修 (2回)	①令和3年7月 1日～7月 2日 ②令和4年 2月24日～2月25日
エ	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 (1回)	35人
オ	認知症対応型サービス事業開設者研修 (1回)	27人
カ	認知症介護基礎研修 (1回)	7人
	計	97人
	計	505人
※令和2年度延期分		
	研修名	実施年月日
	認知症対応型サービス事業管理者研修	令和3年4月22日～23日
	小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	令和3年4月14日～16日・4月20日
	認知症介護基礎研修	令和3年4月30日
	参加見込	修了者数
	40人	30人
	35人	38人
	100人	88人

具体的成果等

<p>(5)障害福祉人材育成研修の開催</p> <p>ア 相談支援従事者研修(13日間) (7)相談支援従事者初任者研修 (7日間)</p>	<p>相談支援専門員及びサービス管理責任者、児童発達支援管理責任者等の資格取得希望者に対して、障害福祉人材育成研修を実施した。</p> <p>(7) 初任者研修 (前期) <期 日> 令和3年8月1日(日)～8月7日(土) (相談) 令和3年8月15日(日)～8月21日(土) (サビ管・児発管) <手 法> オンライン配信 <受講者数> 602人 <修了者数> 565人</p> <p>初任者研修 (中期～後期) <期 日> (中期) 令和3年8月24日(火)～25日(水) (後期) 令和3年9月22日(水)、11月1日(月)～2日(火) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 140人 <修了者数> 126人</p>	<p>新型コロナウイルス感染症予防対策に配慮した研修形式を導入することにより、概ね計画どおり研修を実施し、県内における相談支援専門員及びサービス管理責任者、児童発達支援管理責任者、強度行動障害支援者人材育成が推進された。</p> <p>(前期) 定員600人に対し、94.2%</p> <p>(中期～後期) 定員120人に対し、105.0%</p>
<p>(4)相談支援従事者現任研修 (4日間)</p>	<p>(1) 現任研修 <期 日> (前期) 令和3年9月12日(日)～9月18日(土) <手 法> オンライン配信 <期 日> (前期) 令和3年10月6日(水) (中期) 令和3年11月5日(金) (後期) 令和3年12月8日(水) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 95人 <修了者数> 92人</p>	<p>定員96人に対し、95.8%</p>
<p>(7)相談支援従事者専門コース別研修 (1日間)</p> <p>(エ)ファシリテーター研修 (1日間)</p>	<p>(7) 専門コース別研修 <期 日> 令和4年2月22日(火) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 32人 <修了者数> 30人</p> <p>(エ) ファシリテーター研修 <期 日> 令和3年5月18日(火) <手 法> Web会議システム「Zoom」</p>	<p>定員60人に対し、50.0%</p>
<p>イ サービス管理責任者等研修 (20日間) (7)基礎研修 (1日研修) + (2日間×4回)</p>	<p>(7) 基礎研修 (共通講義) <期 日> 令和3年9月19日(日)～25日(土) <手 法> オンライン配信 基礎研修-1 (演習) <期 日> 令和3年10月19日(火)～20日(水)</p>	<p>基礎研修については、受講希望者多数のため、演習部分を4回から5回に増やして開催した。</p> <p>定員120人に対し、96.7%</p>

7 県指定事業	所管部署	福祉人材・研修 センターほか
令和3年度事業計画		事業実施概要等
		具体的成果等
<p>(1) (新)実践研修 (1日研修) + (2日間×4回)</p>	<p>〈手法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 124人 〈修了者数〉 116人</p> <p>基礎研修-2 (演習) 〈期日〉 令和3年11月16日(火)～17日(水) 〈手法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 102人 〈修了者数〉 96人</p> <p>基礎研修-3 (演習) 〈期日〉 令和3年11月25日(木)～26日(金) 〈手法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 123人 〈修了者数〉 110人</p> <p>基礎研修-4 (演習) 〈期日〉 令和3年11月29日(月)～30日(火) 〈手法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 102人 〈修了者数〉 94人</p> <p>基礎研修-5 (演習) 〈期日〉 令和3年12月22日(水)～23日(木) 〈手法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 101人 〈修了者数〉 99人</p>	<p>定員120人に対し、80.0%</p> <p>定員120人に対し、91.7%</p> <p>定員120人に対し、78.3%</p> <p>定員120人に対し、82.5%</p>
	<p>(1) 実践研修-1 〈期日〉 令和4年1月9日(日)～17日(月) 〈手法〉 オンライン配信 〈期日〉 令和4年1月18日(火)～19日(水) 〈手法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 51人 〈修了者数〉 47人</p>	<p>定員120人に対し、39.2%</p>
	<p>実践研修-2 〈期日〉 令和4年2月6日(日)～14日(月) 〈手法〉 オンライン配信 〈期日〉 令和4年2月15日(火)～16日(水) 〈手法〉 Web会議システム「Zoom」</p>	<p>定員120人に対し、54.2%</p>

<p>(ウ) 更新研修 (1日研修×4回)</p>	<p>〈受講者数〉 72人 〈修了者数〉 65人</p> <p>(ウ) 更新研修-1 〈期 日〉 令和3年9月3日(金) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 79人 〈修了者数〉 76人</p> <p>更新研修-2 〈期 日〉 令和3年9月10日(金) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 120人 〈修了者数〉 116人</p> <p>更新研修-3 〈期 日〉 令和3年10月14日(木) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 83人 〈修了者数〉 82人</p> <p>更新研修-4 〈期 日〉 令和3年11月12日(金) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 120人 〈修了者数〉 116人</p>	<p>定員120人に対し、63.3%</p> <p>定員120人に対し、96.7%</p> <p>定員120人に対し、68.3%</p> <p>定員120人に対し、96.7%</p>
<p>ウ 強度行動障害支援者養成研修 (10日間)</p> <p>(ア) 基礎研修 (2日間×3回)</p>	<p>(ア) 基礎研修-A 〈期 日〉 令和3年11月8日(月)～9日(火) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 98人 〈修了者数〉 89人</p> <p>基礎研修-B 〈期 日〉 令和3年12月2日(木)～3日(金) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 99人 〈修了者数〉 94人</p> <p>基礎研修-C 〈期 日〉 令和3年12月16日(木)～17日(金) 〈手 法〉 Web会議システム「Zoom」 〈受講者数〉 99人 〈修了者数〉 89人</p>	<p>定員120人に対し、74.2%</p> <p>定員120人に対し、78.3%</p> <p>定員120人に対し、74.2%</p>

7 県指定事業	所管部署	福祉人材・研修 センターほか
<p>令和3年度事業計画</p>	<p>具体的成果等</p>	
<p>(4) 実践研修 (2日間×2回)</p>	<p>(1) 実践研修 (共通講義) <期 日> 令和4年1月16日(日)～22日(土) <手 法> オンライン配信 実践研修-D (演習) <期 日> 令和4年2月3日(木)～4日(金) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 130人 <修了者数> 114人 実践研修-E (演習) <期 日> 令和4年2月8日(火)～9日(水) <手 法> Web会議システム「Zoom」 <受講者数> 131人 <修了者数> 110人</p>	
<p>(6) 福祉用具専門相談員養成研修 ア 研修期間 令和3年5月～6月 イ 研修時間 51時間(延べ8日間) ウ 定員 30人 エ その他 研修修了者は福祉用具専門 相談員の資格取得</p>	<p>福祉用具専門相談員13人を養成することができた。</p> <p>修了者数 定員に比べ17人減 前年度より13人減</p>	
<p>8 教員免許介護等体験受入調整事業</p> <p>教員免許介護等体験受入調整事業 (対象学生予定数：610人)</p>	<p>所管部署 福祉人材・研修センター</p> <p>教員免許取得志望者の資質向上及び学校教育の充実に寄与できた。 ①介護等体験申込者数 前年度より123人増 ②介護等体験終了者数 前年度より128人増</p>	

9 外国人介護人材受入支援事業	所管部署	福祉人材・研修センター
令和3年度事業計画		事業実施概要等
令和3年度事業計画		具体的成果等
<p>(1) 技能実習生等を対象とする外国人介護人材集合研修の実施</p> <p>① 開催期間 令和3年12月～令和4年3月</p> <p>② 実施地域 6か所(鹿児島, 南薩, 北薩, 始良・伊佐, 大島)</p> <p>③ 回数 12回 (6地域×2回)</p>	<p>技能実習生等を対象とする外国人介護人材集合研修を県内5地域で実施した。</p> <p>〈開催月〉 令和3年11月～令和4年3月</p> <p>〈実施地域〉 5か所(鹿児島, 南薩, 北薩, 始良・伊佐, 大隅)</p> <p>〈回数〉 10回 (5地域×2回)</p> <p>〈参加者数〉 76人(延べ人数)</p> <p>〈内容〉 〈講義〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 接遇及び鹿児島のことば ・ 介護現場で使う日本語 ・ 新型コロナウイルス感染症予防対策 ・ 介護記録作成のポイント <p>〈実技〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護技術の基本 等 <p>※新型コロナウイルス禍のためいずれもオンライン方式での実施となった。</p>	<p>入国後の期間が短い技能実習生に対するオンライン研修及び相互交流を通じ、生活や介護に関する不安を払拭するとともに、介護に関する基本的な知識を深め、円滑な就労と職場への定着に資することができた。</p>

Ⅷ 介護実習・普及センターの運営		事業実施概要等		所管部署	介護実習・普及センター
1 介護実習・普及センター運営事業		令和3年度事業計画		具体的成果等	
(1) 介護に関する情報収集・提供 ア 図書・ビデオ等の貸出	① 貸出状況	年度 区分	令和3年度	令和2年度	増 減
	図書	72冊	71冊	1冊	
	ビデオ	0本	1本	△1本	
	D V D	5本	18本	△13本	
	② 整備状況	年度 区分	令和3年度	令和2年度まで	計
	図書	4冊	591冊	595冊	
	ビデオ	0本	79本	79本	
	D V D	0本	41本	41本	
イ リーフレットの配布	介護実習・普及センターの実施事業等の周知を図り、研修及び講座等への参加を募るため、15,000部のリーフレットを作成し、一般県民、介護施設及び県内関係機関等に配布した。	リーフレットの配布により、介護実習・普及センター事業の周知が図られ、多くの県民の参加を得ることができた。			
ウ 全国会議及び九州ブロック会議への参加	① 全国福祉用具相談・研修機関協議会/2名 〈期 日〉 令和3年12月12日 〈会 場〉 リモート開催 ② 九州ブロック介護実習・普及センター代表者及び担当者会議/2名 〈期 日〉 令和4年1月18日 〈会 場〉 リモート開催 ③ 国際福祉機器展 随時閲覧 〈期 日〉 令和3年10月11日～12月10日 〈会 場〉 Web開催	福祉用具に関する新たな知識や九州各県等の情報を広く共有し、業務遂行に役立てることができた。			
(2) 介護知識・技術の普及及び体験学習等（一般県民向け） ア やさしい介護教室（6回・定員各30人）	家庭で介護を行っている家族や介護に関心のある県民に対し、専門家講師の指導による介護の基礎的な知識と介護方法の習得のための講座を開催した。	県民の介護に対する関心を高め、介護の知識や技術の普及促進につながった。			

実施日	参加定員	参加者数	講座内容	参加者数	定員に比べ128人減 前年度より17人減
〈前期〉 令和3年7月21日 令和3年7月29日 令和3年8月29日	30人 30人 30人	17人 10人 中止	・ 認知症の理解, 声かけ, 接し方 ・ 排泄用具の選び方, 使い方 ・ 福祉用具の選び方・使い方 ・ 誤嚥をふせぐ食事の介助方法 ・ 衣服の着脱, 歩行の介助方法 ・ 寝返りから移乗までの介助方法		
〈後期〉 令和3年10月2日 令和3年10月28日 令和3年11月16日	30人 30人 30人	中止 11人 14人			
計	180人	52人			
イ 地域介護講座 (4か所(回)・定員各30人) (伊佐・始良地区, 南薩地区 大隅地区, 奄美地区)					
実施日	参加定員	参加者数	講座内容	参加者数	定員に比べ57人減 前年度より6人減
伊佐市 令和3年7月28日 大崎町 令和3年11月24日 南九州市 令和3年12月13日	30人 30人 30人	19人 31人 13人	・ らくらく！寝返り, 起き上がり, 立ち上がり, 移乗の介助方法 ・ ここに注意！誤嚥をふせぐ食事の介助方法 ・ これは助かる！福祉用具の選び方, 使い方		
知名町 令和4年1月27日	30人	延期中止			
計	120人	63人			
ウ 快護生活フェス！オンライン特別セミナーfromかごしま【内容変更】(1回) 「10月1日福祉用具の日」に関連して、高齢者や障がい者等の生活に役立つ福祉用具をもっと身近に感じてもらうためのイベントとして、「快護生活フェス」を感染症拡大防止対策により、オンライン特別セミナーとして開催した。併せて、「介護ロボット鹿児島」多くの参加者があり、最新の福祉用具や介護知識・技術の普及啓発が図られ、「福祉用具の日」の周知に寄与できた。					

1 介護実習・普及センター運営事業	介護実習・普及センター	介護実習・普及センター																												
令和3年度事業計画		具体的成果等																												
併催： 介護ロボット鹿児島フォーラム	<p>島フォーラム」を行った。</p> <table border="1" data-bbox="300 734 459 1406"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加者数</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年11月23日</td> <td>1,012人</td> <td>最新の福祉用具（機器）を紹介する動画を配信</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	参加者数	内容	令和3年11月23日	1,012人	最新の福祉用具（機器）を紹介する動画を配信																							
実施日	参加者数	内容																												
令和3年11月23日	1,012人	最新の福祉用具（機器）を紹介する動画を配信																												
工 福祉体験教室（随時）	<p>福祉用具見学、車いす体験及び高齢者疑似体験を通して、介護・福祉への理解を深めてもらうため体験教室を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="352 734 512 1406"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>R3年度</th> <th>R2年度</th> <th>増減</th> <th>実施回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通年</td> <td>534人</td> <td>1,104人</td> <td>△570人</td> <td>95回</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	R3年度	R2年度	増減	実施回数	通年	534人	1,104人	△570人	95回	<p>生活に役立つ車いすなど福祉用具を広く知ってもらうことで、介護やバリアフリーについて理解を深めることにつながった。</p> <p>実施回数 前年度より49回減</p>																		
実施日	R3年度	R2年度	増減	実施回数																										
通年	534人	1,104人	△570人	95回																										
オ 公立学校共済組合鹿児島支部介護講座（5回）	<p>公立学校共済組合からの委託を受け、教職員を対象に、専門家講師の指導による介護講座（基礎・技術コース）を開催した。</p> <table border="1" data-bbox="405 734 564 1406"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>参加定員</th> <th>参加者数</th> <th>講座内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年8月4日</td> <td>25人</td> <td>17人</td> <td>・介護の心得と福祉用具の選び方</td> </tr> <tr> <td>令和3年8月5日</td> <td>25人</td> <td>19人</td> <td>・認知症の理解と身体ケア</td> </tr> <tr> <td>令和3年8月6日</td> <td>25人</td> <td>12人</td> <td>・感染症対策と排泄ケア ・食事の介助と口腔ケア</td> </tr> <tr> <td>令和3年8月18日</td> <td>25人</td> <td>中止</td> <td>・身体介助とポジショニングケア</td> </tr> <tr> <td>令和3年8月19日</td> <td>25人</td> <td>中止</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>125人</td> <td>48人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施日	参加定員	参加者数	講座内容	令和3年8月4日	25人	17人	・介護の心得と福祉用具の選び方	令和3年8月5日	25人	19人	・認知症の理解と身体ケア	令和3年8月6日	25人	12人	・感染症対策と排泄ケア ・食事の介助と口腔ケア	令和3年8月18日	25人	中止	・身体介助とポジショニングケア	令和3年8月19日	25人	中止		計	125人	48人		<p>教職員やその家族への介護に関する知識・技術の普及・啓発が図られた。</p> <p>参加者数 定員に比べ72人減 本年度より5日間開催</p>
実施日	参加定員	参加者数	講座内容																											
令和3年8月4日	25人	17人	・介護の心得と福祉用具の選び方																											
令和3年8月5日	25人	19人	・認知症の理解と身体ケア																											
令和3年8月6日	25人	12人	・感染症対策と排泄ケア ・食事の介助と口腔ケア																											
令和3年8月18日	25人	中止	・身体介助とポジショニングケア																											
令和3年8月19日	25人	中止																												
計	125人	48人																												

<p>(3) 介護専門職員向け研修 ア 介護レクリエーション研修 (2回・定員各30人)</p>	<p>社会福祉施設等の介護専門職を対象に、介護の基礎技術を確認し、さらなるスキルアップを図るための研修を開催した。</p>				<p>介護専門職の介護技術向上を図ることにより、より良いサービス提供を行う人材育成に寄与した。</p> <p>参加者数 定員に比べ41人減 前年度より11人減</p>
	実施日	参加定員	参加者数	講座内容	
<前期> 令和3年5月14日	30人	中止	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な運動や創作を楽しむ介護状態別レクリエーション 		
<後期> 令和3年11月12日	30人	19人			
計	60人	19人			
<p>イ 介護食調理教室 (2回・定員各25人)</p>	<p>高齢者が食べやすく、栄養バランスの取れた調理方法、補助食品の紹介</p>				<p>参加者数 定員に比べ36人減 前年度より14人増</p>
	実施日	参加定員	参加者数	講座内容	
<前期> 令和3年6月13日	25人	中止	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が食べやすく、栄養バランスの取れた調理方法、補助食品の紹介 		
<後期> 令和3年11月28日	25人	14人			
計	50人	14人			
<p>ウ 介護職の体リフレッシュ研修 (2回・定員各20人)</p>	<p>介護職(自分の)の身体状態把握と自己改善を図るストレッチ体操</p>				<p>参加者数 定員に比べ21人減 前年度より1人増</p>
	実施日	参加定員	参加者数	講座内容	
<前期> 令和3年5月27日	20人	中止	<ul style="list-style-type: none"> ・介護職(自分の)の身体状態把握と自己改善を図るストレッチ体操 		
<後期> 令和3年11月11日	20人	19人			
計	40人	19人			

1 介護実習・普及センター運営事業		介護実習・普及センター	
令和3年度事業計画		具体的成果等	
事業実施概要等			
実施日	参加定員	参加者数	講座内容
工 介護職基礎研修 (4回・定員各30人)			
A：第1回 令和3年7月30日 令和3年7月31日	30人	14人	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険制度の理解と介護の心得 身体状況に応じたおむつの選び方、あて方、交換方法 高齢者のための転倒予防体操 心身機能低下予防体操 身体や腰に負担をかけない起居、移乗、移動の介助方法
A：第2回 令和3年9月16日 令和3年9月17日	30人	中止	
B：第1回 令和3年7月7日 令和3年7月8日	30人	中止	<ul style="list-style-type: none"> 誤嚥をふせぐ食事の姿勢と介助方法 体位変換、ポジショニング方法 福祉用具の選び方、使い方等 認知症疾患別の理解とケア、コミュニケーションのとり方
B：第2回 令和3年10月29日 令和3年10月30日	30人	10人	
計	120人	24人	
オ 介護職スキルアップ研修 (7) 口腔ケア			
(7) 口腔ケア			
実施日	参加定員	参加者数	講座内容
令和3年10月8日	30人	延期中止	<ul style="list-style-type: none"> 口腔ケアの基礎知識と方法 拒否される方への対応 コミュニケーションの取り方 口腔ケア体操
令和4年1月14日	30人	中止	
計	60人	0人	
(1) 認知症ケア			
実施日	参加定員	参加者数	講座内容
令和3年10月1日	30人	延期中止	<ul style="list-style-type: none"> 認知症疾患別援助の方法 事例を通しての理解 (グループワーク)
令和3年12月9日	30人	22人	
計	60人	22人	
		参加者数	定員に比べ38人減 本年度より2回の開催に変更

(ウ) 体位変換・ポジショニングケア （3回・定員各30人）	実施日	参加定員	参加者数	講座内容	参加者数 定員に比べ79人減 前年度より21人減
	令和3年7月25日	30人	11人	褥瘡の基礎知識	
	令和3年10月9日	30人	延期中止	・座位、寝姿勢別体位変換、 ポジショニング方法	
	令和4年1月15日	30人	中止	・車いすのシーティング方法	
計	90人	11人			
(エ) 排泄ケアI （4回・定員各20人）	実施日	参加定員	参加者数	講座内容	参加者数 定員に比べ64人減 前年度より14人減
	令和3年9月1日	20人	延期中止	・排泄・失禁についての基礎 知識	
	令和3年9月15日	20人	中止	・シケンケア方法	
	令和3年12月1日	20人	16人	・麻痺、拘縮のある方の おむつ交換	
計	80人	16人			
(オ) 排泄ケアII （2回・定員各20人）	実施日	参加定員	参加者数	講座内容	参加者数 定員に比べ27人減 本年度新規開設
	令和3年8月27日	20人	中止	・身体状況に応じたおむつの 種類と選び方	
	令和3年11月17日	20人	13人	・おむつのあて方のポイント	
	計	40人	13人		
(カ) 感染症予防対策と褥瘡ケア （2回・定員各30人）	実施日	参加定員	参加者数	講座内容	参加者数 定員に比べ40人減 前年度より6人減
	令和3年9月24日	30人	延期中止	・褥瘡ケア、感染症の予防 対策・汚染物の処理方法	
	令和3年11月5日	30人	20人		
	計	60人	20人		
(キ) 介護機器等利活用 （1回・定員20人）	実施日	参加定員	参加者数	講座内容	参加者数 定員に比べ12人減 本年度新規開設
	令和4年1月7日	20人	8人	・介護機器（介護ベッド）の 利用 ・介護機器（介護ベッド）の 操作体験	

1 介護実習・普及センター運営事業	事業実施概要等		所管部署 介護実習・普及センター																																														
令和3年度事業計画																																																	
介護実習・普及センター運営事業 令和3年度事業計画 力 専門職団体等連携講座 (4回)	各職能団体と連携し、地域における在宅介護や施設介護のリーダー育成を図るための講義や実技等の講座開催を支援した。	専門職の知識・技術の向上につなげた。	具体的成果等																																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">団体名</th> <th style="width: 20%;">実施日</th> <th style="width: 60%;">参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県言語聴覚士会</td> <td>令和3年 5月16日</td> <td>リモート独自開催</td> </tr> <tr> <td>県理学療法士協会</td> <td>令和3年 7月18日</td> <td>リモート独自開催</td> </tr> <tr> <td>3団体連絡協議会</td> <td>令和3年 7月18日</td> <td>中止</td> </tr> <tr> <td>県作業療法士協会</td> <td>令和4年 2月20日</td> <td>リモート独自開催</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">計</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	団体名	実施日	参加者数	県言語聴覚士会	令和3年 5月16日	リモート独自開催	県理学療法士協会	令和3年 7月18日	リモート独自開催	3団体連絡協議会	令和3年 7月18日	中止	県作業療法士協会	令和4年 2月20日	リモート独自開催	計		0人																														
団体名	実施日	参加者数																																															
県言語聴覚士会	令和3年 5月16日	リモート独自開催																																															
県理学療法士協会	令和3年 7月18日	リモート独自開催																																															
3団体連絡協議会	令和3年 7月18日	中止																																															
県作業療法士協会	令和4年 2月20日	リモート独自開催																																															
計		0人																																															
(4) 福祉用具・バリアフリー住宅の展示・相談、福祉用具の情報収集・提供等	介護実習・普及センターの来所者に対し、福祉用具やモデルハウスの案内・説明等を行うとともに、福祉用具等介護に関する相談に対応した。 [来所者数] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">年度 人数等</th> <th style="width: 35%;">令和3年度</th> <th style="width: 35%;">令和2年度</th> <th style="width: 15%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来所者数</td> <td>3,782人</td> <td>4,980人</td> <td>△1,198人</td> </tr> <tr> <td>開所日数</td> <td>※ 308日</td> <td>307日</td> <td>1日</td> </tr> <tr> <td>1日平均</td> <td>12人</td> <td>16人</td> <td>△4人</td> </tr> </tbody> </table> ※ うち4日間(令和3年8月14日～9月30日)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般県民の新相談は原則中止し、電話での対応となった。 [相談件数] <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">相談内容</th> <th style="width: 15%;">年度</th> <th style="width: 35%;">令和3年度</th> <th style="width: 35%;">令和2年度</th> <th style="width: 15%;">増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険</td> <td>年度</td> <td>7</td> <td>43</td> <td>△36</td> </tr> <tr> <td>研修関係</td> <td>年度</td> <td>317</td> <td>504</td> <td>△187</td> </tr> <tr> <td>移動機器</td> <td>年度</td> <td>126</td> <td>144</td> <td>△18</td> </tr> <tr> <td>排泄</td> <td>年度</td> <td>37</td> <td>39</td> <td>△2</td> </tr> <tr> <td>入浴</td> <td>年度</td> <td>18</td> <td>30</td> <td>△12</td> </tr> </tbody> </table> (単位:件)	年度 人数等	令和3年度	令和2年度	増 減	来所者数	3,782人	4,980人	△1,198人	開所日数	※ 308日	307日	1日	1日平均	12人	16人	△4人	相談内容	年度	令和3年度	令和2年度	増 減	介護保険	年度	7	43	△36	研修関係	年度	317	504	△187	移動機器	年度	126	144	△18	排泄	年度	37	39	△2	入浴	年度	18	30	△12	県民への福祉用具・介護用品等への周知に寄与できた。	
年度 人数等	令和3年度	令和2年度	増 減																																														
来所者数	3,782人	4,980人	△1,198人																																														
開所日数	※ 308日	307日	1日																																														
1日平均	12人	16人	△4人																																														
相談内容	年度	令和3年度	令和2年度	増 減																																													
介護保険	年度	7	43	△36																																													
研修関係	年度	317	504	△187																																													
移動機器	年度	126	144	△18																																													
排泄	年度	37	39	△2																																													
入浴	年度	18	30	△12																																													

起居移乗	38	24	14
資格	12	9	3
住宅改修	20	35	△15
障害福祉	3	4	△1
図書ビデオ	59	95	△36
自助具	105	46	59
介護食	4	5	△1
その他	775	520	255
計	1,521	1,498	23

〔展示数〕 (単位:点)			
分類別	年度		増減
	令和3年度	令和2年度	
治療訓練用具	17	14	3
義肢・装具	0	0	0
パソコン関連用具	247	257	△10
移動機器	140	134	6
家事用具	95	95	0
家具・建具建設備	46	45	1
コミュニケーション関連用具	16	12	4
操作用具	16	16	0
環境善機器・作業用具	0	0	0
レクリエーション用具	6	7	△1
その他	44	45	△1
計	627	625	2

104社の福祉用具販売（貸与）事業所・メーカーによる使用貸借契約等による展示品

2 介護ロボット相談窓口設置事業	事業実施概要等		所管部署	介護実習・普及センター																		
令和3年度事業計画																						
<p>(1) 介護ロボット相談窓口の設置 ア 相談窓口担当職員の配置 (専任職員1人、業務アドバイザー1名)</p>	<p>令和3年6月1日開設 ・専任職員1名、兼務職員1名配置 ・介護ロボットに関する専門的知識を有する業務アドバイザーの配置1名(鹿児島大学医学部保健学科作業療法学専攻助教・保健学博士 吉満孝二氏)</p>		<p>具体的成果等 介護ロボットに関する相談体制を整え、専門的な対応もできるようになった。</p>																			
<p>イ 相談対応</p>	<p>相談件数等</p> <table border="1" data-bbox="475 1025 1059 1525"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開発企業</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>老人保健施設</td> <td>6件</td> </tr> <tr> <td>障害者福祉施設</td> <td>5件</td> </tr> <tr> <td>グループホーム</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>デイサービスセンター</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能居宅介護等</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>45件</td> </tr> </tbody> </table>		種別	件数	開発企業	9件	特別養護老人ホーム	13件	老人保健施設	6件	障害者福祉施設	5件	グループホーム	2件	デイサービスセンター	1件	小規模多機能居宅介護等	9件	合計	45件	<p>開設初年度であったが、多くの相談が寄せられ、介護ロボットの普及に貢献できた。</p>	
種別	件数																					
開発企業	9件																					
特別養護老人ホーム	13件																					
老人保健施設	6件																					
障害者福祉施設	5件																					
グループホーム	2件																					
デイサービスセンター	1件																					
小規模多機能居宅介護等	9件																					
合計	45件																					
<p>ウ 担当エリア内の関係機関との連絡調整</p>	<p>担当エリアである鹿児島・熊本・宮崎・沖縄各県の県庁担当課、介護実習・普及センター、県社協、老人福祉施設協議会等の関係団体に対して相談窓口開設案内と機能紹介を行い、広報等について依頼した。(4回)</p>		<p>関係機関・団体への窓口の機能案内ができ、介護事業所等への周知ができた。</p>																			

工 相談窓口連絡会議への参加

1 1 回の連絡会議等への参加

名 称	開催日	内 容
第1回相談窓口・リビングラボネットワーク 連絡会議	令和3年6月18日	<ul style="list-style-type: none"> 各拠点の取組紹介 連携支援ツールの説明
第2回相談窓口・リビングラボネットワーク 連絡会議	令和3年11月4日	<ul style="list-style-type: none"> 事業進捗報告 窓口、リビングラボ取組事例の紹介 意見交換
第1回相談窓口勉強会	令和3年6月29日	<ul style="list-style-type: none"> R3年度事業の紹介、好事例の説明
第2回相談窓口勉強会	令和3年7月29日	<ul style="list-style-type: none"> 伴走支援方法について 先進施設からの導入事例紹介
第3回相談窓口勉強会	令和3年8月27日	<ul style="list-style-type: none"> 効果測定事業の説明 介護ロボット開発企業からの説明
第4回相談窓口勉強会	令和3年9月30日	<ul style="list-style-type: none"> リビングラボWEB見学
第5回相談窓口勉強会	令和3年10月27日	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施状況説明 相談窓口事例紹介（本県も含む）
第6回相談窓口勉強会	令和3年11月26日	<ul style="list-style-type: none"> フェイェスシート（様式）の検討 グループディスカッション
第7回相談窓口勉強会	令和4年1月12日	<ul style="list-style-type: none"> 介護ロボット開発に関する講演
第8回相談窓口勉強会	令和4年2月9日	<ul style="list-style-type: none"> 介護ロボット開発企業からの紹介
第9回相談窓口勉強会	令和4年2月25日	<ul style="list-style-type: none"> R4年度事業についての説明 各相談窓口の取組事例紹介

介護ロボット相談窓口に関する役割や機能及び介護ロボットに関する知識を得ることができ、介護ロボットの相談に役立てることができた。

2	<p>新 介護ロボット相談窓口設置事業</p>	<p>令和3年度事業計画</p>	<p>所管部署 介護実習・普及センター</p>																													
<p>(2) 介護ロボットの体験展示 ア 介護ロボットの展示 (8種類)</p>		<p>事業実施概要等</p>	<p>具体的成果等</p>																													
<p>「ロボット技術の介護利用における重点分野」(平成29年10月改定)における6分野から4分野の介護ロボット14種類を展示した。 (展示ロボット一覧)</p> <table border="1" data-bbox="395 763 1396 1552"> <thead> <tr> <th>分野</th> <th>介護ロボット名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>移乗支援(装着型)</td> <td>HAL腰タイプ介護・自立支援用</td> </tr> <tr> <td>移乗支援(装着型)</td> <td>衣服型アクティバパワーアシストスーツ J-PAS fleairy</td> </tr> <tr> <td>移乗支援(装着型)</td> <td>DARWING Hakobelude</td> </tr> <tr> <td>移乗支援(装着型)</td> <td>マッスルスーツ</td> </tr> <tr> <td>移乗支援(非装着型)</td> <td>移乗サポートロボット HUG-T1</td> </tr> <tr> <td>移乗支援(非装着型)</td> <td>ROBOHELPER SASUKE</td> </tr> <tr> <td>移動支援</td> <td>ロボットアシストウォーカーRT.2</td> </tr> <tr> <td>排泄支援</td> <td>ラップポン エール2</td> </tr> <tr> <td>排泄支援</td> <td>排尿予測デバイス Dfree</td> </tr> <tr> <td>見守り・コミュニケーション支援</td> <td>見守りシステム Neos+Care</td> </tr> <tr> <td>見守り・コミュニケーション支援</td> <td>見守りセンサ Aisleep</td> </tr> <tr> <td>見守り・コミュニケーション支援</td> <td>レガーマ</td> </tr> <tr> <td>見守り・コミュニケーション支援</td> <td>PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ</td> </tr> <tr> <td>見守り・コミュニケーション支援</td> <td>音声認識コミュニケーションロボット Chapit</td> </tr> </tbody> </table>		分野	介護ロボット名称	移乗支援(装着型)	HAL腰タイプ介護・自立支援用	移乗支援(装着型)	衣服型アクティバパワーアシストスーツ J-PAS fleairy	移乗支援(装着型)	DARWING Hakobelude	移乗支援(装着型)	マッスルスーツ	移乗支援(非装着型)	移乗サポートロボット HUG-T1	移乗支援(非装着型)	ROBOHELPER SASUKE	移動支援	ロボットアシストウォーカーRT.2	排泄支援	ラップポン エール2	排泄支援	排尿予測デバイス Dfree	見守り・コミュニケーション支援	見守りシステム Neos+Care	見守り・コミュニケーション支援	見守りセンサ Aisleep	見守り・コミュニケーション支援	レガーマ	見守り・コミュニケーション支援	PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ	見守り・コミュニケーション支援	音声認識コミュニケーションロボット Chapit	<p>介護事業所や県民への介護ロボットの周知・理解促進に寄与できた。</p>
分野	介護ロボット名称																															
移乗支援(装着型)	HAL腰タイプ介護・自立支援用																															
移乗支援(装着型)	衣服型アクティバパワーアシストスーツ J-PAS fleairy																															
移乗支援(装着型)	DARWING Hakobelude																															
移乗支援(装着型)	マッスルスーツ																															
移乗支援(非装着型)	移乗サポートロボット HUG-T1																															
移乗支援(非装着型)	ROBOHELPER SASUKE																															
移動支援	ロボットアシストウォーカーRT.2																															
排泄支援	ラップポン エール2																															
排泄支援	排尿予測デバイス Dfree																															
見守り・コミュニケーション支援	見守りシステム Neos+Care																															
見守り・コミュニケーション支援	見守りセンサ Aisleep																															
見守り・コミュニケーション支援	レガーマ																															
見守り・コミュニケーション支援	PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ																															
見守り・コミュニケーション支援	音声認識コミュニケーションロボット Chapit																															

<p>イ 介護ロボットの体験</p>	<p>介護事業所の職員や福祉・医療系大学、短期大学、専門学校生及び介護ロボットに関心のある個人など多くの方に介護ロボットを体験していただき、介護ロボットの機能や活用方法について理解を得た。</p> <table border="1" data-bbox="300 766 432 1538"> <thead> <tr> <th>介護事業所職員等</th> <th>大学等団体</th> <th>個人</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>58人</td> <td>207人</td> <td>462人</td> <td>727人</td> </tr> </tbody> </table>	介護事業所職員等	大学等団体	個人	合計	58人	207人	462人	727人	<p>介護事業所職員や介護・福祉・医療分野への就職を目指す学生、県民への介護ロボットに関する周知と理解促進に寄与できた。</p>										
介護事業所職員等	大学等団体	個人	合計																	
58人	207人	462人	727人																	
<p>(3) 介護ロボットの試用貸出</p>	<p>厚生労働省が作成する「介護ロボットの試用貸出リスト」に基づき、介護事業所からの相談を受け、当該介護事業所の課題に合った介護ロボットを紹介し、開発企業からの貸出調整を行った。 貸出実績（16件）</p> <table border="1" data-bbox="657 766 1050 1565"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>件数</th> <th>貸出ロボット等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別養護老人ホーム</td> <td>5件</td> <td>SASUKE, HUG-T1, フレアリー</td> </tr> <tr> <td>老人保健施設</td> <td>6件</td> <td>SASUKE, HUG-T1, PALRO, Dfree</td> </tr> <tr> <td>デイサービスセンター</td> <td>1件</td> <td>PALRO</td> </tr> <tr> <td>介護付き有料老人ホーム</td> <td>2件</td> <td>HUG-T1, Chapit</td> </tr> <tr> <td>障害者支援施設</td> <td>2件</td> <td>SASUKE, HUG-T1</td> </tr> </tbody> </table>	種別	件数	貸出ロボット等	特別養護老人ホーム	5件	SASUKE, HUG-T1, フレアリー	老人保健施設	6件	SASUKE, HUG-T1, PALRO, Dfree	デイサービスセンター	1件	PALRO	介護付き有料老人ホーム	2件	HUG-T1, Chapit	障害者支援施設	2件	SASUKE, HUG-T1	<p>試用貸出を通して、介護現場での介護ロボット導入の効果を事前準備で必要な項目等について理解を深め、円滑な導入に寄与できた。</p>
種別	件数	貸出ロボット等																		
特別養護老人ホーム	5件	SASUKE, HUG-T1, フレアリー																		
老人保健施設	6件	SASUKE, HUG-T1, PALRO, Dfree																		
デイサービスセンター	1件	PALRO																		
介護付き有料老人ホーム	2件	HUG-T1, Chapit																		
障害者支援施設	2件	SASUKE, HUG-T1																		
<p>(4) 介護ロボットに関する情報提供 ア 介護ロボットに関する情報収集（随時）</p>	<p>相談窓口・リビングラボネットワーク連絡会や勉強会、また介護ロボット開発企業との協議等から介護ロボットに関する最新情報を収集し、介護ロボットに関するセミナーや研修会等で提供した。</p>	<p>収集した介護ロボットに関する新たな情報をセミナー等を通じて広く提供することができた。</p>																		
<p>イ 介護ロボット鹿児島フォーラムの開催</p>	<p>高齢者や障がい者等の生活に役立つ福祉用具をもっと身近に感じてもらうためのイベントである「快護生活フェス」に併せて、「介護ロボット鹿児島フォーラム」を感染症拡大防止対策により、オンライン特別セミナーとして開催した。</p>	<p>介護ロボットの活用状況や機能、また相談窓口の役割について広く周知広報することができた。</p>																		

2	新 介護ロボット相談窓口設置事業	所管部署	介護実習・普及センター
令和3年度事業計画		具体的成果等	
事業実施概要等			
	<p>実施日</p> <p>令和3年11月23日</p> <p>参加者数</p> <p>1,012人</p> <p>内 容</p> <p>介護ロボットの活用状況・効果などの発表・報告。また介護ロボットを紹介する動画を配信した。</p>		
<p>ウ 大島地区介護ロボット体験・相談会の開催</p>	<p>介護ロボットを見学・体験する機会が少ない離島において介護ロボットの体験及び相談の機会を創出し、介護ロボットに関する理解を深めていただくため奄美市において開催した。</p> <p>実施日</p> <p>令和3年10月22日～23日</p> <p>参加者数</p> <p>12事業所 延べ30名</p> <p>内 容</p> <p>介護ロボットの活用状況・効果などの発表・報告。また介護ロボット12点を展示し、体験と相談を行った。</p>	<p>介護ロボットに身近に接する機会の少ない地域において、介護ロボットの体験と相談に関する機会を提供でき、導入に向けた支援ができた。</p>	
<p>エ ホームページ等を通じた介護ロボットの普及・啓発</p>	<p>鹿児島県社会福祉協議会のホームページに介護ロボットの専用ページを設け、業務内容や展示介護ロボットの紹介を行う他、広報紙「ふくしのひろば」による研修・イベントの情報発信やチラシによる広報啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくしのひろば」掲載 4回 ・チラシ作成配布 2,000枚 	<p>介護ロボットの定義や機能、種類また相談窓口の役割について広く周知広報することができた。</p>	

Ⅹ 生活福祉資金貸付事業の推進												
1	総合支援資金，福祉資金，教育支援資金，不動産担保型生活資金及び離職者生活支援つなぎ資金の貸付					所管部署		生活支援部				
	令和3年度事業計画					具体的成果等						
(1)	総合支援資金，福祉資金，教育支援資金，不動産担保型生活資金及び離職者生活支援つなぎ資金の貸付	低所得世帯等援助を必要とする方々の経済的自立と生活意欲の助長及び社会参加の促進を図るため，資金の貸付や必要な援助指導を行った。（貸付決定状況については下表のとおり。） また，新型コロナウイルス感染症の影響を受け，収入減少や失業した方等を対象に特例貸付を実施した。	事業実施概要等		新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付の実施により，収入の減少や失業した方等，生活困窮者への経済的な支援を行うことができた。							
〔令和3年度生社貸付決定状況〕 (単位：千円)												
資金の種類	区分	申込状況		貸付決定状況			申込に対する決定の比較		前年度貸付決定状況		前年度に対する比較増減	
		件数	金額	件数	金額	構成率%	件数%	金額%	件数	金額	件数	金額
総合支援資金	生活支援費	7,346	4,693,050	7,346	4,693,050	82.7	100.0	100.0	7,543	5,426,870	△197	△733,820
	(内数)特例貸付	7,346	4,693,050	7,346	4,693,050	—	100.0	100.0	7,535	5,421,470	△189	△728,420
	住宅入居費	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0
福祉資金	福祉費	163	35,923	163	35,923	0.6	100.0	100.0	161	42,031	2	△6,108
	緊急小口資金	4,397	860,047	4,397	860,047	15.2	100.0	100.0	11,223	2,091,018	△6,826	△1,230,971
	(内数)特例貸付	4,359	856,480	4,359	856,480	—	100.0	100.0	11,101	2,080,200	△6,742	△1,223,720
教育支援資金		106	80,183	106	80,183	1.4	100.0	100.0	112	55,389	△6	24,794
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	0	0	0	0	0	—	—	0	0	0	0
	要保護世帯向け不動産担保型生活資金	1	6,818	1	6,818	0.1	100.0	100.0	0	0	1	6,818
合計		12,013	5,676,021	12,013	5,676,021	100.0	100.0	100.0	19,039	7,615,308	△7,026	△1,939,287
(内数)特例貸付		11,705	5,549,530	11,705	5,549,530	—	100.0	100.0	18,636	7,501,670	△6,931	△1,952,140

総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金及び離職者生活支援つなぎ資金の貸付		事業実施概要等		所管部署	生活支援部	
令和3年度事業計画		事業実施概要等		具体的成果等		
〔令和3年度離職者生活支援つなぎ資金申込及び貸付決定状況〕 ※ 平成21年10月創設 (単位：千円)						
区分	申込状況		申込に対する決定の比較		前年度に対する貸付決定状況	
	件数	金額	件数%	金額%	件数	金額
資金の種類						
離職者生活支援つなぎ資金	0	0	-	-	0	0
ア	適正な資金貸付の推進 市町村協と連携して審査体制を確し、適正な貸付 を実施することにより、制度の趣旨に基づき生活福祉資 金の運営を推進する。	生活福祉資金貸付審査等運営委員会の開催（年4回）				
イ	生活福祉資金の広報及び活用促進 広報紙「ふくしのひろば」及びホームページ等において、資金の広報 啓発を行う。	県社協のホームページ、広報紙「ふくしのひろば」ほか、各市町村の社協により等により周知を図った。				
ウ	市町村社協担当職員研修の充実 資金貸付から離脱までの一連の意事項について周知を図るとともに、初任者向けのわかりやすい研修を行い、市町村社協担当職員のスキルアップを図る。	令和3年度市町村社協生活福祉資金事務担当者研究協議会の開催 （期日）令和4年1月27日（木） （開催方法）Web会議システム（Zoom） （参加者数）48人 （内容）①基調説明：「生活福祉資金貸付制度の動向（特別貸付を含む）」 ②事業説明：「特別貸付における今後の流れについて（償還を含む）」 ③グループワーク：「生活福祉資金各種資金におけるポイントについて」				新型コロナウイルス感染症に係る特別貸付の現状と債権管理について理解を深めるとともに、各種資金の貸付相談におけるポイントを整理・確認することができた。
エ	市町村社協の貸付事務指導 市町村協の担当者との連携を十分に図り、適正な貸付事務ができるよう年間に亘って指導を行う。	市町村社協担当職員からの相談・問い合わせに対して、事務処理にあたっての留意事項等の指導を行った。				市町村協への迅速な事務指導により、円滑な資金貸付業務に寄与することができた。
オ	各種市民生委員児童委員協議会の定例会研修への職員派遣	県内の各市町村市民協からの要請により職員を派遣するとともに、研修会実施の支援を行った。				民生委員児童委員への制度の認識が深められた。

<p>(3) 償還困難案件の適切な処理 <small>償還困難で償還免除の適用要件を具備する債権について、適切な処理を行う。</small></p> <p>(4) 市町村社協における債権管理の充実 <small>ア 民生委員との連携による不良債権の債務生活実態の把握 イ 滞納者に対する償還指導</small></p>	<p>償還免除の申請なし</p> <p>不良債権の回収など市町村社協における債権管理機能を一層強化するため、市町村社協に対し次のとおり助成金を交付した。 <交付社協数> 34社協 <交付総額> 2,400千円</p>	<p><償還金免除> 0件</p>
<p>(5) 新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付の債権管理 <small>ア 市町村社協等との連携による債権管理状況 イ 償還免除への対応 償還免除の適用要件を具備する債権について、適切な処理を行う。</small></p>	<p>据置期間の延長により、殆んどの債権の償還開始が令和5年1月からとなり、令和3年度は償還が始まっていない。 また、償還免除の申請手続きについても令和4年度からの開始となった。</p>	

X すこやか長寿社会づくり運動の推進		事業実施概要等		所管部署	長寿社会推進部
1 すこやか長寿社会づくり運動の推進		令和3年度事業計画		具体的成果等	
(1)	<p>広報媒体による意識啓発 ア 広報紙「ふくしのひろば」 による広報(発行部数: 37,000部 6回) イ ホームページによる広報 ウ リーフレットの作成及び配布 (作成部数: 10,000部) エ ポスターの作成及び配布 (作成部数: 300部) オ 「老人の日・老人週間」の ポスター配布</p>	<p>すこやか長寿社会運動の推進を図るため、次の広報活動を行った。 ① 「ふくしのひろば」による広報 (13,700部×6回 2ヶ月に1回) ② ホームページによる広報 ③ リーフレット(10,000部)・ポスター(300部)の作成 配布先: 市町村社協, 県・市町村老連, 市町村担当課, 県関係機関, 各種福祉施設等 ④ 「老人の日・老人週間」のポスター配布(100枚)</p>	<p>広報紙等の啓発活動により、 定期的・継続的な情報提供がで きた。</p>		
(2)	<p>シルバー文化作品展の開催 ア 展示期間 令和3年9月8日(水)～12日(日) ※搬入日 9月3日(金) イ 会場 県歴史・美術センター黎明館 ウ 対象部門 日本画, 洋画, 書, 工芸, 写真, 彫刻の6部門 エ 対象者 県内在住の60歳以上の者 出品料 1,000円 オ その他 施設等での入賞作品の展示</p>	<p>高齢者の趣味活動や文化創作意欲を高めるとともに、高齢者の作 品を広く県民に紹介するため、シルバー文化作品展を開催する予定 だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。 [開催予定だった内容等] 〈部門〉日本画, 洋画, 書, 工芸, 写真, 彫刻 〈会場〉県歴史・美術センター 黎明館 〈会期〉令和3年9月8日(水)～12日(日) 〈出品数〉中止のため出品なし ※参考 [事前申込数] 日本画36, 洋画64, 書46, 工芸38, 写真44, 彫刻11 計 239</p> <p>〈入場者数〉中止のため入場者なし 〈表彰者数〉中止のため表彰なし ※参考 表彰予定数及び賞名 県知事賞 特別賞(寺園勝志賞) 県社会福祉協議会会長賞 第30回開催記念賞 審査委員賞 金賞 銀賞 銅賞 奨励賞 高齢者賞</p> <p>全部門を通じ1点 全部門を通じ1点 各部門1点以内 各部門1点以内 各部門1点以内 各部門3点以内 各部門4点以内 “ “ 各部門1点以内</p>	<p>開催中止のため高齢者の趣味 活動や文化創作意欲を高めると ともに、幅広い世代にすこやか 長寿社会運動をPRすることに できなかつた。 ※参考 R2年度〔事前申込数〕240点 対前年度比 99.6% R2年度入場者数 2,332人 対前年度比 0.0%</p>		

<p>〈入賞作品の貸出〉 作品展の入賞者に対し、福祉施設等への展示依頼を行い、施設等の入所者等に作品鑑賞機会を提供する予定だったが、作品展が中止となったため実施できなかった。</p>	<p>高年齢者の健康づくりに資すること R2年度参加者数 4,648人 対前年比 113.3%</p>
<p>(3) いきいきシルバースポーツ大会の実施 ア 実施か所 県下7地区 イ 実施方法 県老人クラブ連合会に委託</p>	<p>高年齢者の心身の健康と生きがいの助長を図るとともに、高齢者に対する地域住民の理解と関心を高めるため、県老人クラブ連合会に事業の実施を委託してシルバースポーツ大会を実施した。 〈開催時期〉 令和3年5月～令和4年1月 〈開催場所〉 県下7地区 (鹿児島、南薩、北薩、始良・伊佐、大隅、熊毛、大島) 〈参加者数〉 5,265人</p>
<p>(4) 全国健康福祉祭派遣事業 ア 派遣期間 令和3年10月29日(金)～11月2日(火) イ 派遣地 岐阜県(17市5町) ウ 派遣人員 約146人</p>	<p>高齢者の健康と福祉に関する総合的な普及啓発イベントである「第33回全国健康福祉祭ぎふ大会(ねんりんピック岐阜2021)」に選手を派遣する予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大会の開催が中止となった。 〈参加予定だったイベント〉 総合開会式・総閉会式、スポーツ交流大会、ふれあいスポーツ交流大会、文化交流大会、美術展</p>
<p>(5) 高齢者による社会参加活動の促進 ア 社会参加活動希望者への情報提供等の支援</p>	<p>社会参加活動希望者に対する活動機会の提供や活動情報の発信等により、高齢者による社会参加活動の促進が図られ、地域活動の活性化に資することができた。</p>
<p>イ 世代間交流機会等の提供</p>	<p>高齢者による社会参加活動希望者に対する活動機会の提供や活動情報の発信等により、高齢者による社会参加活動の促進が図られ、地域活動の活性化に資することができた。</p> <p>(7) 「いきいきシニア人材バンク」の広報 「いきいきシニア人材バンク」登録者の増加を図るため、新規登録者募集のチラシを作成し、各種イベントで配布した。 (4) 人材バンク登録件数 団体：17団体 個人：89人</p> <p>元気高齢者と児童・生徒等の異なる世代とふれ合う機会を提供するため、自主活動グループの支援を行った。</p> <p>【支援対象団体】 ・鹿児島県おもちゃ病院連絡協議会 ・読み聞かせグループ「たけとんぼ」 ・ななかよしパソコンお絵かきクラブ</p>

すこやか長寿社会づくり運動の推進		事業実施概要等		所管部署	長寿社会推進部
令和3年度事業計画		事業実施概要等		具体的成果等	
1		<p>会議室の無償貸し出し ・ 鹿児島おもちゃ病院連絡協議会（年1回） ・ 読み聞かせグループ（年11回）</p>			
2	<p>かごしまシニア人材育成活用事業</p> <p>(1) 研修・講座の運営 ア 実施内容 ・ 人材育成講座（1日間） 対象者：開催地域の高齢者 ・ 人材育成活用基礎研修（1日間） 対象者：市町村行政職員 市町村社会福祉会職員 ・ 人材育成活用実践研修（1日間） 対象者：開催地域の高齢者 市町村行政職員 市町村社会福祉会職員</p> <p>イ ・ 開催地域 ・ 鹿児島地域 ・ 南薩地域 ・ 大島地域（徳之島）</p> <p>(2) 実施後の開催地域社協等のフォローアップ</p>	<p>地域活動に意欲のある高齢者の社会参加を図るため、必要な知識を習得する機会を提供し、人材育成を行うほか、地域が行う人材育成及び活用の体制づくりを支援するため、下記3地域で研修・講座を実施した。 今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、南薩地域は講師のみオンラインで実施し、大島地域（徳之島）は、オンラインでの実施も困難であったため、南薩地域や鹿児島地域での事例発表や開催レポートの資料配付による開催とした。</p>	<p>一ダ一となる高齢者に 対して、講座受講の機会を提供 すると同時に、市町村行政職員 及び市町村社会福祉協議会職員 を対象にシニア人材の育成・活 用に必要研修の機会を提供す ることで、地域の実情に応じた 活動の実践につなげることがで きた。</p>	所管部署	長寿社会推進部
		実施内容	人材育成講座 (高齢者)	基礎研修 (行政・社協)	実践研修
	開催地域・日程	南薩地域 令和3年12月 7日(火)～ 9日(木)	16人	13人	行政・社協：12人 高齢者：15人
	鹿児島地域 令和3年12月14日(火)～16日(木)	11人	11人	行政・社協：9人 高齢者：11人	
	大島地域（徳之島） (令和4年3月17日(木))	資料送付（高齢者：15人 行政：5人 社協：4人）			

XI 県社会福祉センターの管理・運営

1 県社会福祉センターの整備及び維持管理、利用促進等		所管部署	総務部																																																																	
令和3年度事業計画		具体的成果等																																																																		
<p>(1) 県社会福祉センターの維持管理（緊急を要する修繕工事のほか、法令等に基づく設備等の更新・改修工事等を含む）</p>	<p>民間社会福祉団体の活動拠点施設として、適切かつ効率的な管理運営に努め利用促進を図った。</p> <p>① 法定による保守点検等の実施と届出「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく保守点検及び消防用設備等の必要な維持管理を行った。</p> <p>② 施設整備（小規模補修は除く）</p> <p>(1) 7階トイレ埋込型換気扇取替工事</p> <p>(2) 非常用発電機設備減圧水槽冷却水温調弁取替工事</p> <p>(3) 屋外壁照明器具取替工事</p> <p>(4) 別館屋上笠木・縦目地シーリング工事</p> <p>(5) 別館2階会議室内装改修工事</p> <p>(6) 別館天井張り替え工事</p> <p>(7) 5・6・7階LEDランプ取替工事</p> <p>(8) 2階ボランテイルームほか床・壁補修工事</p> <p>(9) 別館ほか会議室インターネッetwork接続工事</p>	<p>経年劣化等に伴う不具合等については速やかに修繕を行うとともに、更新が必要な設備等の調査等を行うなど館利用者等の利便性向上に寄与した。</p>																																																																		
<p>(2) 会議室、宿泊室の利用促進</p>	<p>本会ホームページの掲載内容見直しのほか、来館者にリーフレットや「宿泊室のご案内」のチラシを配布するなど、会議室・宿泊室の利用促進を図った。</p> <p>なお、会議室及び宿泊室の利用状況は下表のとおり。</p>	<p>会議室利用はコロナウイルス感染拡大防止による利用制限の影響があったが、全会議室にインターネット環境を整備したことにより利用促進及び利便性向上に寄与した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">福祉関係</th> <th colspan="2">一般</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>金額(円)</th> <th>回数</th> <th>金額(円)</th> <th>回数</th> <th>金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>751</td> <td>5,831,560</td> <td>253</td> <td>4,954,590</td> <td>1,004</td> <td>10,786,150</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>818</td> <td>6,907,810</td> <td>170</td> <td>2,224,170</td> <td>988</td> <td>9,131,980</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔会議室利用状況〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">合計</th> <th colspan="2">対前年度</th> </tr> <tr> <th>人員</th> <th>金額</th> <th>人員比較</th> <th>金額比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>286</td> <td>769,400</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>234</td> <td>663,000</td> <td>81.8%</td> <td>86.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔宿泊施設利用状況〕</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">合計</th> <th colspan="2">対前年度</th> </tr> <tr> <th>人員</th> <th>金額</th> <th>人員比較</th> <th>金額比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>286</td> <td>769,400</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>234</td> <td>663,000</td> <td>81.8%</td> <td>86.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>宿泊施設利用はコロナウイルス感染拡大防止による一時閉鎖等の利用制限の影響があり減少となった。</p>	区分	福祉関係		一般		合計		回数	金額(円)	回数	金額(円)	回数	金額(円)	令和2年度	751	5,831,560	253	4,954,590	1,004	10,786,150	令和3年度	818	6,907,810	170	2,224,170	988	9,131,980	区分	合計		対前年度		人員	金額	人員比較	金額比較	令和2年度	286	769,400	—	—	令和3年度	234	663,000	81.8%	86.2%	区分	合計		対前年度		人員	金額	人員比較	金額比較	令和2年度	286	769,400	—	—	令和3年度	234	663,000	81.8%	86.2%
区分	福祉関係		一般		合計																																																															
	回数	金額(円)	回数	金額(円)	回数	金額(円)																																																														
令和2年度	751	5,831,560	253	4,954,590	1,004	10,786,150																																																														
令和3年度	818	6,907,810	170	2,224,170	988	9,131,980																																																														
区分	合計		対前年度																																																																	
	人員	金額	人員比較	金額比較																																																																
令和2年度	286	769,400	—	—																																																																
令和3年度	234	663,000	81.8%	86.2%																																																																
区分	合計		対前年度																																																																	
	人員	金額	人員比較	金額比較																																																																
令和2年度	286	769,400	—	—																																																																
令和3年度	234	663,000	81.8%	86.2%																																																																

<p>(3) 省エネルギー対策の推進</p>	<p>① 休憩時間における照明の消灯やクールビズ・ウォームビズによる空調機器利用抑制等の省エネルギー対策を推進した。</p> <p>② 県社会福祉センター事務室内の照明器具をLED照明に改修するなど、消費電力の低減に努めた。</p>	<p>ハードとソフト両面からの省エネ対策を推進することで、職員も省エネに対する意識が高まった。</p>
<p>(4) 入居団体との連絡調整</p>	<p>県社会福祉センターにおける消防訓練（同時訓練）の実施など共同が必要事項や工事に関すること等について、随時入居団体と連絡調整を行った。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大防止や感染者発生時の対応を確認するため、入居団体における感染防止マニュアルを策定し、入居団体連絡会を開催した。</p>	<p>入居団体及び県青少年会館と連携することで、同一敷地内に勤務する全ての職員の防災意識の向上や連携・協力体制の構築に資することができた。</p>

XII 地域医療介護総合確保基金事業の推進		所管部署	介護実習・普及センターほか
1 介護の仕事理解促進事業		具体的成果等	
令和3年度事業計画		事業実施概要等	
(1) 地域ジュニア福祉体験教室開催事業 高齢者疑似体験、車いす体験、ユニバーサルデザイン・自助具体験の実施 実施数 31か所程度 ⇒26か所へ契約変更 イ 実施場所 鹿島市から遠隔地の小・中学校、高等学校等	遠隔地等の小・中学校、高等学校を訪問して、福祉体験教室を開催した。児童・生徒の高齢者や障害のある人に対する理解促進と福祉の心の涵養を図り、将来の介護の担い手育成に資することを目的に高齢者疑似体験・車いす体験・ユニバーサルデザイン及び自助具体験を行った。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため6か所中止 実施期間 令和3年6月22日 令和3年12月17日	学校数 小学校 21校 小・中併設校 0校 中学校 3校 高等学校 2校 合計 26校	参加者数 472人 0人 86人 34人 592人
(2) 未来の福祉・介護担い手スタートアップ中高生を支援する事業 イ 「小中高生の相互訪問」の10回程度実施。	子どもたちの福祉・介護の職場への興味や関心を高めるため、小・中・高生が介護事業所において、介護に関する講和等を実施した。 参加者数 18校 485人 協働事業所 18事業所 〔特別養護老人ホーム6、グループホーム2、小規模多機能ホーム2、老人保健施設2、社協1、居宅介護支援施設1、障害者支援施設1、医療福祉センター1、その他2〕	小学校8、中学校2、高等学校8	福祉・介護の職場に興味を持つ人も増え、中高生が将来福祉・介護を志す者が増えてきた。 福祉・介護の職場に興味を持つ人も増え、中高生が将来福祉・介護を志す者が増えてきた。
(3) 介護教室派遣事業 県内の事業所や各種団体等に理学療法士、作業療法士、認知症介護指導者、社会福祉士、介護指導者を派遣する事業 ア 派遣数 22か所程度 イ 研修内容 (7) 介護保険制度と福祉用具について (イ) お口のケアについて (ウ) 足腰げんき体操の紹介 (エ) 認知症の予防につながる脳トレーニング等についてなど	企業等における介護離職の防止や就労の継続を図るとともに、地域における福祉人材の育成・確保につなげるため、県内の事業所や団体等に、福祉・介護・医療の専門家講師を派遣し、介護教室を開催した。 (実施期間) 令和3年7月18日～令和3年11月26日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため7か所中止	講座名 講座数 (箇所) 0 1 1 1 1 4 8	習得する者数 0 23 24 12 29 85 173

<p>2 介護職員チームリーダー養成研修支援事業</p>	<p>令和3年度事業計画</p> <p>県内各地域での研修支援 (県社協に申込のあった介護事業所等のうちから、15か所程度(同一地域原則2回開催) を決定して実施</p>	<p>事業実施概要等</p> <p>新人職員の定着と質の高い介護サービスの提供を促すため、介護事業所に勤務する中堅職員等を対象に新人職員への指導方法等も含めたスキルアップ研修を実施した。 研修実施箇所 22か所 (離島3か所) 研修実施回数 37回 参加事業所数 79事業所 研修参加人数 340人 (研修会1回当たり参加人数約15名)</p>	<p>所管部署 福祉人材・研修センター</p> <p>具体的成果等 介護事業所に勤務する中堅職員等の資質向上を通じて、若手職員の離職防止や事業所の介護サービスの質の向上に資するとともに、職場内研修の充実にも資することができた。</p>
<p>3 新 住民参加型福祉サービス支援事業</p>	<p>既存の住民参加型福祉サービス団体の活性化に向けた支援、新規の住民参加型福祉サービス団体の立ち上げや運営に係る支援の実施 (1) 既存団体の活性化及び新規団体立ち上げ支援を実施する地域の選定(6か所程度) (2) 選定地域における団体の担い手養成講座やワークショップ等の開催 (3) 団体サービスが円滑に機能している地域への視察 (4) 運営改善に向けたフォローアップ</p>	<p>地域に暮らす高齢者や意欲のある地域住民に住民参加型福祉サービス活動への参加及び組織化・活性化を促し、持続的な生活支援の担い手養成等を図り、高齢者等の生活支援や介護予防の推進に努めた。 ① 支援実施地域の選定 この事業に参加意向を持つ市町村社協(新規団体立上げ5社協、既存団体活性化11社協)から次のとおり選定した。 ア 新規団体立上げ支援参加社協…日置市社協、指宿市社協、さつま町社協 イ 既存団体活性化支援参加社協…日置市社協、始良市社協、喜界町社協 ② 支援内容について ワークショップや先進地視察など団体に応じた支援を以下のとおり行った。 ア 新規団体立上げ支援</p>	<p>所管部署 ボランティアセンター</p> <p>住民参加型福祉サービス活動団体の新規団体立上げ及び既存団体の活性化の支援を希望する市町村社協と連携し、計画どおり新規団体立上げ支援を3団体、既存団体活性化支援を3団体について支援し、地域におけるインフォーマルサービスの実践に寄与した。</p>
<p>新規団体立上げ支援</p>	<p>主な支援内容</p> <p>①09/06…地域の困りごとの掘り起こし ②10/18…要綱の内容について、サービスの担い手募集について ③12/21…事業要綱の最終確定(サービス内容・価格等) ④01/14…開設に向けた広報案作成と日程調整 ⑤02/08…担い手養成講座(3/10)の段取り・団体ネーム命名(ひおき助けあい隊おきがるサービス) ⑥03/07…事業説明・広報等の協力依頼(ケアマネ対象) ⑦03/08…事務局の広報スキルアップ研修 ⑧03/10…担い手募集説明会(住民対象)</p>	<p>日置市</p> <p>ワークショップ や養成講座等</p>	<p>備考</p>

	先進地視察	<p>日時…11月29日 13:00～15:00 会場…湧水町いきいきセンターくりの郷 視察先…湧水町社協「わくわくサービス」 曾於市社協「ほっとサービス」</p> <p>①活動広報チラシ作成支援…22,500枚 ②携帯用消毒スプレー等コロナ感染予防用品…一式</p>	
	<p>運営のフォローアップ等</p> <p>ワークショップ や養成講座等</p>	<p>①08/31～01…開聞地区説明会 ②08/31～17…山川地区説明会 ③10/01～07…指宿地区説明会 ④10/22…仮屋校区老人クラブで説明会 ⑤11/19…事業についての検討会 ⑥01/21…今後の事業の進め方について ⑦03/06…自治会総会で承認「仮屋おたすけ会」設立</p> <p>日時…12月13日 10:00～12:00 会場…日吉町日新地区公民館 視察先…日吉地区日新お助け隊</p> <p>①チームウェア作成支援 23着 ②広報紙記事掲載（指宿市社協だより） ③携帯用消毒スプレー等コロナ感染予防用品…一式</p>	
	先進地視察	<p>日時…12月06日 11:30～14:30 会場…鹿屋市 NP0法人隣の会 視察先…NP0法人隣の会、泉ヶ丘きばいもんそ会</p> <p>①01/17…永野地区公民会で発足式 ②利用チケット作成支援…9,000枚 ③携帯用消毒スプレー等コロナ感染予防用品…一式</p>	

3 新 住民参加型福祉サービス支援事業		事業実施概要等		所管部署 ボランティアセンター	
令和3年度事業計画		事業実施概要等		具体的成果等	
イ 既存団体活性化支援					
既存団体活性化支援	主な支援内容	備考			
日置市	①09/16…団体運営事務局への事業説明及び現状の確認と課題の共有 ②10/25…目的の共有と目標の設定。先進地視察研修（1回目）の提案等 ③12/13…先進地視察研修（2回目）の提案 ④03/09…チームウェア・団体名等に係る検討				
先進地視察	①日時…11月24日 10:00～12:00 会場…妙田寺2区公民館 視察先…日吉地区日新お助け隊 ②日時…03月23日 10:00～12:00 会場…鹿屋市泉ヶ丘公民館 視察先…鹿屋市泉ヶ丘きばいもんそ会	②は当初1月実施だったものを延期して実施			
運営のフォローアップ等	①チームウェア作成支援 22着 ②利用手ケット作成支援 1,000枚 ③携帯用消毒スプレー等コロナ感染予防用品…一式				
日置市	①08/06…事業の進め方、現状把握及び目標設定 ②09/13…現状と理想の姿の比較から目標・戦略についての検討 ③09/27…支援員養成講座・フォローアップ講座の計画立案、会 員アンケート調査の内容及び段取り支援 ④12/10…アンケート調査の分析と支援員養成講座の内容協議 ⑤12/16…支援員養成講座・フォローアップ講座の開催 ⑥01/24…事務局広報スキルアップ研修①（オンライン） ⑦01/27…事務局広報スキルアップ研修②（オンライン） ⑧03/07…事務局広報スキルアップ研修③（集合型演習） ⑨03/16…成果と課題の整理、今後の目標設定等				
運営のフォローアップ等	①アンケート調査の実施支援 ②広報リーフレット作成支援（40,000枚） ③携帯用消毒スプレー等コロナ感染予防用品…一式	⑦は当初集合研修で実施予定をオンラインに変更			
日置市	①08/10…事務局への課題や目標の聞き取り ②10/30…支援員のスキルアップ講座・新規養成講座 ③12/07…支援員との意見交換会（1回目） ④03/24…支援員との意見交換会（2回目）				

先進地視察	日時…03月24日 15:30～17:15 会場…喜界町と視察先をオンラインで結ぶ方式 視察先…南大隅町社協南大隅あったか・すみっこサービス 志布志市社協おやとサービス	1月調予定だったものを延期・オンラインに変更して実施
運営のフォローアップ等	①活動チラシ作成支援 (5,000枚) ②広報リーフレット作成支援 (4,000枚) ③携帯用消毒スプレー等コロナ感染予防用品…一式	

③ 住民参加型福祉サービス団体の組織化及び活性化の実績
ア 新規団体立ち上げ支援

社協名	新規団体の名称	設立又は活動開始年月日	主なサービス内容	利用会員数 提供会員数
日置市	ひおき助けあい隊 おきががるサービス (社協運営型)	令和4年 3月10日	買い物代行, ごみ出し, 簡単な掃除, その他相談に応じて実施	1人 5人
指宿市	仮屋おたすけ会 (住民互助型)	令和4年 3月6日	話し相手や体操, ゲーム等の交流推進 活動, ゴミ出しや分別, 買い物代行 及び清掃等	15人 15人
さつま町	永野・サンスマイル クラブお助け隊 (住民互助型)	令和4年 1月17日	草刈り, 電球交換, 荷物送り, 買い物 など相談に応じて実施	14人 11人

イ 既存団体活性化支援

社協名	既存団体の名称	主な強化内容と成果	利用会員数 提供会員数
日置市	MYOJENUJ12 ちよこボラ (妙円寺団地自治会) (住民互助型)	サービス内容や提供の仕組みの定めがなかったため, 提供会員によってサービス内容や質にムラがあった。 ルール化された視察先のサービス内容や提供の仕組みを参考に直直しを行いルール化を図ったことで, 提供会員の違いによるサービス内容や提供のしかたのムラを最小化することにつながった。	23人 11人

3	<p>新 住民参加型福祉サービス支援事業</p>	<p>所管部署 ボランティアセンター</p>
<p>事業実施概要等</p>		
<p>具体的成果等</p>		
<p>始良市</p>	<p>あいネットサービス (社協運営型)</p>	<p>利用会員のサービス依頼件数や提供会員の活動件数の伸び悩みが課題であったため、両会員に対してアンケート調査を実施した。 このアンケートで指摘の多かった“あいネットサービス”に関する周知不足を補うため、広報に関するスキルアップ研修を行ったことで、インパクトのある広報チラシなどの掲示物を作成したり、マッチング業務や会員募集にSNSを活用のスキルを得るなど運営改善への道筋ができた。</p>
<p>喜界町</p>	<p>喜界町生活支援サービス (社協運営型)</p>	<p>提供会員の人数に余裕がなく、急用時の代替提供会員の融通が難しかったとともに、提供会員のコミュニケーションセッション機会も少なく、提供会員の協力関係の構築が課題だった。 提供会員を対象とした意見交換会の定例化に向けて取り組を進めたことで、提供会員の活動しやすいた時間帯等が共有され代替者を確保しやすくなった。同時に、活動経験の長い提供会員との情報交換や助言をもたえ、活動経験の長い提供会員との活動経験の浅い提供会員の負担軽減にも繋がった。</p>
<p>66人 49人</p>	<p>16人 16人</p>	
<p>令和3年度事業計画</p>		
4	<p>離職介護職員の登録促進事業</p>	<p>所管部署 福祉人材・研修センター</p>
<p>(1) 届出制度に関する相談及び問合せ対応 (2) 市町村社協、介護事業所、養成校等におけるポスター、リーフレット等を活用した周知広報 (3) 届出システムの運用及び届出情報の管理 (4) インターネット利用環境になり者の届出の受付及びシステム入力 (5) 届出システムと福祉人材情報システム等との連携等</p>	<p>届出制度に関する相談対応(6か所) 養成校等を訪問し、「求職者用システム活用マニュアル」やチラシを用いたインターネットによる登録方法を説明した際、登録のための相談・サポートを実施した。 ② リーフレット等を活用した周知広報(235か所) 当協議会が作成した福祉人材無料職業紹介所の周知用チラシ及び中央人材センターが作成したリーフレットを配布し、「介護福祉士の資格等取得者の届出制度」の周知を図った。 ③ 届出システムの運用及び届出を促進するための取組新たに、「鹿児島市役所窓口用封筒」を作成するとともに、周知広報用のチラシ(1000部)を作成し、養成校等に配布した。また、登録者には「登録記念」としてホイッスル付きライトを</p>	<p>離職した場合の円滑な再就業の促進に向けた登録体制の充実に資することができた。 令和3年度 新規登録者数 52人 (内訳) 本人登録 51人 代行登録 1人 (参考：登録者数)</p>

	<p>配布した。 インターネット環境にない方からの届出票提出による福祉人材 インターネームへの代行入力を行った。 情報システム等に対し、就職面談会やセミナー等の開催に関する情報 届出者等に対し、就職面談会やセミナー等の開催に関する情報 提供などを行った。</p>	<p>令和3年度末 登録者数921人 令和2年度末 登録者数864人 令和元年度末 登録者数638人 平成30年度末 登録者数502人 平成29年度末 登録者数269人</p>
<p>5 介護の入門的研修事業</p> <p>(1) 介護の入門的研修の実施 ア 実施か所 県内7か所 イ 対象者 定年退職予定者、 中高年齢者、子育てが一段落 した者など ウ 研修時間 21時間（7時間×3日間） エ 研修内容 基礎知識、認知症・障害へ の理解、基本的な介護の方法 など (2) 研修終了者へのフォローアップ 就労を希望する者に対する就 職支援</p>	<p>① 介護の入門的研修の実施 〈実施か所〉 県内7か所 〈参加者数〉 受講者数 125名（修了者数115名） 〈研修時間〉 21時間（1地区7時間×3日間） 〈研修内容〉 基礎知識、認知症・障害への理解、基本的な 介護の方法など ② 研修終了者へのフォローアップ 就労を希望する者に対する就職支援 求職票提出者数 19名 届出票提出者数 39名 就労決定者数 3名</p>	<p>所管部署 福祉人材・研修センター</p> <p>介護未経験者が、介護の業務 に携わる上で、知っておくべき 基本的な介護技術を内容とする 入門的研修の実施により、介護 の仕事への理解が深まり、業務 に携わる上での不安を払拭し、 介護分野への多様な人材の参入 のきっかけづくりに資すること ができた。</p>
<p>6 介護分野への元気高齢者等参入促進セミナー事業</p> <p>令和3年度事業計画</p>	<p>事業実施概要等</p> <p>高齢者等（概ね55歳以上）を対象とするセミナー及び出張講座 を開催した。 ① 〈開催地区〉 3地区（北薩、大隅、鹿児島） （鹿児島地区は、福祉人材講座（福祉職場就活応援セミナー） と合同で開催） 〈大島地区は新型コロナウイルス禍のため中止） 〈参加人数〉 49人 ② 〈開催地区〉 8か所（鹿児島市、指宿市、金峰町、始良市、 霧島市（2か所）、曾於市、鹿屋市） 〈参加人数〉 298人</p>	<p>所管部署 福祉人材・研修センター</p> <p>具体的成果等</p> <p>高齢者等を対象にセミナーや 出張講座を開催し、福祉現場で 介護人材が不足していること、 高齢者でもできる介護助手等の 紹介を通じて介護現場への関心 を高め、就職面談会等への参加 を促すことができた。</p>

6	介護分野への元気高齢者等参入促進セミナー事業	所管部署	福祉人材・研修センター
令和3年度事業計画		事業実施概要等	
<p>元気高齢者介護職場インタースタッフ事業等の事業を紹介する。</p> <p>(2) セミナー受講者等へのフォローアップ。</p> <p>就業を希望する者に対する就職支援を実施する。</p>	<p>※ 新型コロナウイルス禍のため、相手団体との調整がつかず、8か所となった。</p> <p>③ 求職票提出数 7人 就職面談参加者数 12人 採用決定者数 0人</p>	<p>具体的成果等</p>	

